

平成 26 年度

「県民の運動・スポーツに関する意識・実態調査」

報 告 書

鳥取県

目 次

【 I 調査のあらまし 】

ページ

1	調査の目的.....	1
2	調査項目.....	1
3	調査の概要.....	1
4	説明事項.....	1

【 II 調査結果の概要 】

問 1	年齢.....	3
問 2	性別.....	3
問 3	居住地.....	3
問 4	職業.....	3
問 5	健康状態.....	4
問 6	運動やスポーツをするよう心がけているか.....	6
問 7	適度な運動やスポーツは必要だと思うか.....	8
問 8	日ごろ運動不足を感じているか.....	10
問 9	日ごろ体力の衰えを感じているか.....	12
問 10	①日頃から行っている運動やスポーツ.....	14
	②種目・競技を行っている理由.....	17
問 11	運動やスポーツの頻度.....	19
問 12	運動やスポーツをしなかった理由.....	21
問 13	参加した行事・教室.....	23
問 14	利用する施設・場所.....	25
問 15	誰と運動やスポーツを行っているか.....	27
問 16	クラブや同好会に入った動機.....	29
問 17	工夫して行っている実践の有無.....	31
問 18	ボランティア活動の参加.....	33
問 19	ボランティア活動を行うきっかけ.....	35
問 20	スポーツ傷害、けがの防止策.....	37
問 21	①直接観戦したスポーツ.....	39
	②直接観戦したいスポーツ.....	41
	③テレビで観戦したスポーツ.....	43
	④テレビで観戦したいスポーツ.....	45

	ページ
問 22 今後の運動やスポーツ活動に対する考え方	47
問 23 参加したい運動やスポーツ行事	49
問 24 今後行ってみたい運動やスポーツ(上位 20 種目)	51
問 25 充実してほしいスポーツ情報.....	54
問 26 公共スポーツ施設に望むこと	56
問 27 民間スポーツ施設に望むこと	58
問 28 運動やスポーツの普及・振興で力を入れるべきこと	60
問 29 スポーツクラブに望む形態.....	62
問 30 必要なスポーツ指導者.....	64
問 31 地域のスポーツ振興への期待.....	66
問 32 ①「総合型地域スポーツクラブ」の取組の周知.....	68
②「総合型地域スポーツクラブ」に期待する取組.....	70
③「総合型地域スポーツ」に関する役割	72
問 33 ①子どものスポーツや外遊びの環境変化.....	74
②子どものスポーツや外遊びの環境の変化(悪くなった)原因.....	76
問 34 国際大会での日本選手の活躍への関心.....	78
問 35 日本選手への必要な公的援助.....	80
問 36 日本での国際大会の開催について.....	82
問 37 東京オリンピック・パラリンピックに鳥取県出身の選手の出場を望むか.....	84
問 38 東京オリンピック・パラリンピックへ出場する鳥取県出身の選手へ必要な支援.....	86
問 39 東京オリンピック・パラリンピック合宿地の県内誘致について	88

【参考】

○平成26年度「県民の運動・スポーツに関する意識・実態調査」調査票.....	90
--	----

I 調査のあらまし

1 調査の目的

県民の運動・スポーツに関する活動の実態や意識・要望を調査し、運動・スポーツに関する県民の実状を総合的に把握し、今後の本県生涯スポーツの推進施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査項目

- ① 健康、運動・スポーツに対する意識
- ② 運動・スポーツの活動状況
- ③ 今後の運動・スポーツへの意識・要望 等

3 調査の概要

- (1) 調査対象 鳥取県内に在住の20歳以上の者 1,500名
- (2) 抽出方法 無作為抽出法（住民基本台帳より抽出）
- (3) 調査時期 平成26年10月
- (4) 調査方法 (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して実施した。(郵送配布留置)なお、調査票の提出は無記名とした。
回答期限は、平成26年11月21日（金）とした。
- (5) 調査実施機関 株式会社情報サービス鳥取
- (6) 回収率 48.5% (728/1,500)

4 説明事項

(1) 比率（%：パーセント）の表示について

原則として、集計対象総数より各設問毎の無回答を除いた数値を母数(N又はnとして表示)として百分率(%)を表している。1人の対象に2つ以上の回答を求める設問では、百分率の合計は100%を超える。また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。

(2) 「無回答」の取り扱いについて

以下については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・回答数の制限を超える回答が選択されている場合

例：「○は1つだけ」という条件のある設問で2つ以上の回答を選択した場合など

(3) 調査項目の「合計」の不一致について

単純集計の「合計(N)」とクロス集計※の各項目の「合計」とは一致しない。これは、クロス集計には、性別、年齢などが記載されていない「無回答」項目を表、又はグラフに表示していないためである。

※クロス集計...性別、年齢や他の質問項目を掛け合わせてデータの分析や集計を行うことにより、相互の関係を明らかにするための集計方法

(4) 単数回答の合計が100%とならないことについて

回答の構成比は少数第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にならない。

(5) 平成21年度調査と集計方法が異なることについて

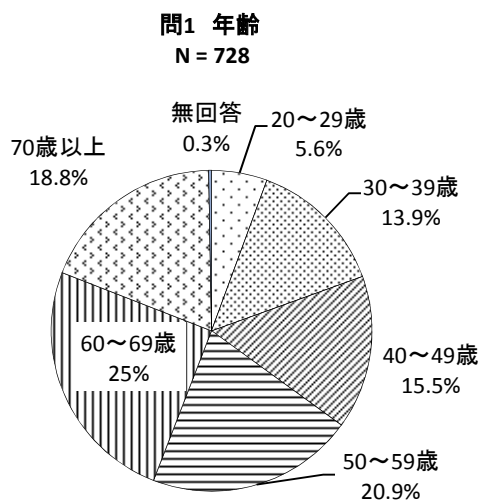
平成21年度調査と平成26年度調査の集計方法が異なるためデータの比較を参考値として載せている。

(参考) 地区別の配布枚数と回収状況

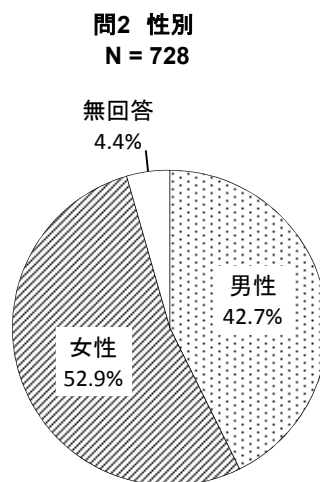
No.	地区	配布枚数	回答枚数	回収率 (%)
1	鳥取市	503	237	47.1
2	米子市	374	182	48.7
3	倉吉市	130	62	47.7
4	境港市	91	48	52.7
5	岩美町	32	17	53.1
6	八頭町	46	15	32.6
7	若桜町	10	7	70.0
8	智頭町	20	14	70.0
9	湯梨浜町	43	25	58.1
10	三朝町	18	10	55.6
11	北栄町	39	18	46.2
12	琴浦町	47	23	48.9
13	南部町	30	15	50.0
14	伯耆町	30	16	53.3
15	日吉津村	9	3	33.3
16	大山町	45	18	40.0
17	日南町	15	9	60.0
18	日野町	9	5	55.6
19	江府町	9	3	33.3
	無回答	—	1	—
	全 体	1,500	728	48.5

II 調査結果の概要

問1. 年齢



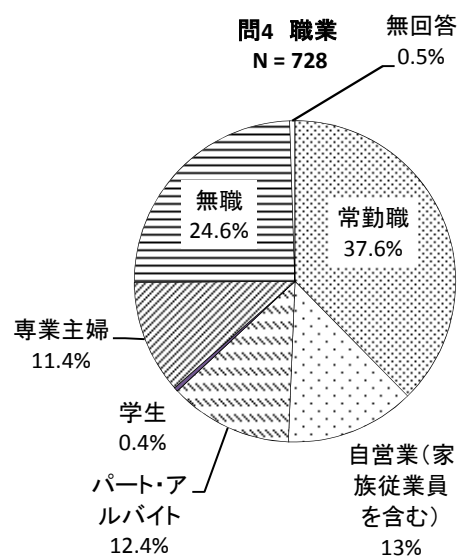
問2. 性別



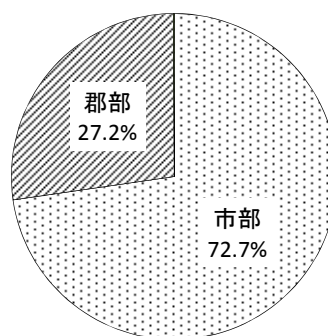
問3. 居住地

No.	居住地	回答者数
1	鳥取市	237
2	米子市	182
3	倉吉市	62
4	境港市	48
5	岩美町	17
6	八頭町	15
7	若桜町	7
8	智頭町	14
9	湯梨浜町	25
10	三朝町	10
11	北栄町	18
12	琴浦町	23
13	南部町	15
14	伯耆町	16
15	日吉津村	3
16	大山町	18
17	日南町	9
18	日野町	5
19	江府町	3
	無回答	1
	全体	728

問4. 職業



居住地: ①市部と②郡部を分類 N = 728



< 健康に関する意識 >

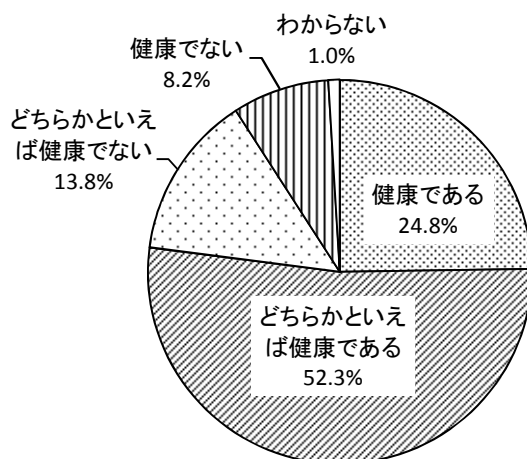
問5. あなたは、このところ健康だと思いますか。(1つ〇印)

～自分は健康だと思う人が約8割～

自分の健康状態について、「健康である」と回答した者の割合が77.1%（「健康である」24.8%、+「どちらかといえば健康である」52.3%）となっている。一方「健康ではない」と回答した者の割合が22.0%（「健康ではない」8.2%、+「どちらかといえば健康ではない」13.8%）となっている。

問5 健康状態

N=723

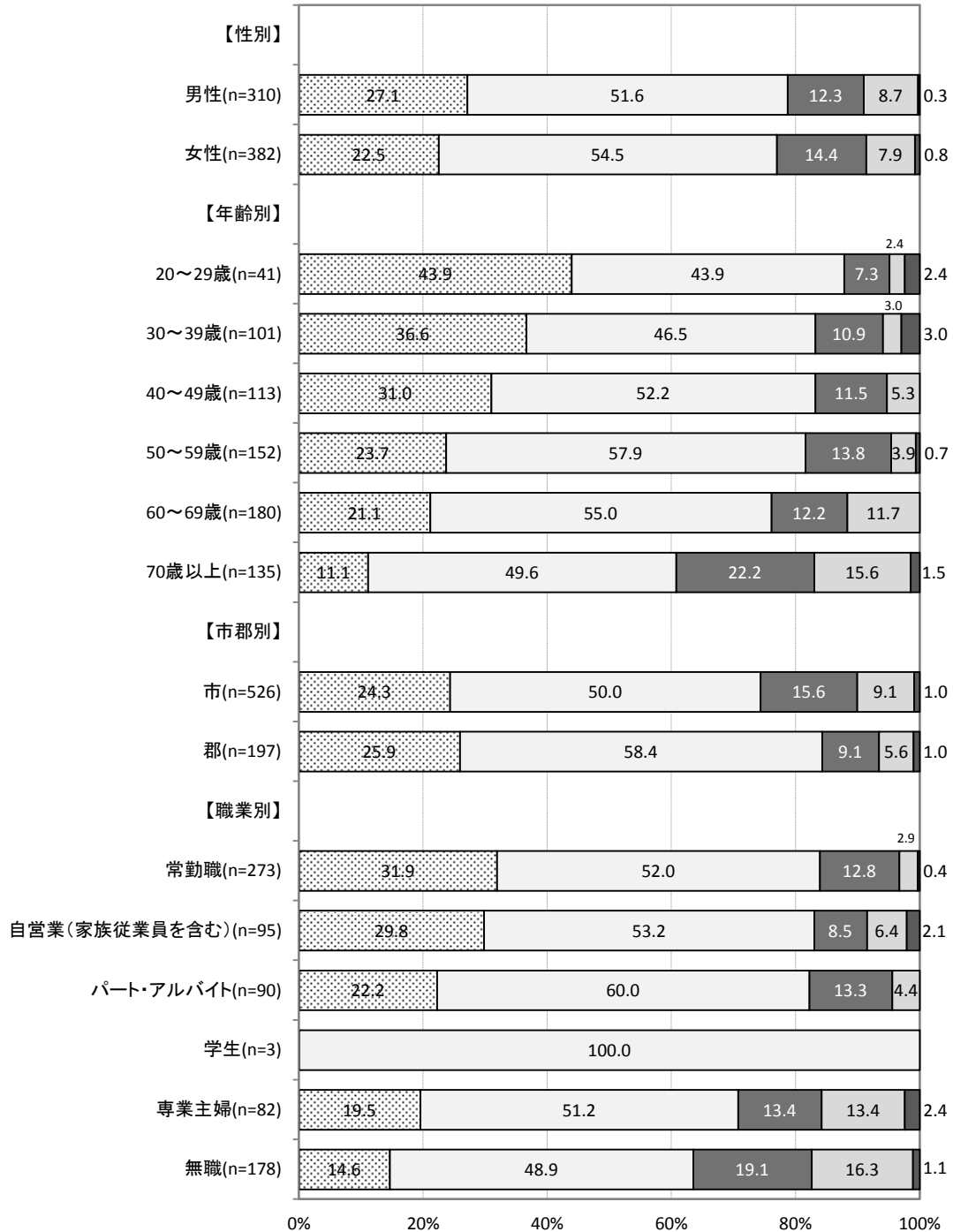


【クロス分析】

- 性別で見ると、大きな差異は見られない。
- 年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「健康ではない」の割合が高くなっている。『70歳以上』では「健康ではない」の割合が約4割となっている。
- 市郡別で見ると、『郡部』が『市部』と比較して「健康である」の割合が高い。
- 職業別で見ると、『常勤者』『自営業』『パート・アルバイト』等の有職者では「健康である」が8割以上であり、『専業主婦』『無職』と比較して割合が高い。

問5 健康状態 × 性別+年齢+居住地+職業
N=723 (1つ〇印)

□健康である □どちらかといえば健康である ■どちらかといえば健康でない □健康でない ■わからない



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問6. あなたは、普段から健康を意識して運動やスポーツをするよう心がけていますか。(1つ〇印)

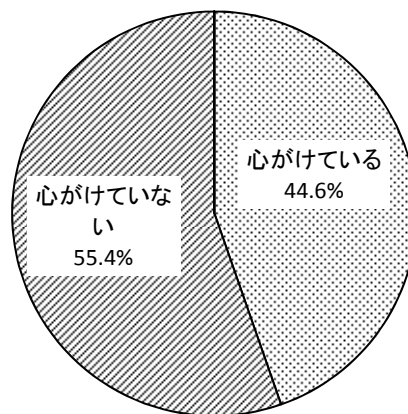
～健康を意識して運動・スポーツに心がけている人は4割以上～

健康を意識して運動やスポーツをするよう心がけているかという問について、「心がけている」と回答した者の割合が44.6%となっている。一方「心がけていない」と回答した者の割合が55.4%となっている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「心がけている」の割合が減少している。

問6 運動やスポーツをするよう心がけているか

N=719



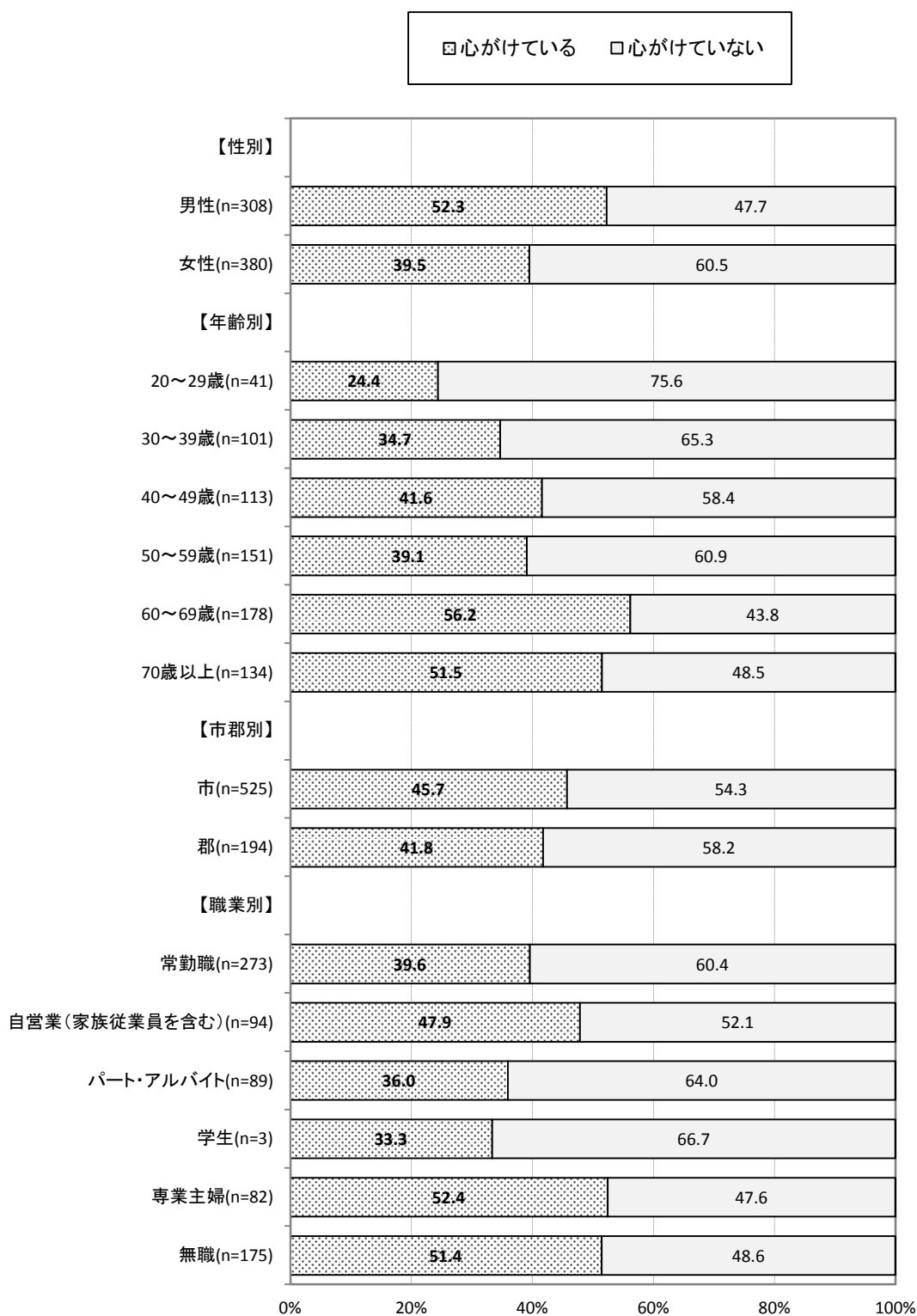
【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問6 運動やスポーツをするよう心がけているか(SA)					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	心がけている	321	44.1	498	49.2
2	心がけていない	398	54.7	501	49.5
	無回答	9	1.2	14	1.3
	合計	728	100.0	1013	100.0

【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』が『女性』と比較して「心がけている」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにつれて「心がけている」の割合が高くなっており、特に『60歳以上』では「心がけている」の割合が5割以上となっている。
- 市郡別で見ると、大きな差異は見られない。
- 職業別で見ると、『専業主婦』『無職』では「心がけている」の割合が5割以上で、他の職業と比較して割合が高い。

問6 運動やスポーツをするよう心がけているか × 性別+年齢+居住地+職業
N = 719 (1つ〇印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問7. あなたは、健康であるためには、適度な運動やスポーツが必要だと思いますか。
(1 つ〇印)

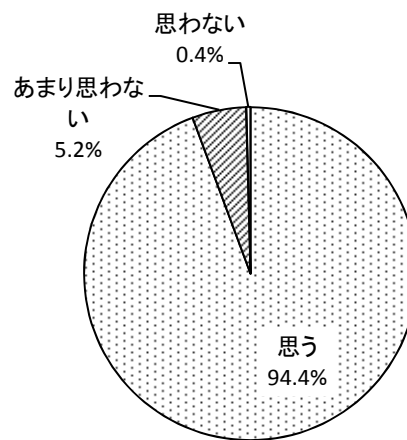
～9割以上の方が健康には適度な運動やスポーツが必要だという意識～

健康であるために適度な運動やスポーツが必要かという問いについて、「思う」と回答した者の割合が94.4%となっている。一方「思わない」と回答した者の割合が5.6%（「思わない」0.4%、+「あまり思わない」5.2%）となっている。

★前回(H21年度)調査と比較すると大きな変化は見られない。

問7 適度な運動やスポーツは必要だと思うか

N=726



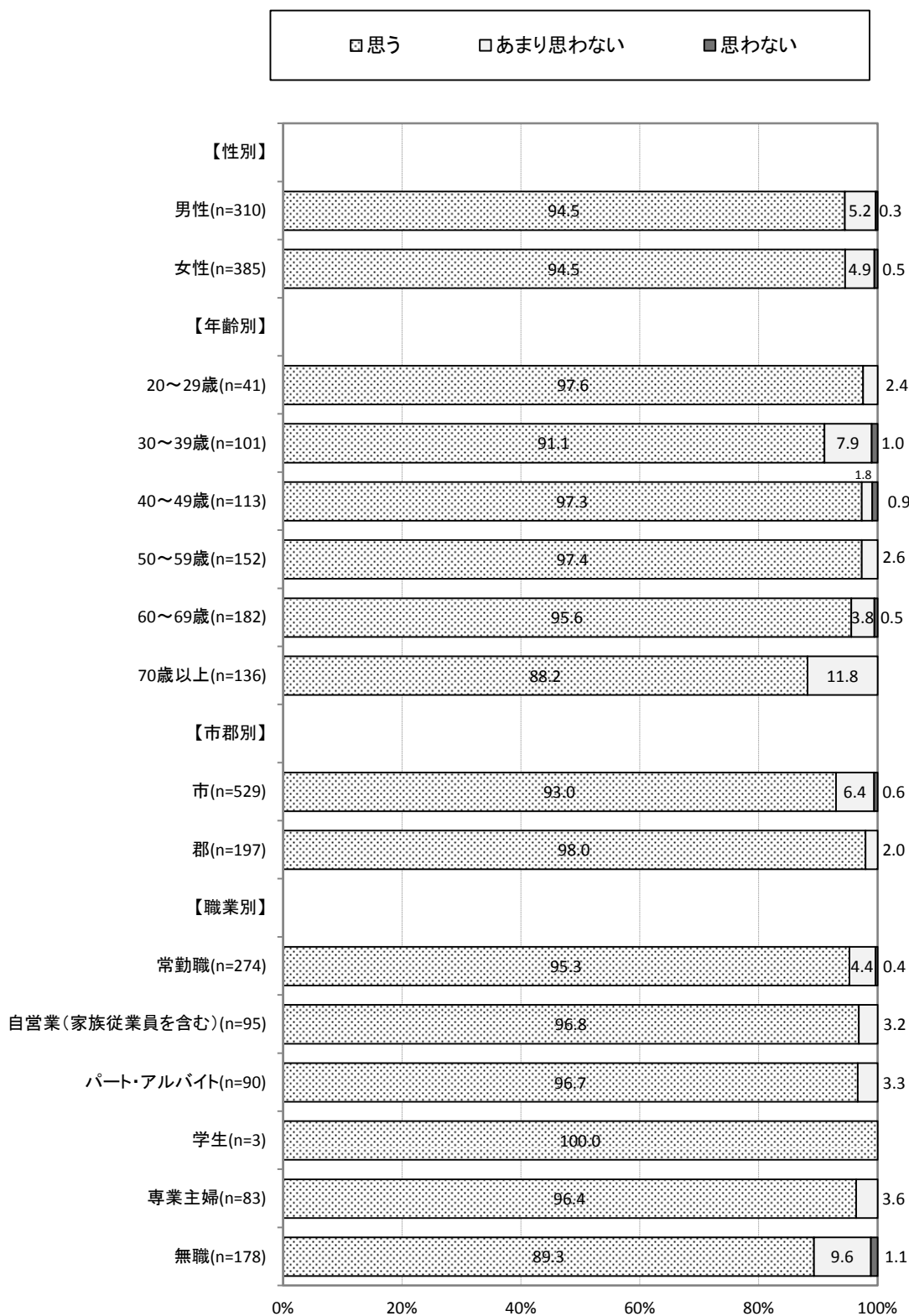
【参考値】平成 21 年度調査の集計方法によるデータ比較

問 7 適度な運動やスポーツは必要だと思うか					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	思う	685	94.1	969	95.7
2	あまり思わない	38	5.2	29	2.9
3	思わない	3	0.4	10	1.0
	無回答	2	0.3	5	0.5
	合 計	728	100.0	1013	100.0

【クロス分析】

- 性別で見ると、大きな差異は見られない。
- 年齢別で見ると、『70 歳以上』では「思う」の割合が 9 割以下で、他の年齢層と比較して割合が低い。
- 市郡別で見ると、『郡部』は『市部』と比較して「思う」の割合が高い。
- 職業別で見ると、『無職』が他の職業と比較して「思う」の割合が低い。

問7 適度な運動やスポーツは必要だと思うか × 性別+年齢+居住地+職業
N = 726 (1つ〇印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問8. あなたは、日ごろ運動不足を感じていますか。(1つ〇印)

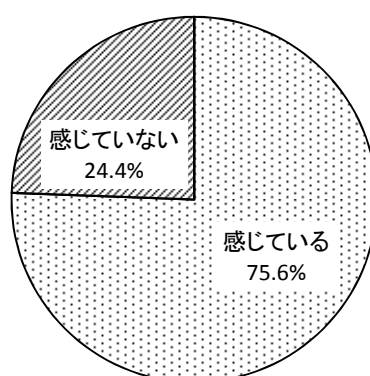
～運動不足を「感じる」人が7割以上～

日ごろ運動不足を感じているかという問いについて、「感じている」と回答した者の割合が75.6%となっている。一方「感じていない」と回答した者の割合が24.4%となっている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「感じている」とする者の割合が低下している。

問8 日ごろ運動不足を感じているか

N=725



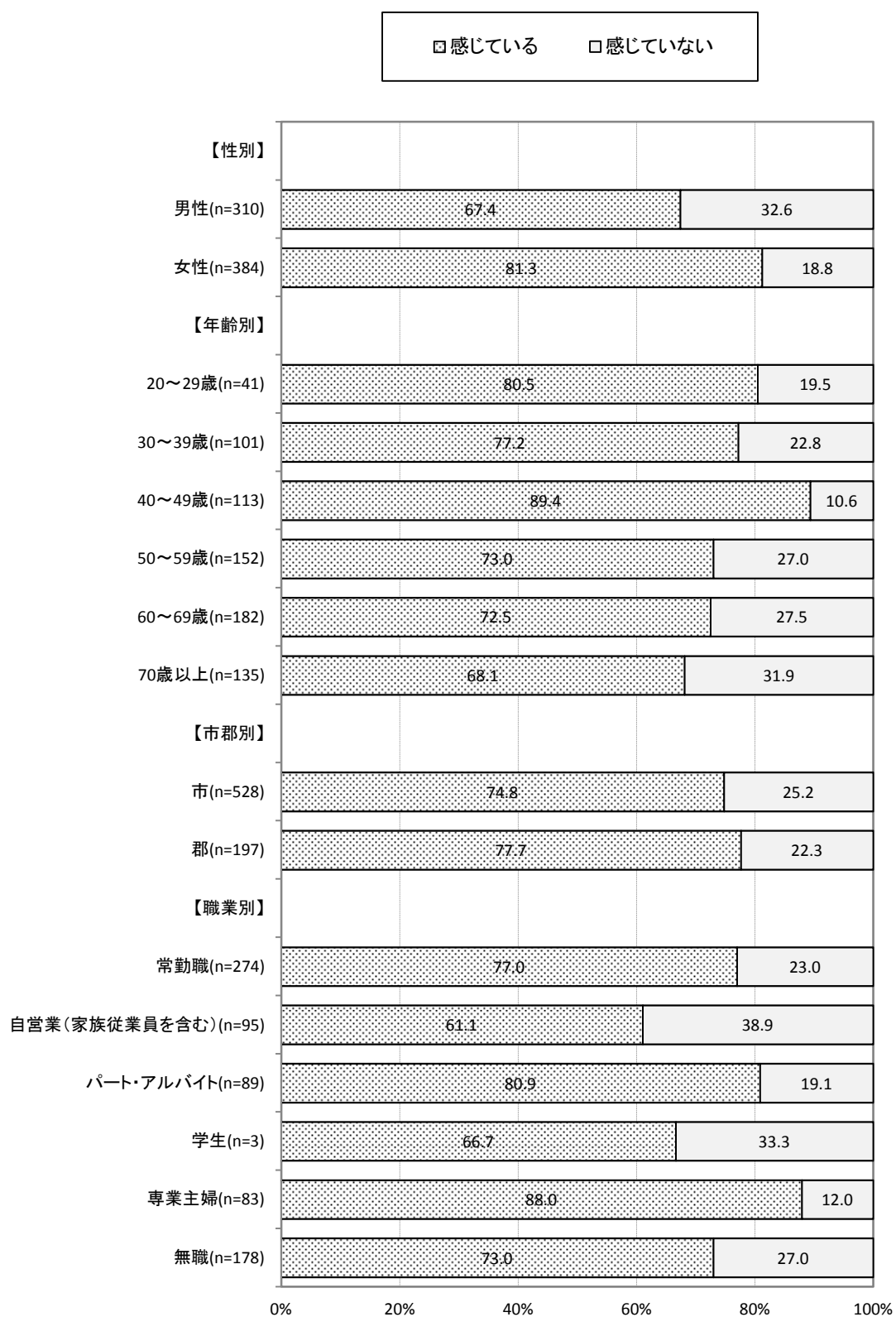
【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問8 日ごろ運動不足を感じているか(SA)					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	感じている	548	75.3	816	80.6
2	感じていない	177	24.3	189	18.7
	無回答	3	0.4	8	0.8
	合計	728	100.0	1013	100.0

【クロス分析】

- 性別で見ると、『女性』が『男性』と比較して「感じている」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、『40～49歳』では「感じている」が約9割で、他の年齢層と比較して割合が高い。
- 市郡別で見ると、大きな差異は見られない。
- 職業別で見ると、『専業主婦』『パート・アルバイト』『常勤職』が、他の職業と比較して「感じている」の割合が高い。

問8 日ごろ運動不足を感じているか × 性別+年齢+居住地+職業
N = 725 (1つ〇印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問9. あなたは、日ごろ体力の衰えを感じていますか。(1つ〇印)

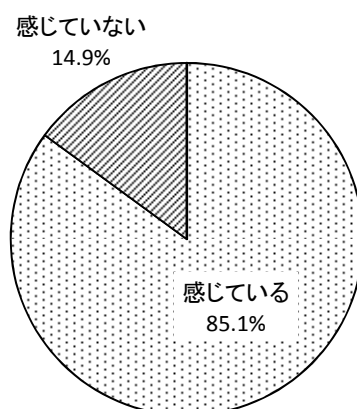
～体力の衰えを感じている人が8割以上～

日ごろの体力の衰えに対する意識について、「感じている」と回答した者の割合が85.1%となっている。一方「感じていない」と回答した者の割合が14.9%となっている。

★前回(H21年度)調査と比較すると大きな変化は見られない。

問9 日ごろ体力の衰えを感じているか

N=723



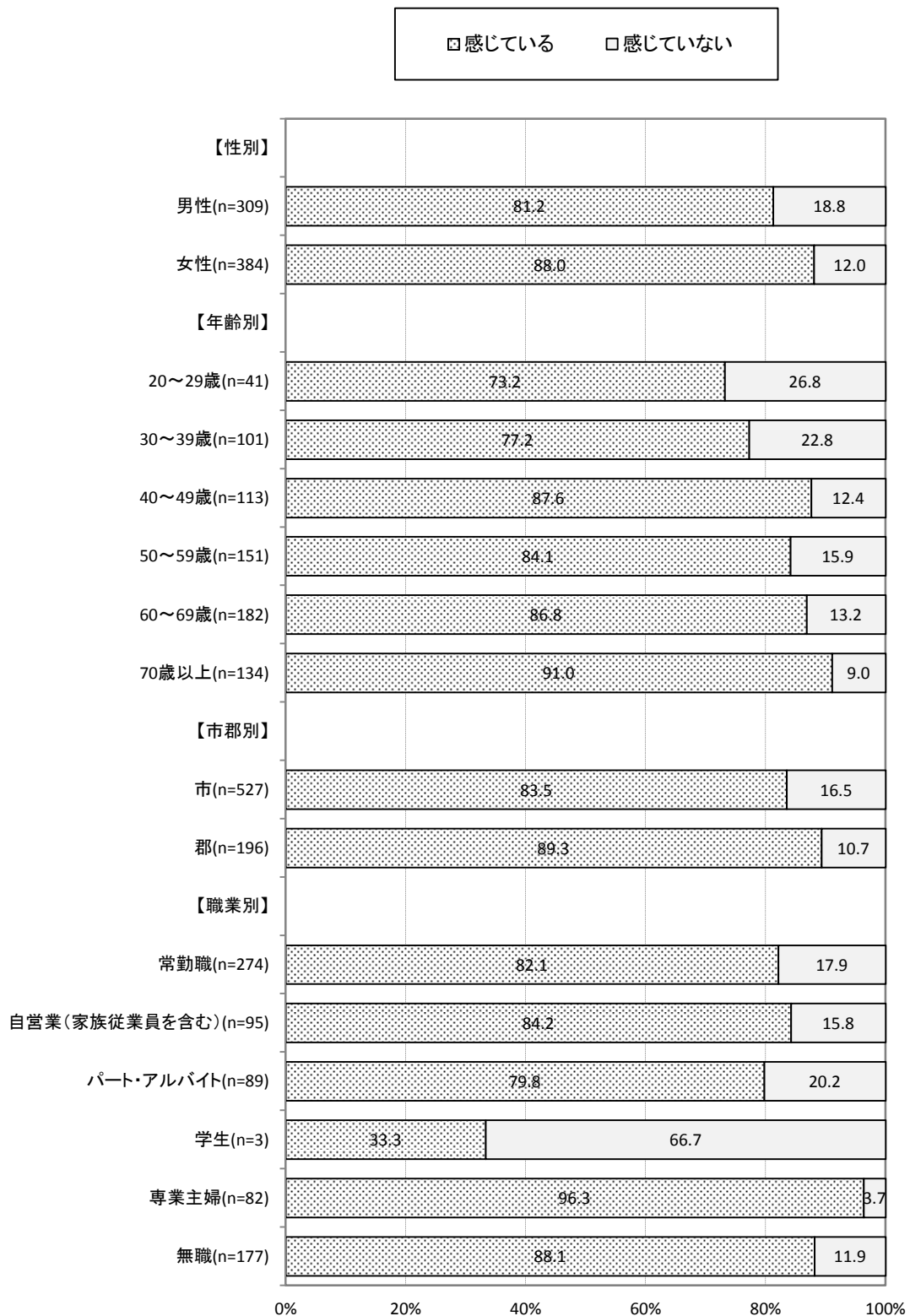
【参考値】平成 21 年度調査の集計方法によるデータ比較

問9 日ごろ体力の衰えを感じているか(SA)					
No.	カテゴリ	H26 年度		H21 年度	
		件数	%	件数	%
1	感じている	615	84.5	879	86.8
2	感じていない	108	14.8	128	12.6
	無回答	5	0.7	6	0.6
	合計	728	100.0	1013	100.0

【クロス分析】

- 性別で見ると、『女性』が『男性』と比較して「感じている」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにつれて「感じている」の割合が高くなっており、特に『70歳以上』では「感じている」の割合が9割以上となっている。
- 市郡別で見ると、『郡部』が『市部』と比較して「感じている」の割合が高い。
- 職業別で見ると、『専業主婦』では「感じている」の割合が9割以上で、他の職業と比較して割合が高い。

問9 日ごろ体力の衰えを感じているか × 性別+年齢+居住地+職業
N = 723 (1つ〇印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

＜運動やスポーツの活動状況＞

問10. あなたが主に行っている運動やスポーツ（競技や種目）とその理由についてお答えください。

① 主に行っている種目（3つ以内）

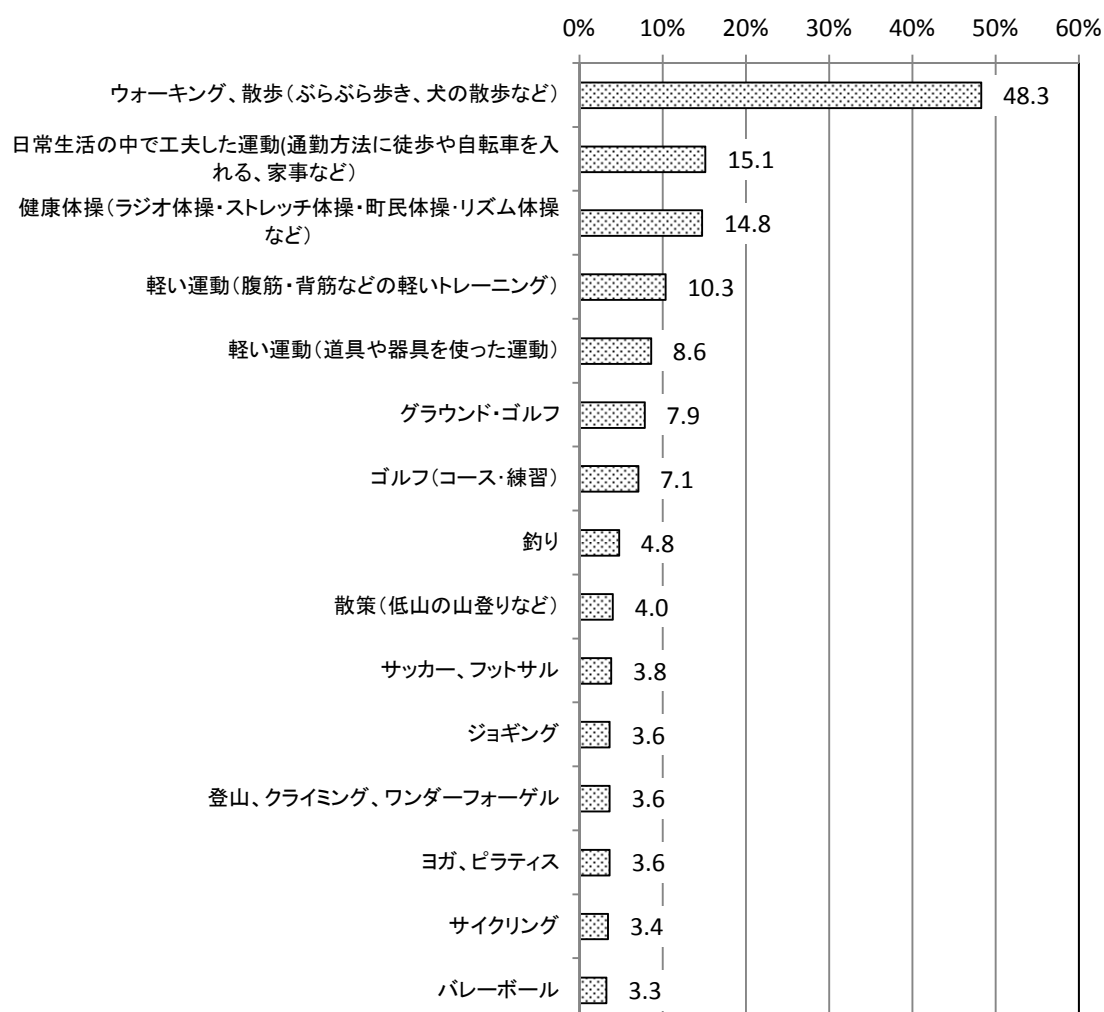
～ウォーキングや散歩が約5割～

日ごろ主に行っている運動やスポーツについて、「ウォーキングや散歩（ぶらぶら歩き、犬の散歩など）」と挙げた者の割合が48.3%と最も多く、以下「日常生活の中で工夫した運動（通勤方法に徒歩や自転車を入れる、家事など）」（15.1%）、「健康体操（ラジオ体操・ストレッチ体操・町民体操・リズム体操など）」（14.8%）、「軽い運動（腹筋・背筋などの軽いトレーニング）」（10.3%）などが続いている。

★前回（H21年度）調査と比較すると「日常生活の中で工夫した運動（通勤方法に徒歩や自転車を入れる、家事など）」の割合が増加している。

問10 日頃から行っている運動やスポーツの種目(上位15位)

N=522



【参考値】平成 21 年度調査の集計方法によるデータ比較

問10 主に行っている種目						
順位	H26年度			H21年度		
	種目	件数	%	種目	件数	%
1	ウォーキング	252	30.7	ウォーキング	325	28.4
2	日常生活の中で工夫した運動	79	9.6	健康体操	97	8.5
3	健康体操	77	9.4	軽い運動（腹筋・背筋）	81	7.1
4	軽い運動（腹筋・背筋）	54	6.6	日常生活の中で工夫した運動	74	6.5
5	軽い運動（道具や器具を使った運動）	45	5.5	ゴルフ	58	5.1
6	グラウンド・ゴルフ	41	5.0	ジョギング	55	4.8
7	ゴルフ	37	4.5	釣り	54	4.7
8	釣り	25	3.0	軽い運動（道具や器具を使った運動）	49	4.3
9	散策（低山の山登りなど）	21	2.6	グラウンド・ゴルフ	42	3.7
10	サッカー、フットサル	20	2.4	散策（低山の山登り）	39	3.4
11	ジョギング	19	2.3	バドミントン	38	3.3
12	登山	19	2.3	バレーボール	37	3.2
13	ヨガ、ピラティス	19	2.3	野球	33	2.9
14	サイクリング	18	2.2	スキー	32	2.8
15	バレーボール	17	2.1	水泳（競泳・飛び込み）	28	2.4
16	野球	17	2.1	サイクリング	24	2.1
17	卓球	16	1.9	ウエイトトレーニング	20	1.7
18	ソフトバレーボール	15	1.8	ボウリング	20	1.7
19	テニス（硬式テニス）	15	1.8	テニス	19	1.7
20	バドミントン	15	1.8	卓球	18	1.6
	合計（無回答除く）	821	100	合計（無回答除く）	1143	100

※上位 20 種目の回答件数を足し上げた数値を母数として比率計算

【クロス分析】

- 性別で見ると、上位に『男性』では「ゴルフ」、「グラウンド・ゴルフ」が入っているのに対し、『女性』では「健康体操」が入っている。
- 年齢別で見ると、上位に『20～29 歳』では「バレーボール」、『30～39 歳』では「ヨガ、ピラティス」、『70 歳以上』では「グラウンド・ゴルフ」が入っている。
- 市郡別で見ると、『郡部』が『市部』と比較して「グラウンド・ゴルフ」、「ゴルフ」の割合が高い。
- 職業別で見ると、『無職』では「グラウンド・ゴルフ」が 2 位となっている。

問 10 ①行っている種目・競技(123統合)の上位10位 × 性別+年齢+居住地+職業別

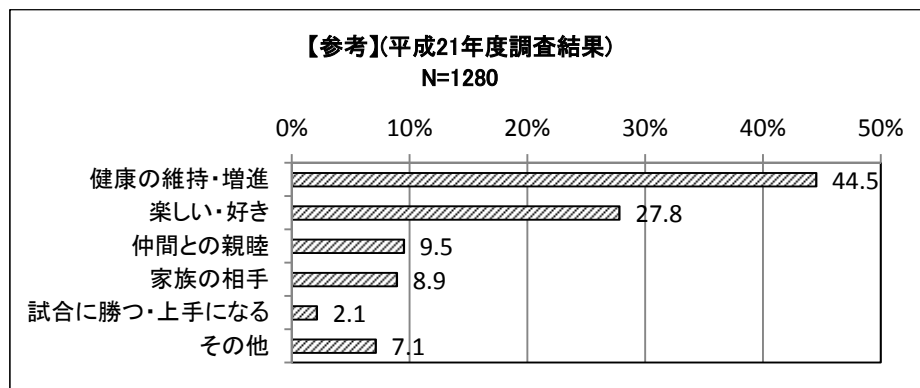
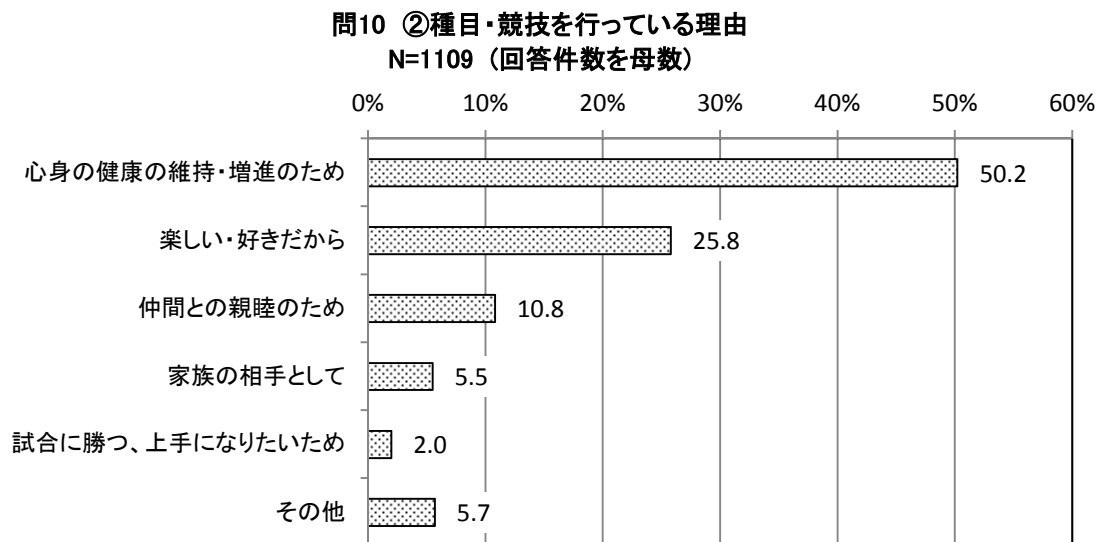
上段種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	
全体(n=522)		ウォーキング 48.3	日常生活の中で 工夫した運動 15.1	健康体操 14.8	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 10.3	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 8.6	グラウンド ・ゴルフ 7.9	ゴルフ (コース・練習) 7.1	釣り 4.8	散策 (低山の山登り) 4.0	サッカー、 フットサル 3.8	
性別	男性(n=237)	ウォーキング 42.6	ゴルフ (コース・練習) 14.3	日常生活の中で 工夫した運動 11.4	グラウンド ・ゴルフ 11.0	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 10.1	軽い運動 (道具や器具) 9.3	釣り 6.8	野球 6.3	健康体操 6.3	ジョギング 6.3	
	女性(n=267)	ウォーキング 53.2	健康体操 22.5	日常生活の中で 工夫した運動 18.7	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 9.4	軽い運動 (道具や器具) 8.6	ヨガ、 ピラティス 6.4	グラウンド ・ゴルフ 5.6	バレーボール 4.5	ソフト バレーボール 4.1	テニス(硬式) 4.1	
年齢	20~29歳 (n=33)	ウォーキング 42.4	日常生活の中で 工夫した運動 15.2	バレーボール 12.1	健康体操 12.1	サッカー、 フットサル 9.1	テニス(硬式) 9.1	バドミントン 9.1	マラソン 9.1	ウェイト レーニング 9.1	バスケットボール 9.1	
	30~39歳 (n=83)	ウォーキング 36.1	日常生活の中で 工夫した運動 12.0	軽い運動 (道具や器具) 9.6	ヨガ、 ピラティス 8.4	健康体操 8.4	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 7.2	サイクリング 7.2	ソフト バレーボール 6.0	サッカー、 フットサル 6.0	バレーボール 6.0	
	40~49歳 (n=86)	ウォーキング 36.0	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 17.4	軽い運動 (道具や器具) 14.0	日常生活の中で 工夫した運動 12.8	サッカー、 フットサル 9.3	健康体操 7.0	野球 7.0	ソフト バレーボール 5.8	ジョギング 5.8	サイクリング 5.8	
	50~59歳 (n=104)	ウォーキング 51.0	日常生活の中で 工夫した運動 14.4	健康体操 12.5	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 11.5	ゴルフ (コース・練習) 6.7	軽い運動 (道具や器具) 6.7	ボウリング 4.8	ジョギング 4.8	バドミントン 4.8	グラウンド ・ゴルフ 3.8	
	60~69歳 (n=134)	ウォーキング 56.7	健康体操 21.6	日常生活の中で 工夫した運動 19.4	ゴルフ (コース・練習) 10.4	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 9.7	グラウンド ・ゴルフ 7.5	軽い運動 (道具や器具) 7.5	釣り 6.7	散策 (低山の山登り) 6.7	登山 5.2	
	70歳以上 (n=82)	ウォーキング 58.5	グラウンド ・ゴルフ 29.3	健康体操 22.0	日常生活の中で 工夫した運動 14.6	軽い運動 (道具や器具) 8.5	釣り 7.3	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 7.3	ゴルフ (コース・練習) 6.1	卓球 6.1	散策 (低山の山登り) 3.7	
居住地	市(n=381)	ウォーキング 49.3	日常生活の中で 工夫した運動 16.0	健康体操 15.0	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 12.1	軽い運動 (道具や器具) 9.7	グラウンド ・ゴルフ 6.0	ゴルフ (コース・練習) 5.8	釣り 5.5	散策 (低山の山登り) 4.2	ジョギング 4.2	
	郡(n=141)	ウォーキング 45.4	健康体操 14.2	日常生活の中で 工夫した運動 12.8	グラウンド ・ゴルフ 10.6	ゴルフ (コース・練習) 10.6	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 5.7	軽い運動 (道具や器具) 5.7	バレーボール 5.0	野球 5.0	サッカー、 フットサル 4.3	
職業	常勤職 (n=202)	ウォーキング 41.1	日常生活の中で 工夫した運動 12.9	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 10.4	健康体操 9.9	ゴルフ (コース・練習) 9.4	軽い運動 (道具や器具) 7.9	サッカー、 フットサル 6.9	バレーボール 6.9	野球 5.9	サイクリング 5.0	
	自営業(家族 従業員を含む) (n=74)	ウォーキング 39.2	日常生活の中で 工夫した運動 16.2	健康体操 13.5	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 12.2	グラウンド ・ゴルフ 8.1	軽い運動 (道具や器具) 6.8	ゴルフ (コース・練習) 5.4	釣り 5.4	登山 5.4	野球 5.4	
	パート・アルバイト (n=60)	ウォーキング 46.7	日常生活の中で 工夫した運動 18.3	健康体操 15.0	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 10.0	軽い運動 (道具や器具) 10.0	ヨガ、 ピラティス 5.0	散策 (低山の山登り) 5.0	水泳 3.3	サッカー、 フットサル 3.3	ジョギング 3.3	
	学生(n=3)	ウォーキング 66.7	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 33.3	軽い運動 (道具や器具) 33.3	散策 (低山の山登り) 33.3	バドミントン 33.3	-	-	-	-	-	-
	専業主婦 (n=61)	ウォーキング 68.9	健康体操 31.1	日常生活の中で 工夫した運動 19.7	軽い運動 (道具や器具) 11.5	ヨガ、 ピラティス 9.8	グラウンド ・ゴルフ 6.6	ゴルフ (コース・練習) 4.9	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 3.3	卓球 3.3	テニス(硬式) 3.3	
	無職(n=120)	ウォーキング 55.0	グラウンド ・ゴルフ 18.3	健康体操 15.8	日常生活の中で 工夫した運動 15.0	軽い運動(腹筋・ 背筋など) 9.2	釣り 9.2	ゴルフ (コース・練習) 8.3	軽い運動 (道具や器具) 6.7	その他 5.0	散策 (低山の山登り) 4.2	

(注)表には、属性が不明者の表示は掲載していません。

- ② 運動やスポーツを行っているのは、どんな理由からですか。(〇印はいくつでも)
 ～今、行っている運動やスポーツは約5割が「心身の健康の維持・増進のため」～

運動やスポーツを行っている理由について、「心身の健康の維持・増進のため」とい回答した者の割合が50.2%と最も多く、以下「楽しい・好きだから」(25.8%)、「仲間との親睦のため」(10.8%)、「家族の相手として」(5.5%)などと続いている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「心身の健康の維持・増進のため」の割合が増加している。

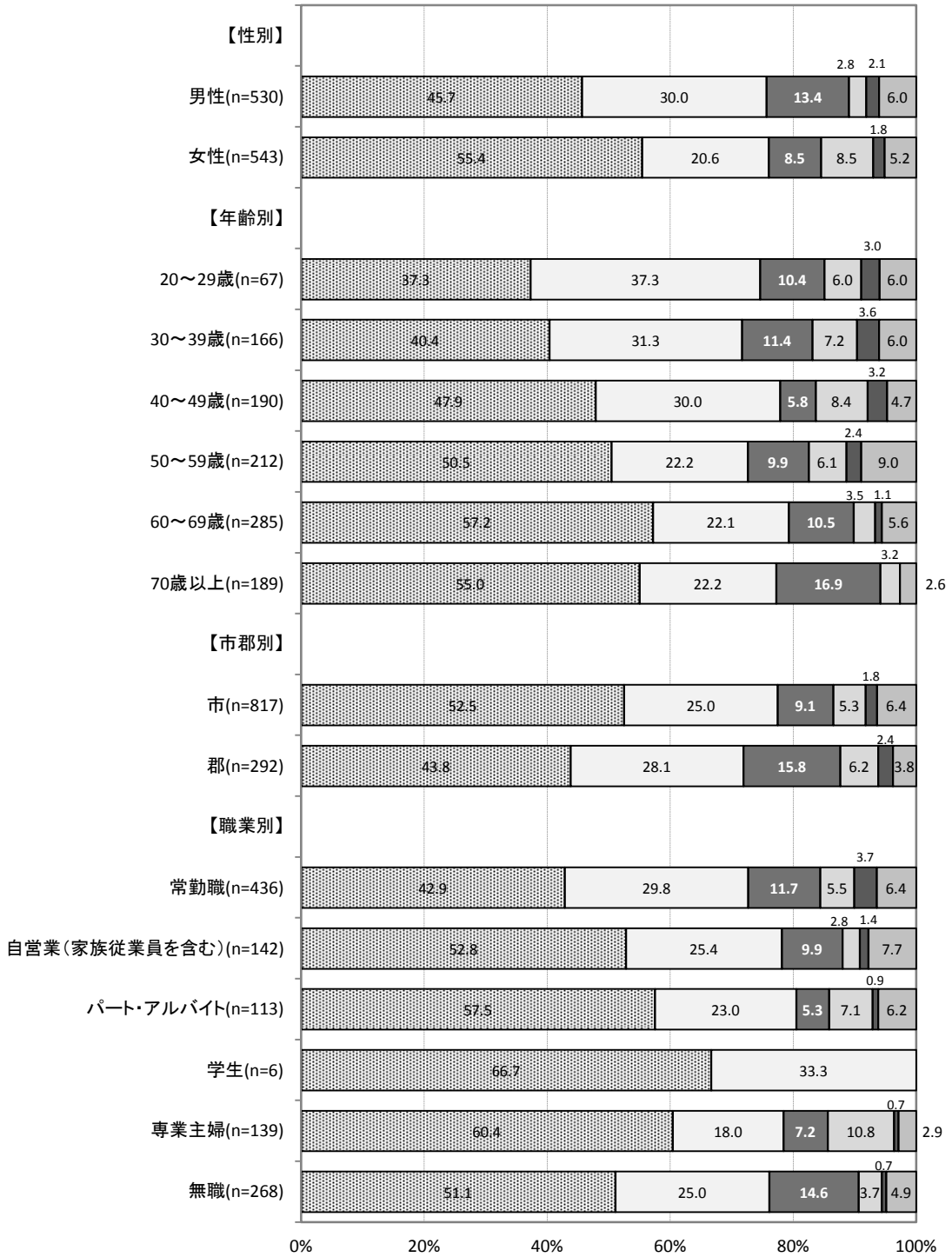


【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』では「楽しい・好きだから」、「仲間との親睦のため」の割合が、『女性』では「心身の健康維持・増進のため」、「家族の相手として」の割合がそれぞれ高い。
- 年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにつれて「心身の健康維持・増進のため」割合が高くなっている。また、『70歳以上』では「仲間との親睦のため」の割合が高い。
- 市郡別で見ると、『市部』では「心身の健康維持・増進のため」の割合が、『郡部』では「仲間との親睦のため」の割合がそれぞれ高い。
- 職業別で見ると、『学生』、『専業主婦』、『パート・アルバイト』では「心身の健康維持・増進のため」の割合が、『無職』、『常勤職』では「仲間との親睦のため」の割合がそれぞれ高い。

問10 ②種目・競技を行っている理由 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 1109 (回答件数を母数)

心身の健康の維持・増進のため
 楽しい・好きだから
 仲間との親睦のため
 家族の相手として
 試合に勝つ、上手になりたいため
 その他

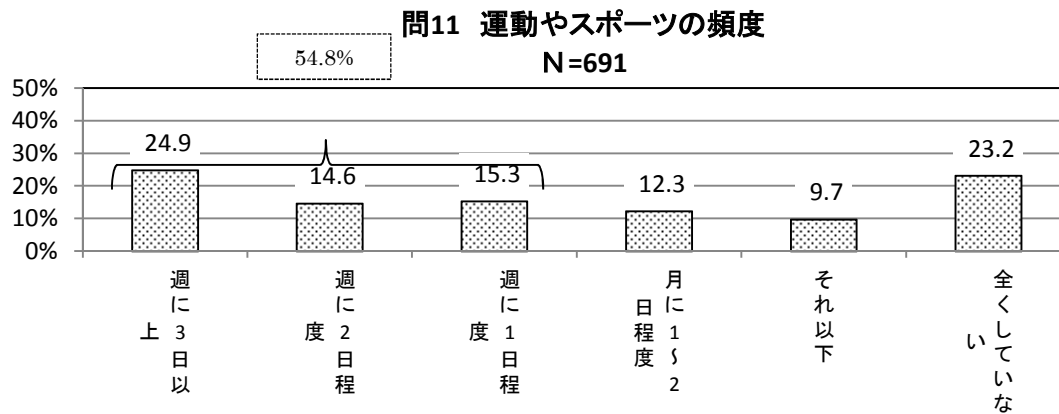


※グラフは、回答件数の合計を母数として比率計算しています。
(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問11. 問10の運動やスポーツを行った日数を全部合わせると、一年間にどのくらいの割合で運動やスポーツを行いましたか。(1つ〇印)
 ～週1日以上、運動やスポーツを行っている人が5割以上～

1年間の運動やスポーツを行った頻度について、「週に1日以上」と回答した者の割合が54.8%（「週に3日以上」24.9%、+「週に2日程度」14.6%、+「週に1日程度」15.3%）となっている。

★前回(H21年度)調査と比較すると大きな変化は見られない。



【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

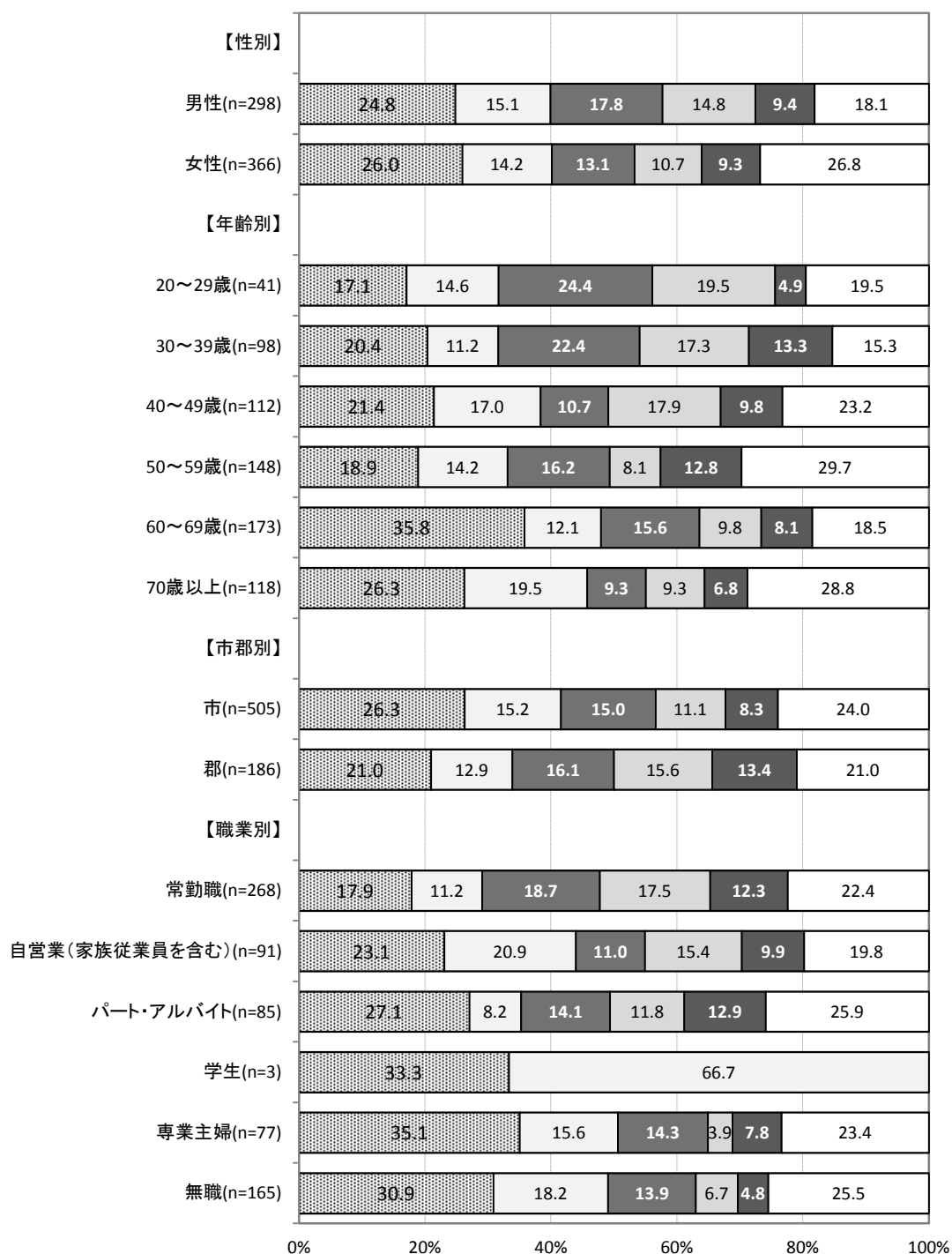
問11 運動やスポーツの頻度					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	週に3日以上	172	23.6	237	23.4
2	週に2日程度	101	13.9	130	12.8
3	週に1日程度	106	14.6	157	15.5
4	月に1～2日程度	85	11.7	145	14.3
5	それ以下	67	9.2	112	11.1
6	全くしていない	160	22.0	164	16.2
	無回答	37	5.1	68	6.7
	合計	728	100.0	1013	100.0

【クロス分析】

- 性別で見ると、『女性』が『男性』と比較して「全くしていない」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、『60～69歳』で「週に1日以上」行った者の割合が最も高く、『40～49歳』、『50～59歳』で「週に1日以上」行った者の割合が低い。
- 市郡別で見ると、『市部』が『郡部』と比較して「週に1日以上」行った者の割合が高い。
- 職業別で見ると、『専業主婦』、『無職』が他の職業と比較して「週に1日以上」行った者の割合が高い。

問11 運動やスポーツの頻度 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 691 (1つ〇印)

■週に3日以上 □週に2日程度 ■週に1日程度 □月に1~2日程度 ■それ以下 □全くしていない



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

(問11で「6. 全くしていない」と回答した人にお伺いします。)

問12. あなたが運動やスポーツをしなかったのは、どのような理由からですか。

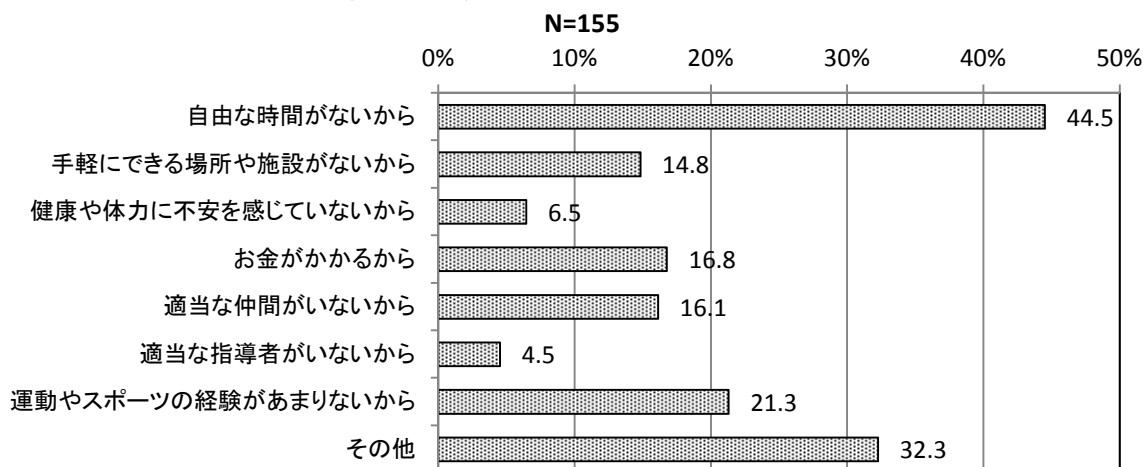
(いくつでも○印)

～「自由な時間がない」という理由が4割以上～

運動やスポーツを全くしていない理由について、「自由な時間がないから」と答えた者が44.5%と最も多く、以下「運動やスポーツの経験があまりないから」(21.3%)、「お金がかかるから」(16.8%)、「適当な仲間がないから」(16.1%)などと続いている。また、「その他」の意見には、高齢、また病気等による身体的な障がいを理由とするものが多くみられる。

★前回(H21年度)調査と比較すると「手軽にできる場所や施設がないから」、「適当な仲間がないから」の割合が減少し、「お金がかかるから」の割合が増加している。

問12 運動やスポーツをしなかった理由



【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問12 運動やスポーツをしなかった理由					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	自由な時間がないから	69	28.4	88	27.0
2	手軽にできる場所や施設がないから	23	9.5	44	13.5
3	健康や体力に不安を感じていないから	10	4.1	18	5.5
4	お金がかかるから	26	10.7	22	6.7
5	適当な仲間がないから	25	10.3	53	16.3
6	適当な指導者がいないから	7	2.9	8	2.5
7	運動やスポーツの経験があまりないから	33	13.6	50	15.3
8	その他	50	20.6	43	13.2
	合計(無回答を除く)	243	100.0	326	100.0

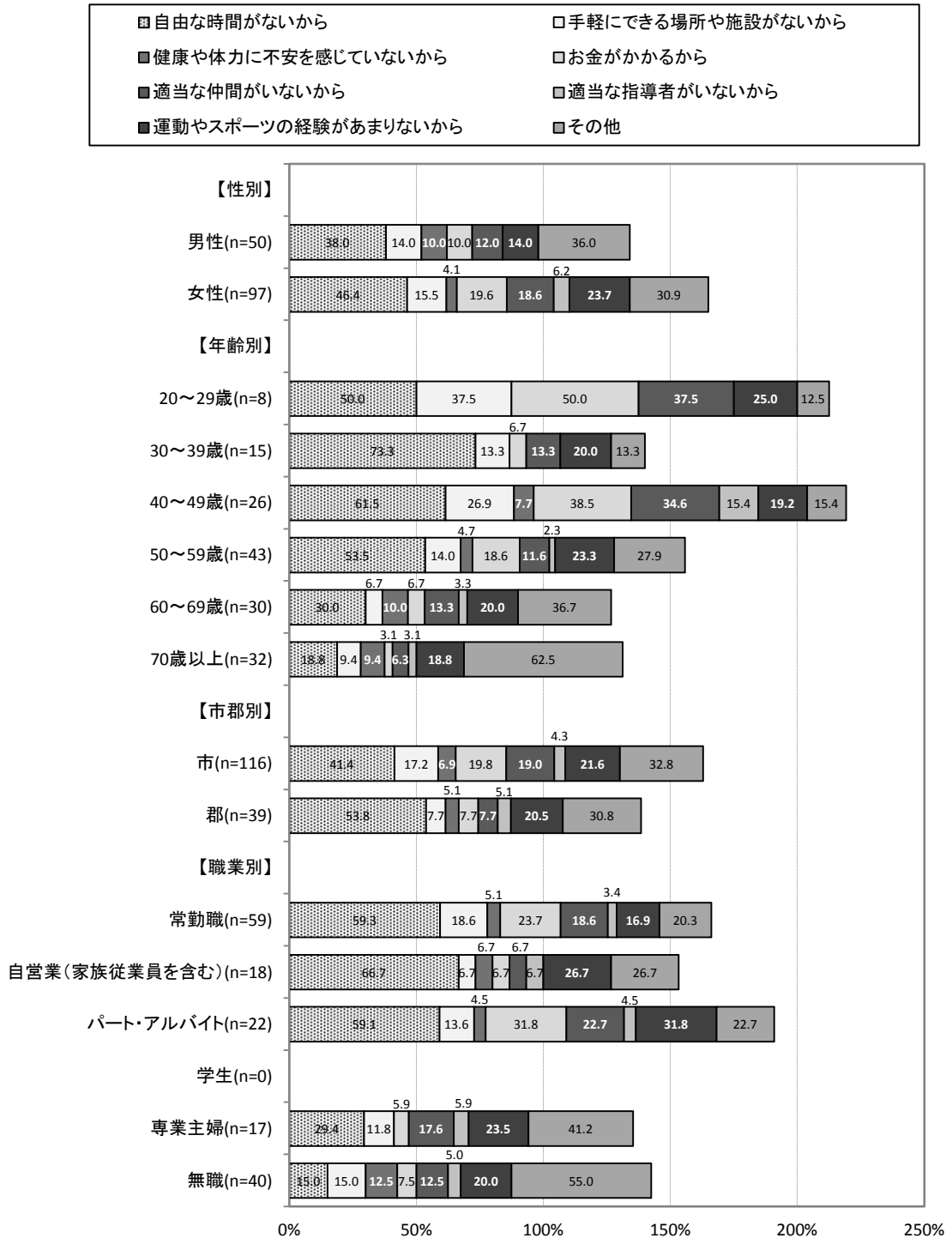
※回答数を足し上げた数値から無回答を除いた数値を母数として比率計算。

【クロス分析】

○性別でみると、『女性』が『男性』と比較して「自由な時間がないから」、「お金がかかるから」の割合が高い。

- 年齢別でみると、『20～29 歳』で「お金がかかるから」の割合が、『20 歳～59 歳』で「自由な時間がないから」の割合がそれぞれ高い。
- 市郡別でみると、『郡部』では「自由な時間がないから」の割合が、『市部』では「お金がかかるから」、「適当な仲間がないから」の割合がそれぞれ高い。
- 職業別でみると、『常勤職』、『自営業』、『パート・アルバイト』などの有職者では、「自由な時間がないから」の割合が高い。

問12 運動やスポーツをしなかった理由 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 155 (いくつかも○印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問13. あなたはこの一年間に、運動やスポーツの行事や教室に参加したことがありますか。(いくつでも○印)

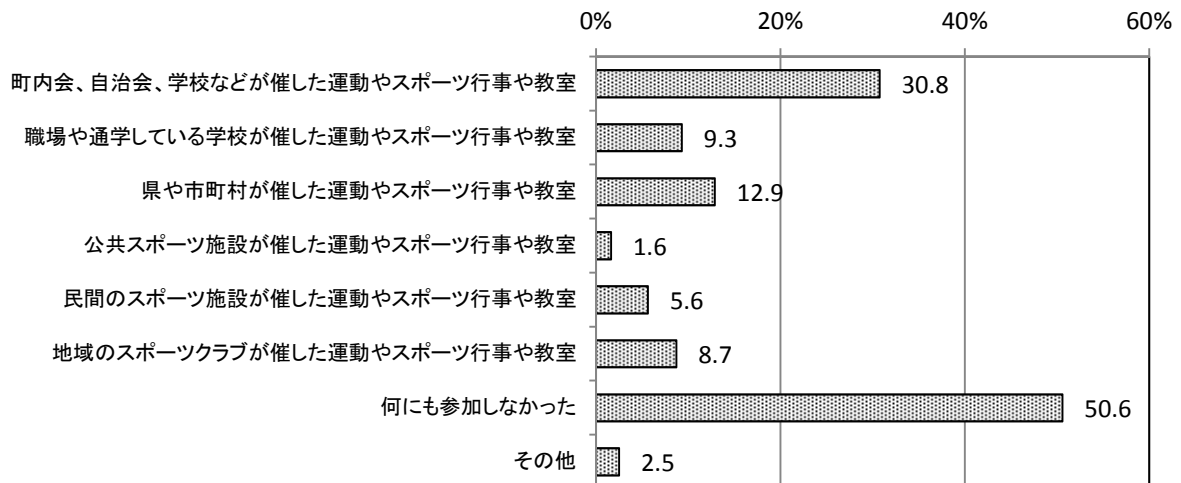
～「何にも参加しなかった」人が5割以上～

運動やスポーツの行事や教室に参加した経験について、何らかに参加したという回答では、「町内会、自治会、学校などが催した運動やスポーツ行事や教室」(30.8%)、「県や市町村が催した運動やスポーツ行事や教室」(12.9%)、「職場や通学している学校が催した運動やスポーツ行事や教室」(9.3%)などの順となっている。一方「何にも参加しなかった」と回答した者の割合が50.6%となっている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「職場や通学している学校が催した運動やスポーツ行事や教室」の割合が減少し、「何もしなかった」の割合が増加している。

問13 参加した行事・教室

N=676



【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問13 参加した行事・教室					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	町内会、自治会、学校などが催した運動やスポーツ行事や教室	208	25.2	349	29.0
2	職場や通学している学校が催した運動やスポーツ行事や教室	63	7.6	201	16.7
3	県や市町村が催した運動やスポーツ行事や教室	87	10.5	110	9.2
4	公共スポーツ施設が催した運動やスポーツ行事や教室	11	1.3	37	3.1
5	民間のスポーツ施設が催した運動やスポーツ行事や教室	38	4.6	79	6.6
6	地域のスポーツクラブが催した運動やスポーツ行事や教室 (前回なし)	59	7.2	-	-
7	何にも参加しなかった	342	41.5	393	32.7
8	その他	17	2.1	33	2.7
	合計 (無回答を除く)	825	100.0	1202	100.0

※回答数を足し上げた数値から無回答を除いた数値を母数として比率計算。

【クロス分析】

○性別でみると、『男性』は「町内会、自治会、学校などが催した運動やスポーツ行事や教室」、
「県や市町村が催した運動やスポーツ行事や教室」の割合が、『女性』は「何にも参加しな

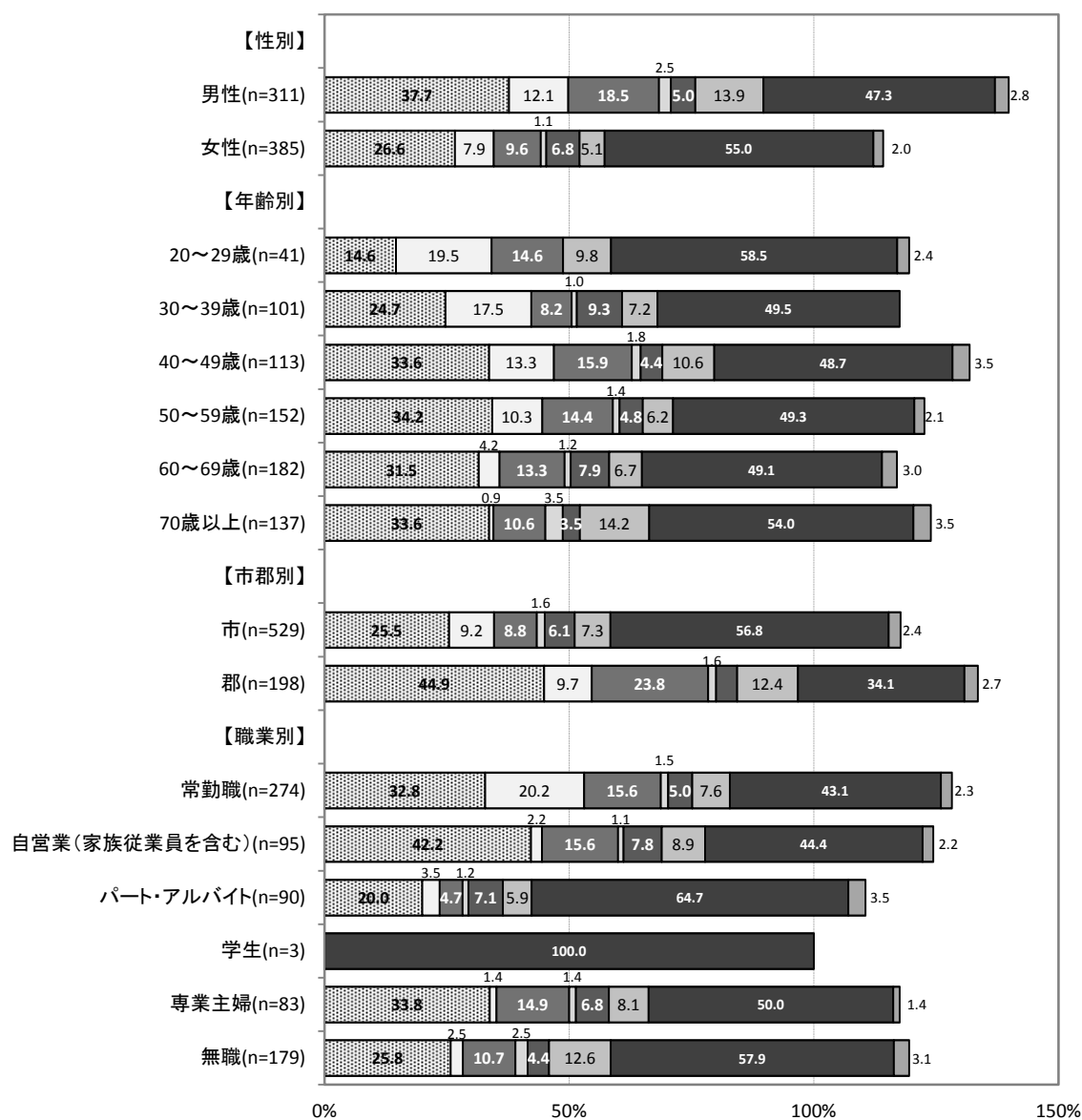
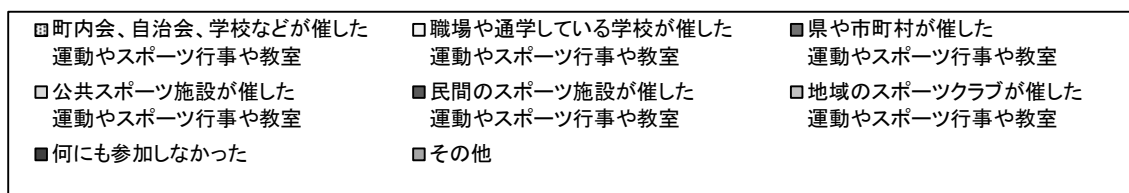
かった」の割合がそれぞれ高い。

○年齢別でみると、『20～29歳』で「何も参加しなかった」の割合が最も高い。また年齢が高くなるにつれて「職場や通学している学校が催した運動やスポーツ行事や教室」の割合が低下している。

○市郡別でみると、『郡部』では『市部』と比較して「町内会、自治会、学校などが催した運動やスポーツ行事や教室」の割合が高い。

○職業別でみると、『学生』、『専業主婦』、『パート・アルバイト』、『無職』では「何にも参加しなかった」の割合が高い。

問13 参加した行事・教室 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 676 (いくつでも○印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問14. あなたが運動やスポーツを行うときに、利用する施設や場所はどれですか。
(いくつでも○印)

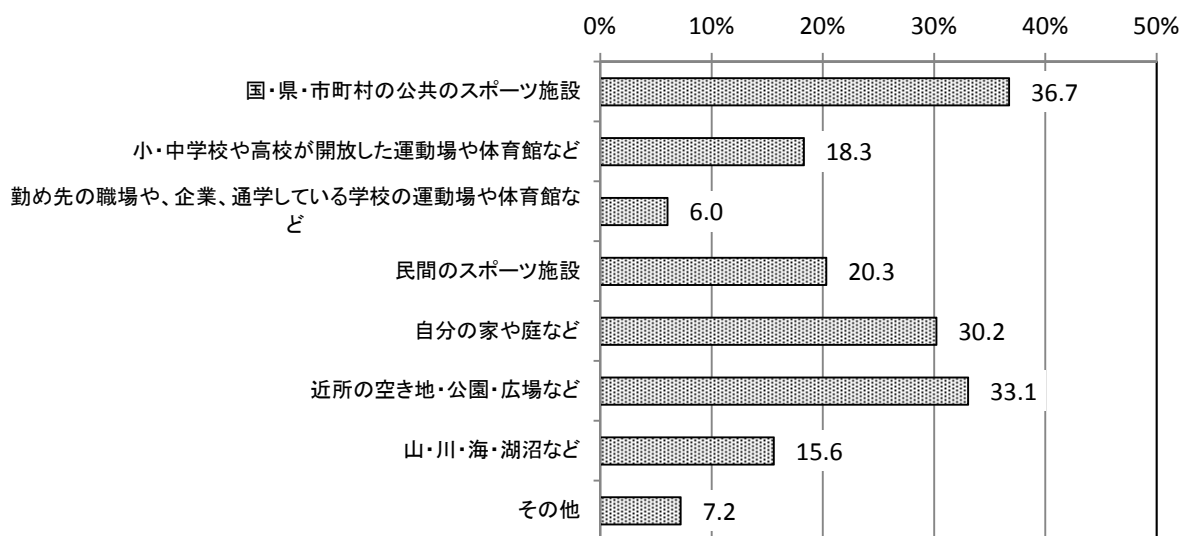
～国・県・市町村の公共のスポーツ施設の他は近所の空き地・公園や自分の家など～

運動やスポーツを行うときに利用する施設や場所について、「国・県・市町村の公共のスポーツ施設」と挙げた者の割合が36.7%と最も多く、以下「近所の空き地・公園・広場など」(33.1%)、「自分の家や庭など」(30.2%)、「民間のスポーツ施設」(20.3%)などと続いている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「国・県・市町村の公共のスポーツ施設」の割合は低下し、「近所の空き地・公園・広場」の割合が増加している。

問14 利用する施設・場所

N=596



【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問14 利用する施設・場所					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	国・県・市町村の公共のスポーツ施設	219	21.9	370	23.7
2	小・中学校や高校が開放した運動場や体育館など	109	10.9	182	11.6
3	勤め先の職場や、企業、通学している学校の運動場や体育館など	36	3.6	58	3.7
4	民間のスポーツ施設	121	12.1	170	10.9
5	自分の家や庭など	180	18.0	280	17.9
6	近所の空き地・公園・広場など	197	19.7	259	16.6
7	山・川・海・湖沼など	93	9.3	183	11.7
8	その他	43	4.3	61	3.9
	合計（無回答を除く）	998	100.0	1563	100.0

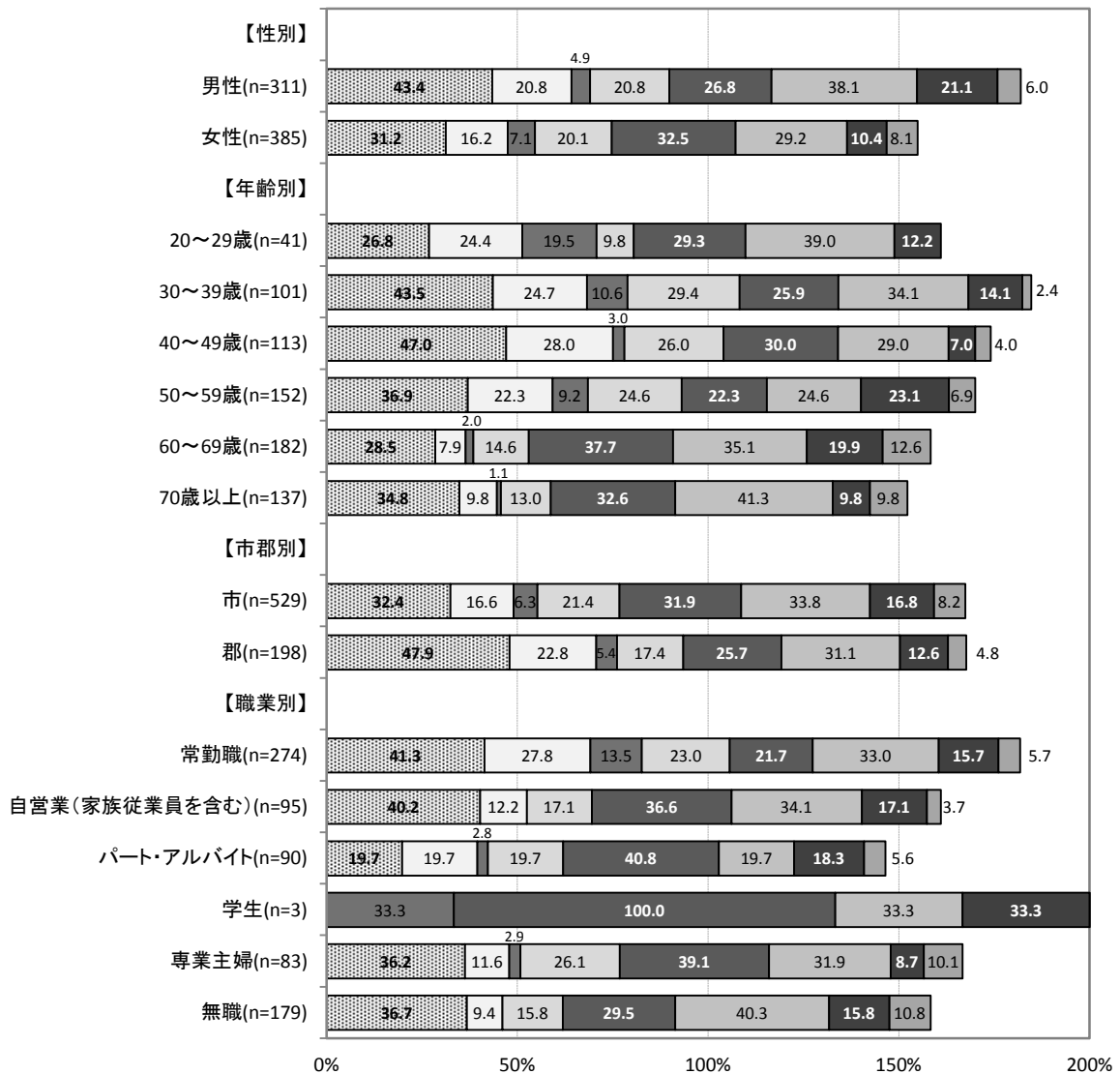
※回答数を足し上げた数値から無回答を除いた数値を母数として比率計算。

【クロス分析】

- 性別でみると、『男性』は「国・県・市町村の公共のスポーツ施設」の割合が、『女性』は「自分の家や庭など」の割合がそれぞれ高い。
- 年齢別でみると、『30～49 歳』で「国・県・市町村の公共のスポーツ施設」、「民間のスポーツ施設」の割合が高い。
- 市郡別でみると、『郡部』では市部と比較して「国・県・市町村の公共のスポーツ施設」の割合が高い。
- 職業別でみると、『専業主婦』、『パート・アルバイト』では「自分の家や庭など」の割合が、『無職』では「近所の空き地・公園・広場など」の割合がそれぞれ高い。

問14 利用する施設・場所 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 596 (いくつでも○印)

■ 国・県・市町村の公共のスポーツ施設	□ 小・中学校や高校が開放した運動場や体育館など	■ 勤め先の職場や、企業、通学している学校の運動場や体育館など
□ 民間のスポーツ施設	■ 自分の家や庭など	□ 近所の空き地・公園・広場など
■ 山・川・海・湖沼など	□ その他	

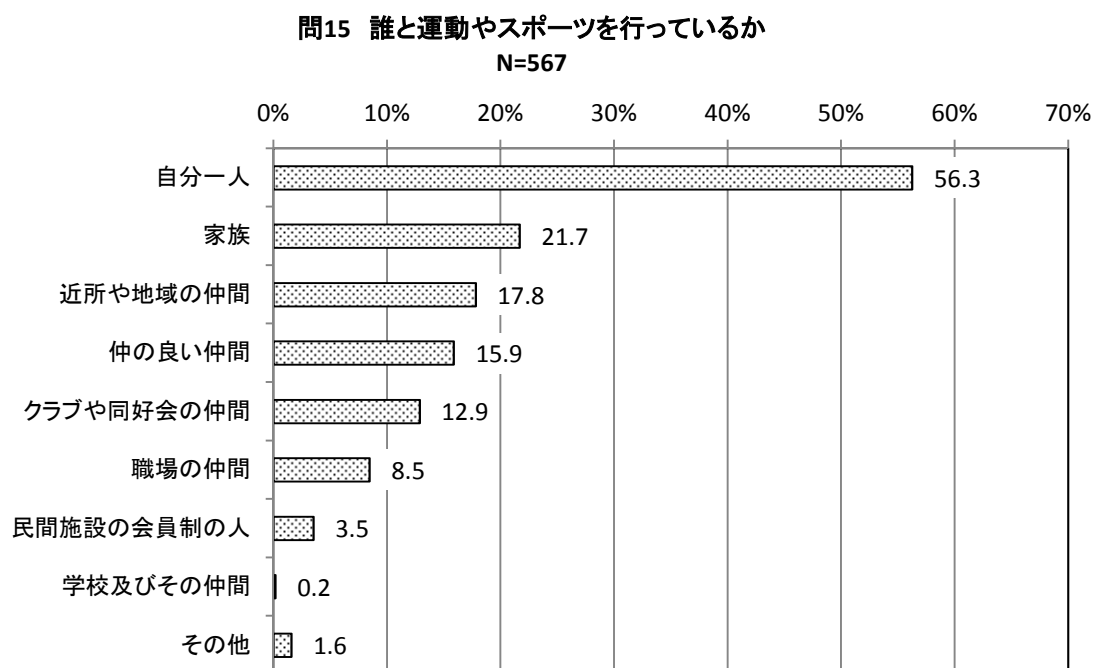


(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問15. あなたは、現在、誰と運動やスポーツを行っていますか。(2つ以内に○印)
 ～運動やスポーツは「自分一人」が5割以上～

運動やスポーツを一緒に行っている人について、「自分一人」と回答した者の割合が56.3%と最も多く、以下「家族」(21.7%)、「近所や地域の仲間」(17.8%)、「仲の良い仲間」(15.9%)などと続いている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「自分一人」、「近所や地域の仲間」の割合が増加し、「家族」、「クラブや同好会の仲間」、「学校及びその仲間」の割合が減少している。



【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問15 誰と運動やスポーツを行っているか					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	自分一人	319	40.7	442	35.2
2	家族	123	15.7	260	20.7
3	職場の仲間	48	6.1	82	6.5
4	近所や地域の仲間	101	12.9	128	10.2
5	仲の良い仲間	90	11.5	136	10.8
6	クラブや同好会の仲間	73	9.3	140	11.2
7	学校及びその仲間	1	0.1	35	2.8
8	民間施設の会員制の人	20	2.6	25	2.0
9	その他	9	1.1	7	0.6
	合計(無回答を除く)	784	100.0	1255	100.0

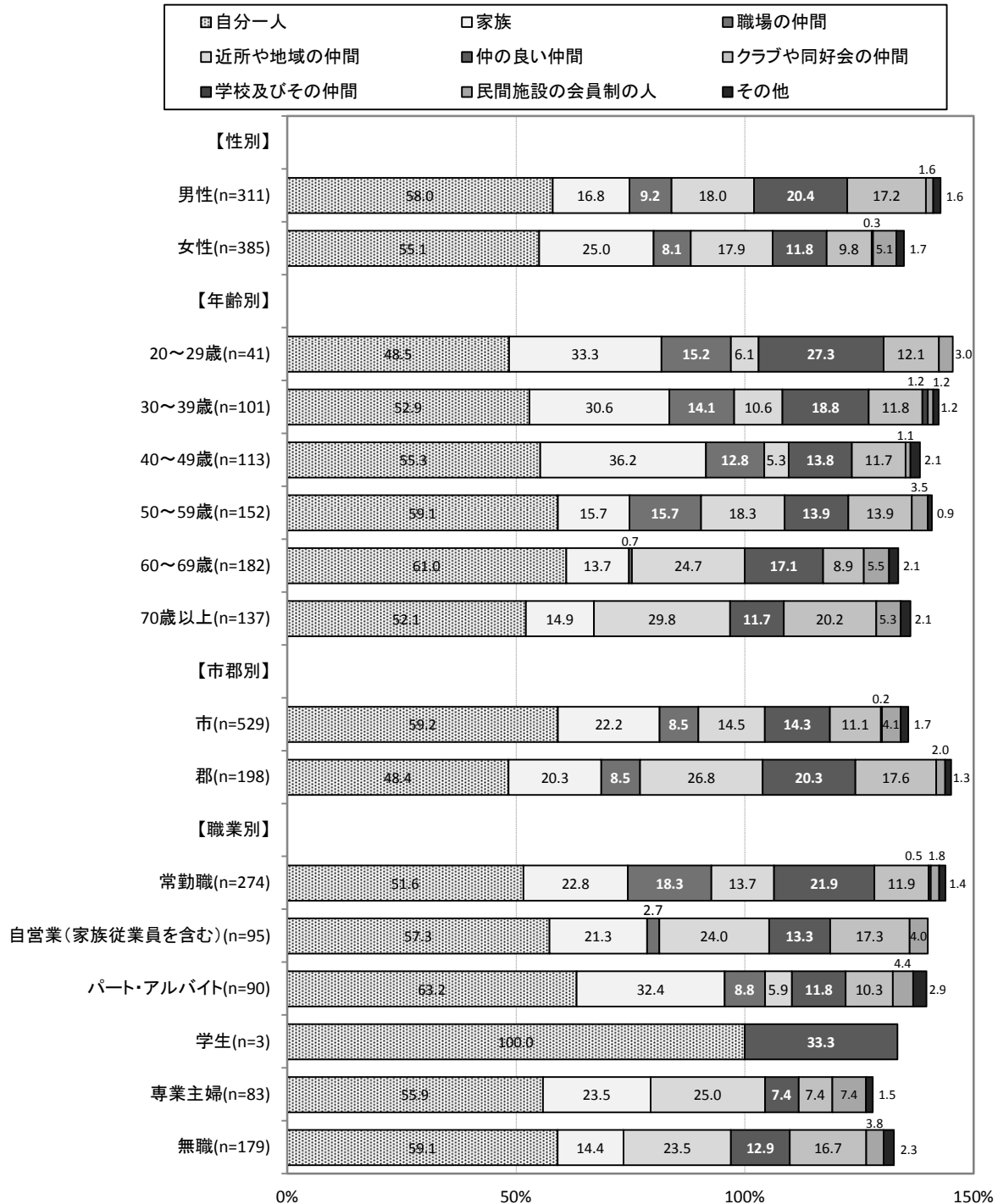
※回答数を足し上げた数値から無回答を除いた数値を母数として比率計算。

【クロス分析】

○性別でみると、『男性』は「仲の良い仲間」、「クラブや同好会の仲間」の割合が、『女性』は「家族」の割合がそれぞれ高い。

- 年齢別でみると、『20～49歳』で「家族」の割合が、『60歳以上』で「近所や地域の仲間」の割合がそれぞれ高い。
- 市郡別でみると、『市部』では「自分1人」の割合が、『郡部』では「近所や地域の仲間」の割合がそれぞれ多い。
- 職業別でみると、『常勤職』では「職場の仲間」の割合が、『自営業』、『専業主婦』、『無職』では「近所や地域の仲間」の割合が、『自営業』、『無職』では「クラブや同好会の仲間」の割合がそれぞれ高い。

問15 誰と運動やスポーツを行っているか × 性別+年齢+居住地+職業
N = 567 (2つ以内○印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

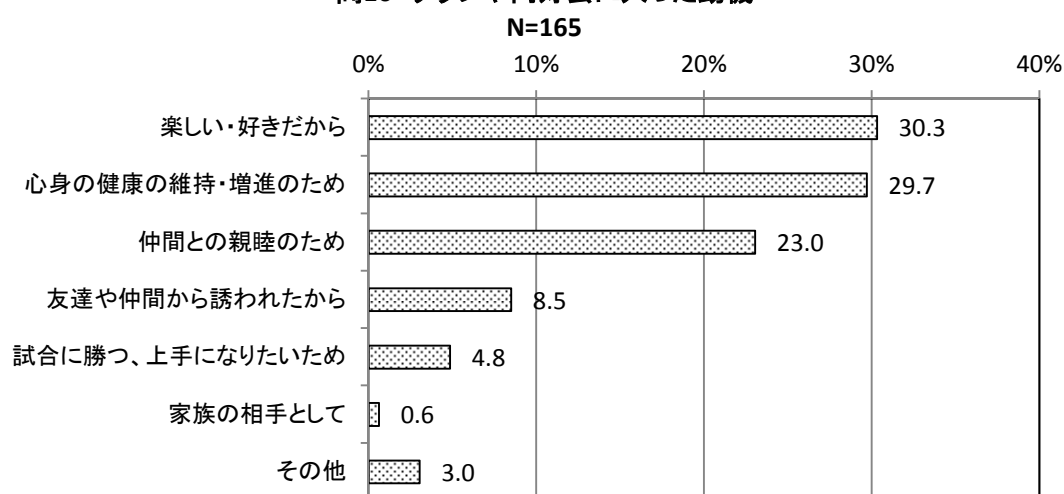
問16. クラブや同好会に入っている人にお伺いします。あなたが、そのクラブや同好会に入った動機は何ですか。(1つ〇印)

～クラブや同好会に入ったのは「楽しい・好きだから」「心身の健康の維持・増進のため」～

クラブや同好会に入った動機について、「楽しい・好きだから」と回答した者の割合が30.3%と最も多く、以下「心身の健康の維持・増進のため」(29.7%)、「仲間との親睦のため」(23.0%)、「友達や仲間から誘われたから」(8.5%)などと続いている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「仲間との親睦のため」の割合が増加し、「友だちや仲間から誘われたから」の割合が減少している。

問16 クラブや同好会に入った動機



【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問16 クラブや同好会に入った動機					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	心身の健康の維持・増進のため	49	29.7	72	27.1
2	楽しい・好きだから	50	30.3	85	32.0
3	仲間との親睦のため	38	23.0	40	15.0
4	家族の相手として	1	0.6	5	1.9
5	試合に勝つ、上手になりたいため	8	4.8	16	6.0
6	友達や仲間から誘われたから	14	8.5	34	12.8
7	その他	5	3.0	14	5.3
	合計(無回答を除く)	165	100.0	266	100.0

【クロス分析】

○性別で見ると、『男性』は「楽しい・好きだから」、「仲間との親睦のため」の割合が、『女性』は「心身の健康の維持・増進のため」、「友達や仲間から誘われたから」の割合がそれぞれ高い。

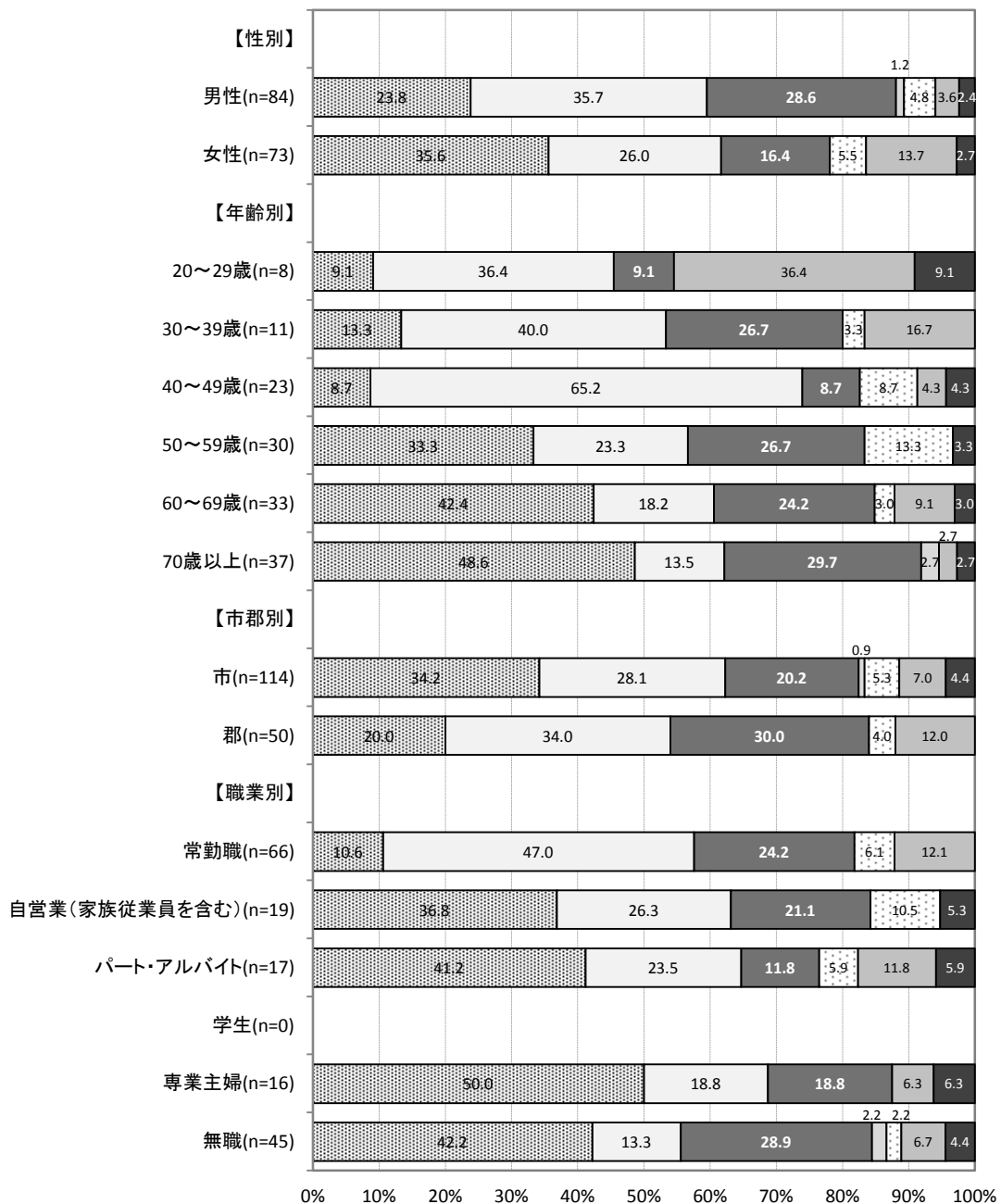
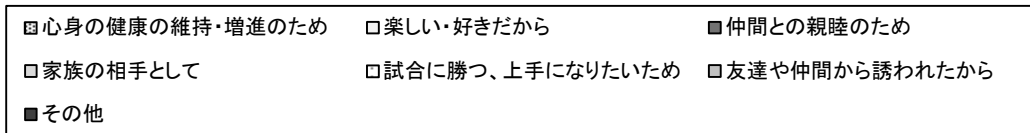
○年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにつれて「心身の健康の維持・増進のため」の割合が高くなっている。『20～29歳』で「友達や仲間から誘われたから」の割合が、『40～49歳』

で「楽しい・好きだから」の割合がそれぞれ高い。

○市郡別でみると、『市部』では「心身の健康の維持・増進のため」の割合が、『郡部』では「楽しい・好きだから」、「仲間との親睦のため」の割合がそれぞれ高い。

○職業別でみると、『常勤職』では「楽しい・好きだから」の割合が、『専業主婦』では「心身の健康の維持・増進のため」の割合が、『無職』では「仲間との親睦のため」の割合がそれぞれ高い。

問16 クラブや同好会に入った動機 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 165 (1つ〇印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問17. 日ごろ行っている運動を個人または親子や仲間で、時間や場所などを工夫して行っている実践があれば記入してください。

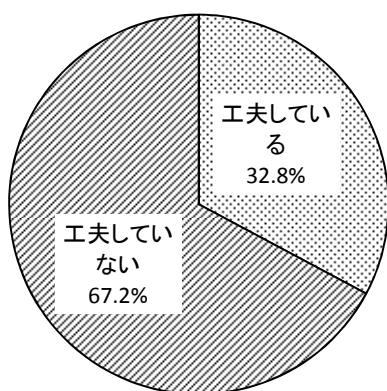
～日ごろ運動を工夫して行っている人は3割以上～

日ごろの運動で工夫している実践について、「工夫している」と回答した者の割合が32.8%となっている。一方「工夫していない」と回答した者の割合が67.2%となっている。工夫している実践例としては、「犬の散歩や通勤中、休憩中を利用したウォーキング」、「テレビ鑑賞中や家事の合間のストレッチ」などが挙げられている。

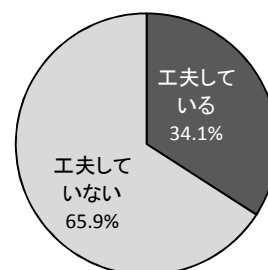
★前回(H21年度)調査と比較すると大きな変化は見られない。

問17 工夫して行っている実践の有無

N=728



【参考】平成21年度 調査結果
運動を時間や場所など工夫の有無
N=1013



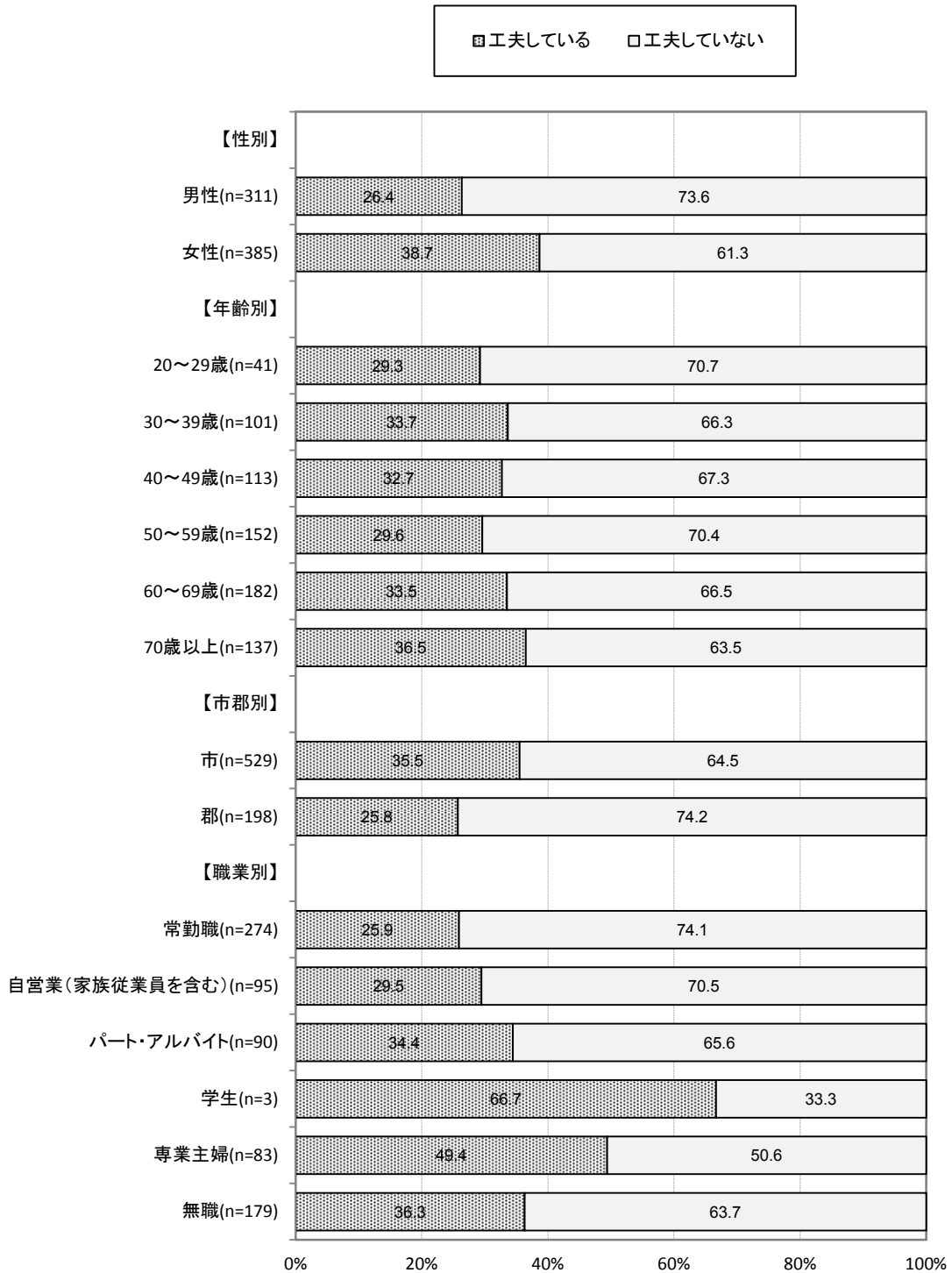
【個人または親子や仲間で、時間や場所などを工夫して行っている実践例】

項目	具体的内容（詳細は巻末に掲載）
買い物	・歩いて買い物をしている
散歩	・犬の散歩でウォーキングを兼ねている ・早朝ウォーキング
子ども	・子どもと遊びながら散歩や運動をしている ・孫の送迎
工作中	・昼休憩時間にウォーキングやストレッチ ・エレベータを使わずに歩いて階段の上り下りをしている
通勤	・なるべく徒歩や自転車通勤に心がけている ・自動車から自転車通勤を行っている
テレビ鑑賞中	・ストレッチ、足踏み、腹筋体操、バランスボール ・自転車こぎ
家事	・洗濯をしながら足踏み ・台所で食事の用意の間にストレッチ体操
その他	・歯磨きしながらスクワット、かかと上げ ・毎日、ウォーキングや軽体操 ・仲間とグラウンド・ゴルフ

【クロス分析】

- 性別で見ると、『女性』は『男性』と比較して「工夫している」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、大きな差異は見られない。
- 市郡別で見ると、『市部』では『郡部』と比較して「工夫している」の割合が高い。
- 職業別で見ると、『学生』、『専業主婦』で「工夫している」の割合が高い。

問17 工夫して行っている実践の有無 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 728 (1つ〇印)



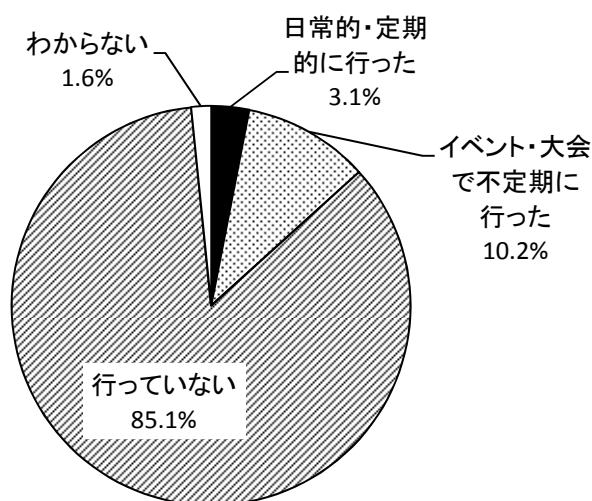
(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問18. あなたは、この1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。(1つ〇印)
～スポーツに関するボランティア活動は8割以上が「行っていない」～

スポーツに関するボランティア活動について、何らかの活動を行ったと回答した者の割合が13.3%（「イベント・大会で不定期的に行った」10.2%、+「日常的・定期的に行った」3.1%）となっている。一方「行っていない」と回答した者の割合が85.1%となっている。

問18 ボランティア活動の参加

N=684

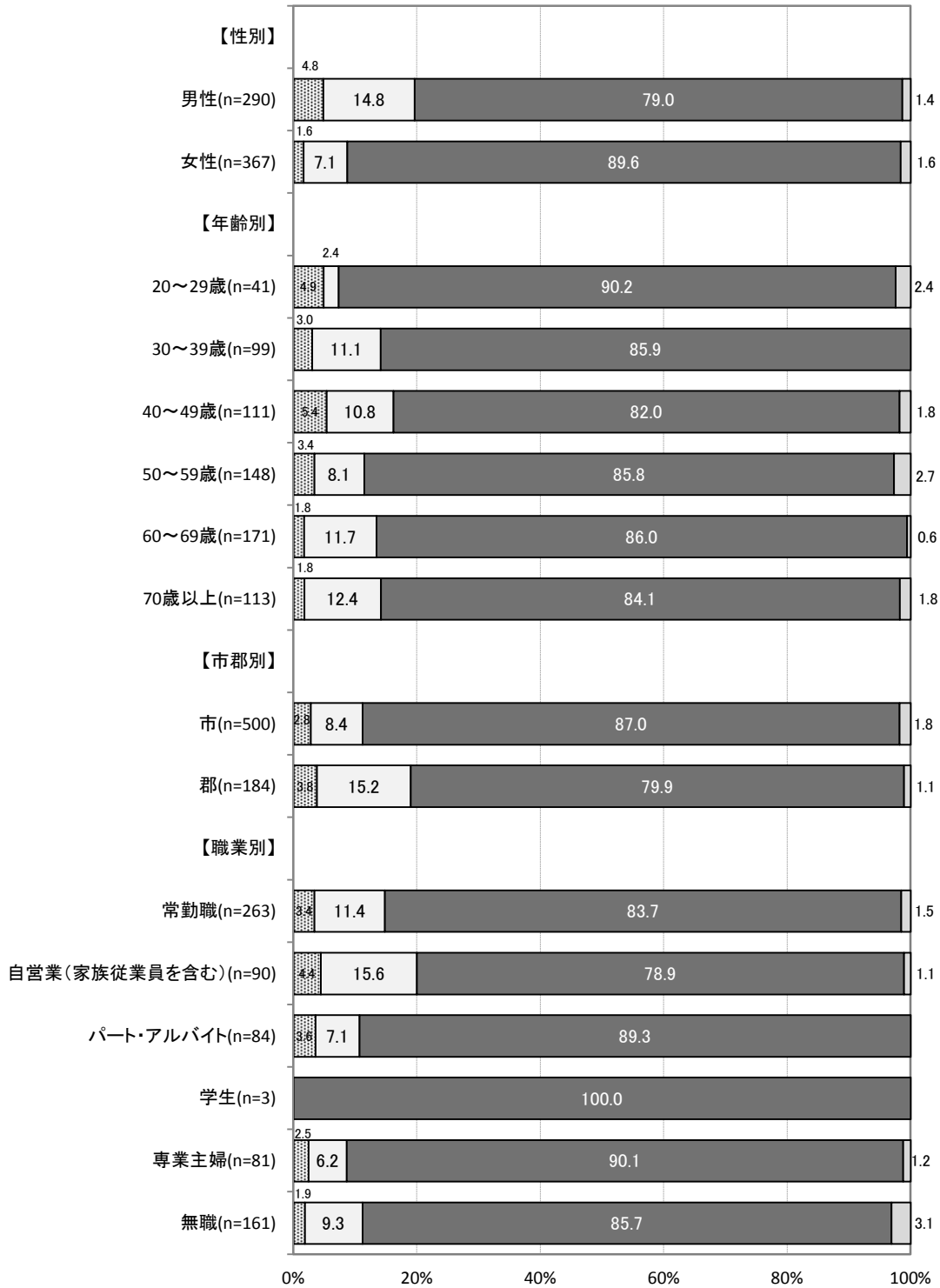


【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』と比較して「イベント・大会で不定期的に行った」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』で「イベント・大会で不定期的に行った」の割合が低い。
- 市郡別で見ると、『郡部』では『市部』と比較して「イベント・大会で不定期的に行った」の割合が高い。
- 職業別で見ると、『自営業』が他の職業と比較して「イベント・大会で不定期的に行った」の割合が多い。

問18 ボランティア活動の参加 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 684 (1つ〇印)

■ 日常的・定期的に行った □ イベント・大会で不定期に行った ■ 行っていない □ わからない



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

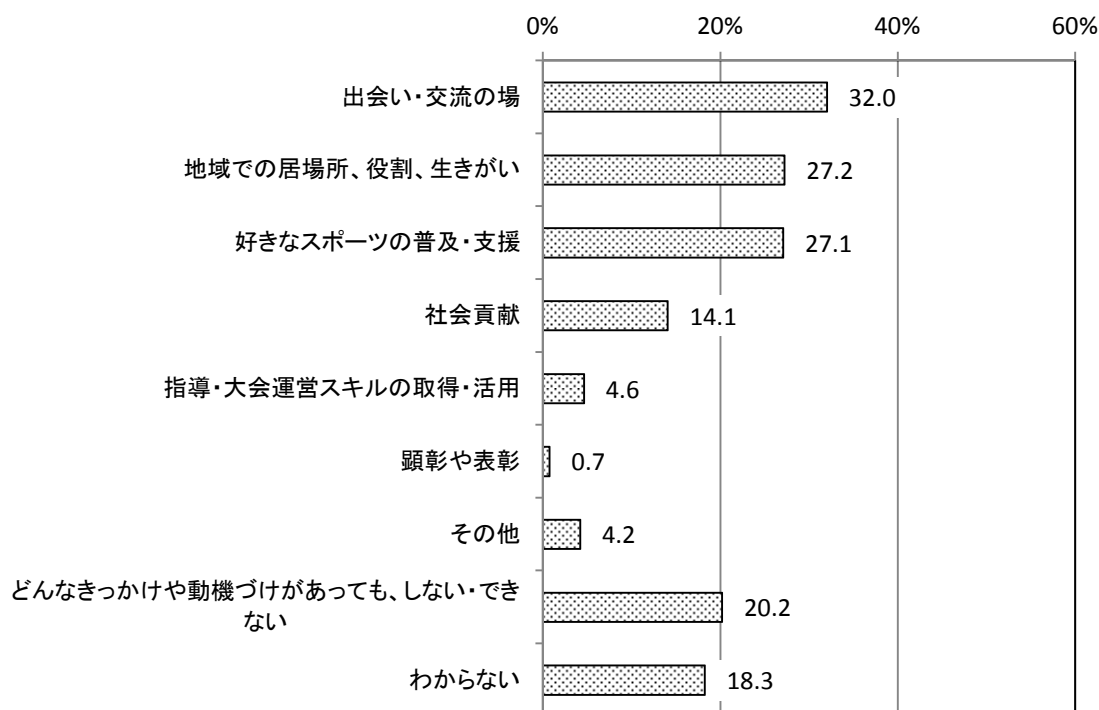
問19. あなたは、どんなきっかけや動機づけ（モチベーション）があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか。（いくつでも○印）

～「出会いや交流の場」「地域での居場所、役割、生きがい」「好きなスポーツの普及・支援」～

ボランティア活動を行うきっかけや動機について、「出会い・交流の場」と挙げた者の割合が32.0%と最も多く、以下「地域での居場所、役割、生きがい」（27.2%）、「好きなスポーツの普及・支援」（27.1%）、「社会貢献」（14.1%）などと続いている。一方「どんなきっかけや動機があっても、しない・できない」と回答した者の割合が、20.2%となっている。

問19 ボランティア活動を行うきっかけ

N=668

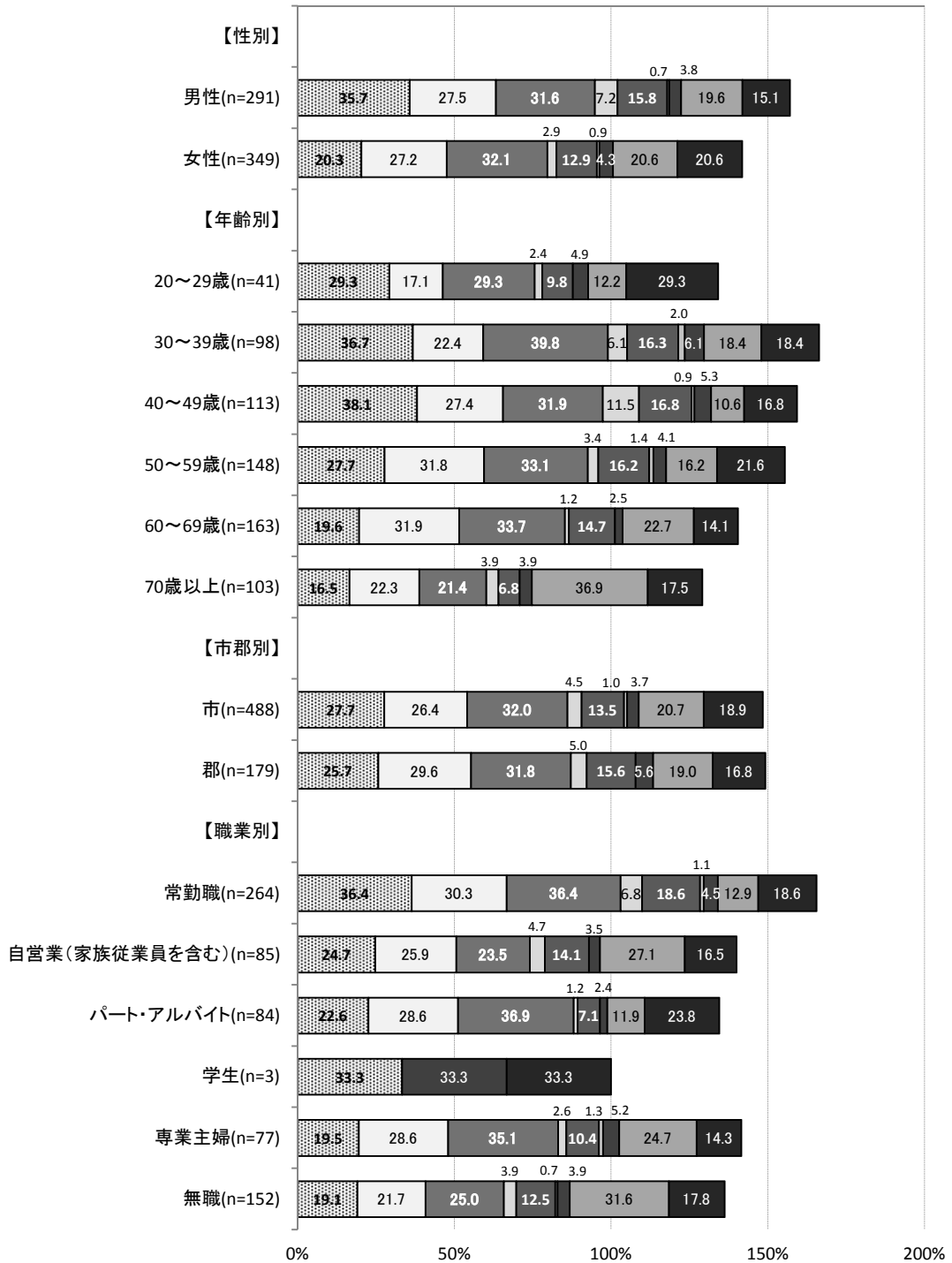


【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』と比較して「好きなスポーツの普及・支援」の割合が高い
- 年齢別で見ると、『30～39歳』で「出会い・交流の場」の割合が、『40～49歳』で「好きなスポーツの普及・支援」の割合が、『70歳以上』で「どんなきっかけや動機があっても、しない・できない」の割合がそれぞれ高い。
- 市郡別で見ると、大きな差異は見られない。
- 職業別で見ると、『常勤職』、『パート・アルバイト』、『専業主婦』で「出会い・交流の場」の割合が、『自営業』、『専業主婦』、『無職』で「どんなきっかけや動機があっても、しない・できない」の割合がそれぞれ高い。

問19 ボランティア活動を行うきっかけ × 性別+年齢+居住地+職業
N = 668 (いくつでも○印)

- 好きなスポーツの普及・支援
- 地域での居場所、役割、生きがい
- 出会い・交流の場
- 指導・大会運営スキルの取得・活用
- 社会貢献
- 顕彰や表彰
- その他
- どんなきっかけや動機づけがあっても、
しない・できない
- わからない



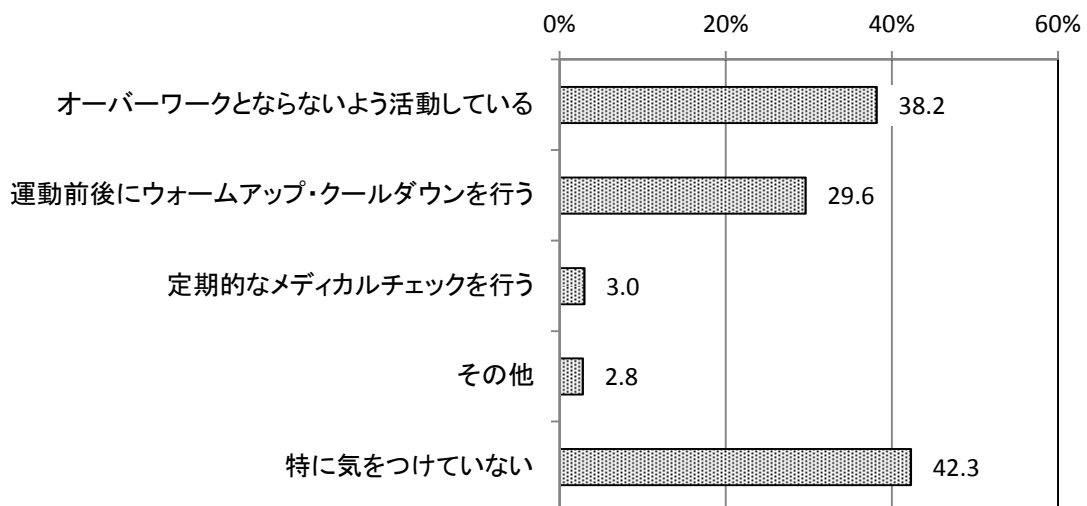
(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問20. スポーツ傷害、けがを防ぐために気をつけていることはありますか。
(いくつでも○印)

～特に、けがを防ぐために気をつけていない人が4割以上～

スポーツ傷害、けがの防止について、何らかに気をつけているという回答では、「オーバーワークとならないよう活動している」(38.2%)、「運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う」(29.6%)、「定期的なメディカルチェックを行う」(3.0%)などの順となっている。一方「特に気をつけていない」と回答した者の割合が42.3%となっている。

問20 スポーツ傷害、けがの防止策
N=608

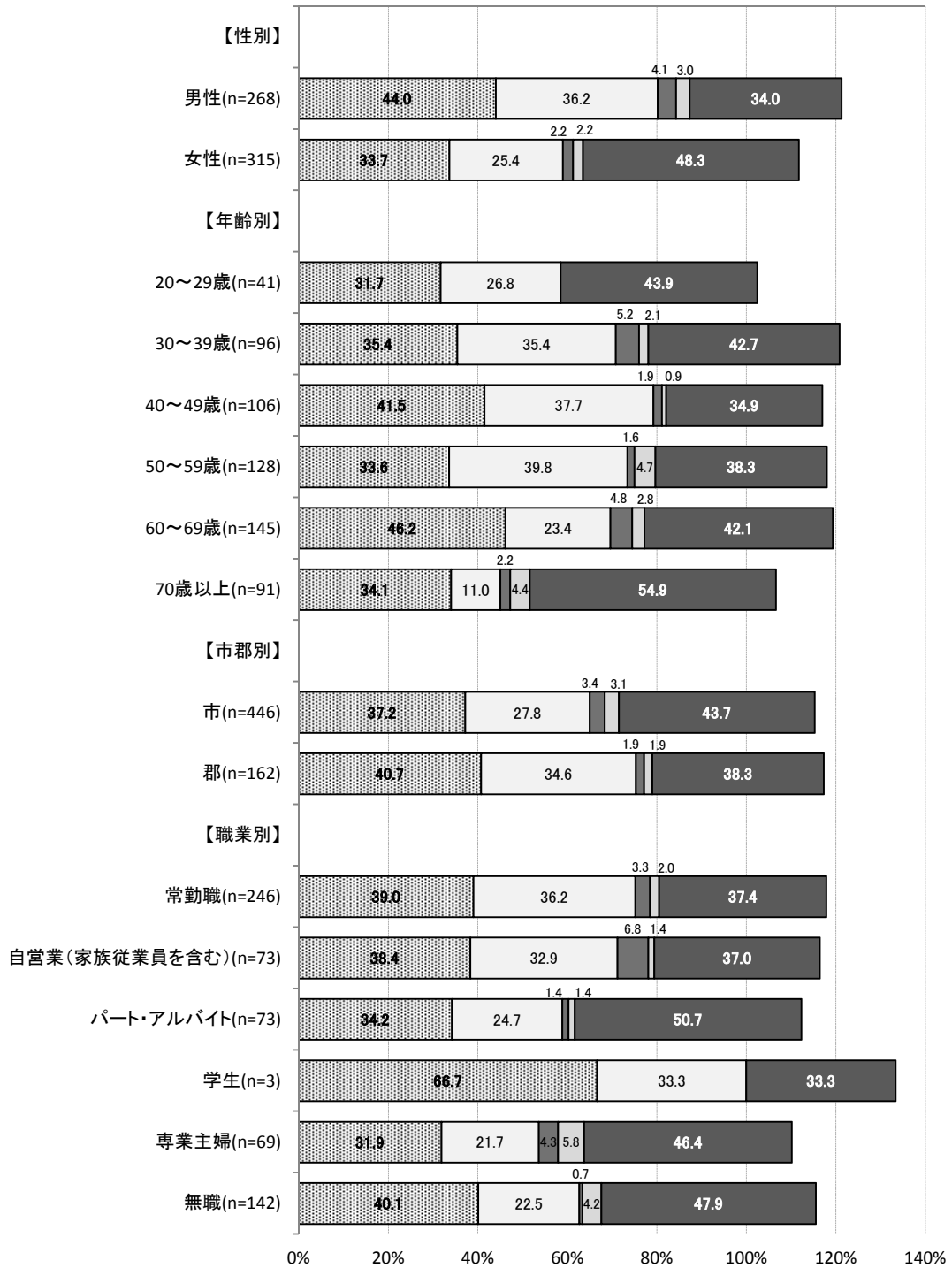


【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』は「オーバーワークとならないよう活動している」、「運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う」の割合が、『女性』は「特に気をつけていない」の割合がそれぞれ高い。
- 年齢別で見ると、『40～49歳』、『60～69歳』で「オーバーワークとならないよう活動している」の割合が、『70歳以上』で「特に気をつけていない」の割合がそれぞれ高い。
- 市郡別で見ると、『郡部』では「運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う」の割合が、『市部』では「特に気をつけていない」の割合がそれぞれ高い。
- 職業別で見ると、『パート・アルバイト』、『専業主婦』、『無職』では「特に気をつけていない」の割合が高い。

問20 スポーツ傷害、けがの防止策 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 608 (いくつでも○印)

- オーバーワークとならないよう活動している
- 定期的なメディカルチェックを行う
- 特に気をつけていない
- 運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う
- その他



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

【競技会場でのスポーツ観戦について】

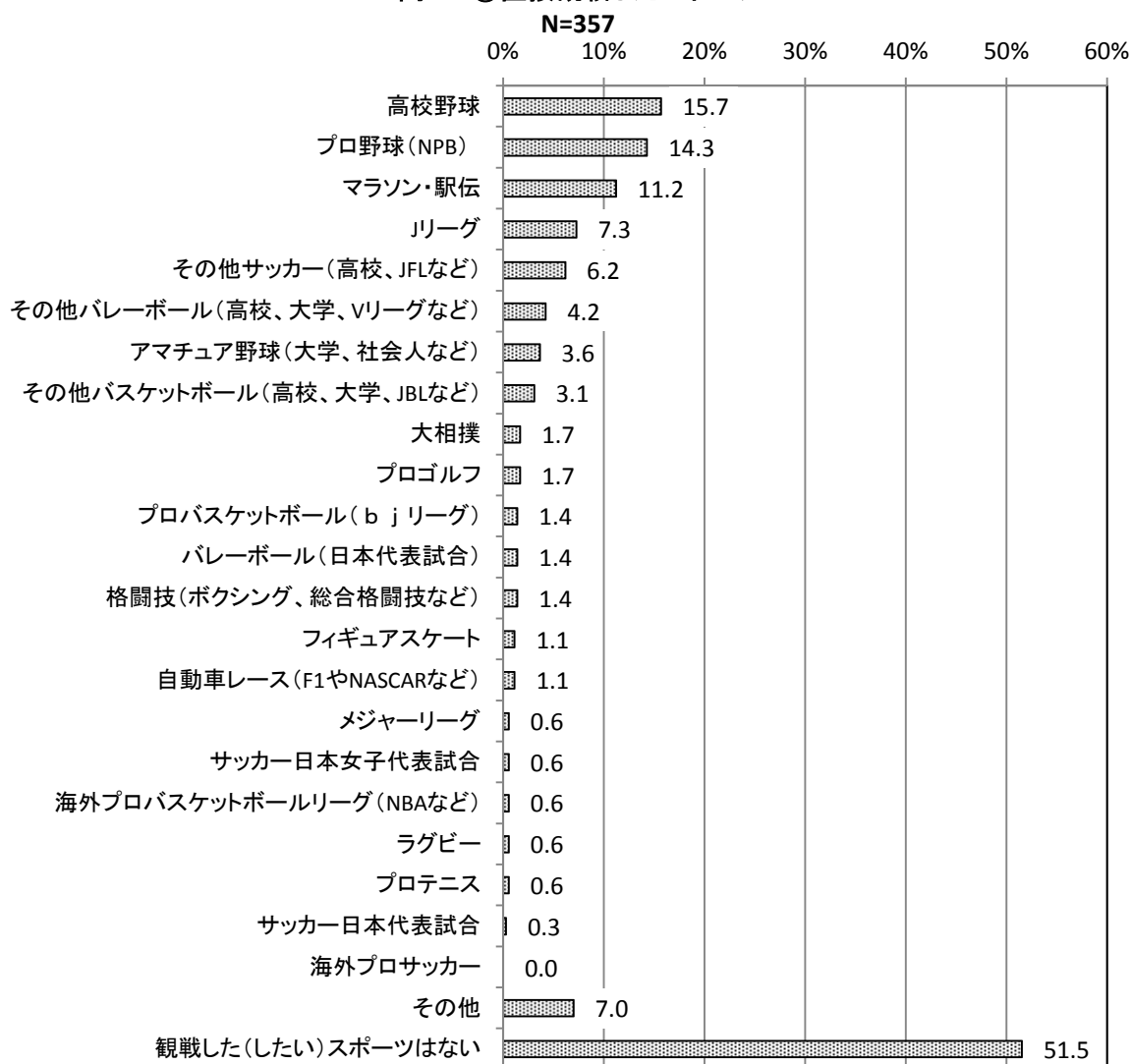
問21. あなたが行った（今後行いたい）スポーツ観戦についてお答えください。

① この1年間に直接競技会場（スタジアム、体育館等）に行き、観戦を行ったスポーツは何ですか。（いくつでも○印）

～上位に「高校野球」「プロ野球」「マラソン・駅伝」「Jリーグ」～

競技会場で観戦したスポーツ内容について、「高校野球」と挙げた者の割合が15.7%と最も多く、以下「プロ野球（NPB）」（14.3%）、「マラソン・駅伝」（11.2%）、「Jリーグ」（7.3%）、「その他サッカー（高校、JFLなど）」（6.2%）などと続いている。一方「観戦したスポーツはない」と回答した者の割合が51.5%となっている。

問21 ①直接観戦したスポーツ



【クロス分析】

○性別で見ると、『男性』、『女性』とも「高校野球」、「プロ野球（NPB）」、「マラソン・駅伝」が上位3位を占めている。

○年齢別で見ると、『30～39歳』で「アマチュア野球」が2位、『70歳以上』で「大相撲」が3位となっている。

○市郡別でみると、上位を占めるスポーツに大きな差異は見られない。

○職業別でみると、『専業主婦』で「その他サッカー（高校、JFL など）」が1位、「その他バスケット（高校、大学、JBL など）」が3位となっている。

問 21 ①直接観戦したスポーツ(上位10位) × 性別+年齢+居住地+職業

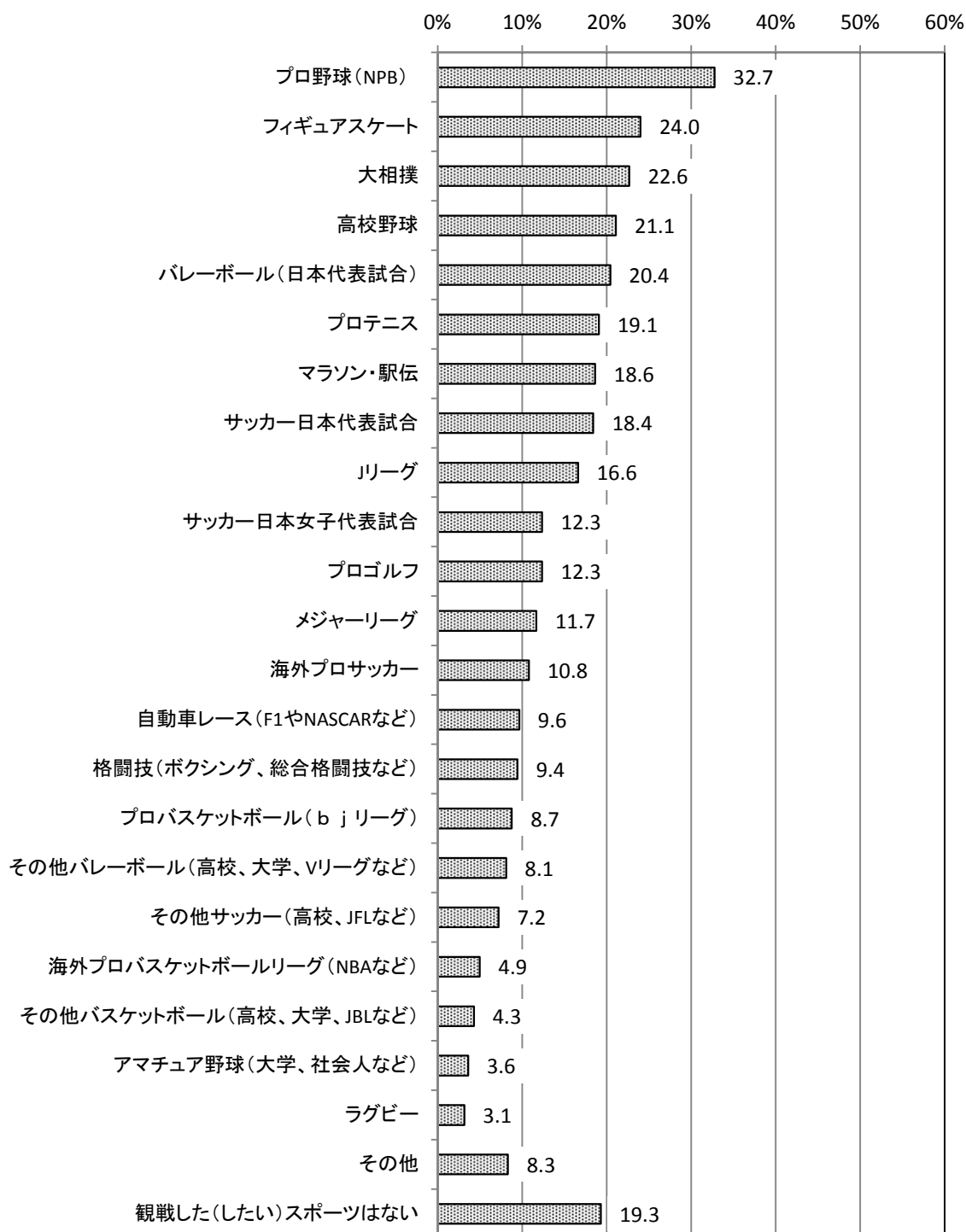
上段:種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
全体(n=357)		高校野球	プロ野球	マラソン・駅伝	Jリーグ	その他サッカー	その他バレーボール	アマチュア野球	その他バスケットボール	大相撲	プロゴルフ
		15.7	14.3	11.2	7.3	6.2	4.2	3.6	3.1	1.7	
性別	男性(n=160)	高校野球	プロ野球	マラソン・駅伝	Jリーグ	その他サッカー	アマチュア野球	その他バレーボール	プロゴルフ	大相撲	格闘技
		23.1	16.3	13.1	12.5	6.9	5.0	3.8		3.1	
	女性(n=186)	プロ野球	マラソン・駅伝	高校野球	その他サッカー	その他バスケットボール	その他	その他バレーボール	Jリーグ	アマチュア野球	バレーボール 日本代表
		13.4	9.7	9.1	5.4			4.8	3.2	2.7	2.2
年齢	20~29歳 (n=30)	プロ野球	高校野球	Jリーグ	その他サッカー	バレーボール 日本代表	その他バレーボール	マラソン・駅伝	格闘技	-	-
		10	10	6.7		3.3					
	30~39歳 (n=60)	プロ野球	高校野球	アマチュア野球	Jリーグ	その他サッカー	マラソン・駅伝	その他バスケットボール	その他バレーボール	プロバスケットボール	-
		11.7	8.3		6.7			3.3		1.7	
	40~49歳 (n=75)	プロ野球	高校野球	マラソン・駅伝	Jリーグ	その他サッカー	その他バレーボール	その他バスケットボール	アマチュア野球	プロバスケットボール	海外プロバスケットボール
		22.7	21.3	16.0	12.0	9.3	8.0	5.3	4.0	2.7	
	50~59歳 (n=87)	プロ野球	高校野球	Jリーグ	マラソン・駅伝	その他サッカー	その他バレーボール	プロゴルフ	自動車レース	アマチュア野球	その他バスケットボール
		12.6	10.3	9.2	8.0	4.6	3.4			2.3	
	60~69歳 (n=76)	高校野球	マラソン・駅伝	プロ野球	その他サッカー	Jリーグ	プロゴルフ	サッカー日本女子	その他バスケットボール	フィギュアスケート	アマチュア野球
		17.1	11.8	7.9	6.6	3.9		2.6			1.3
	70歳以上 (n=28)	高校野球	プロ野球	マラソン・駅伝	大相撲	バレーボール 日本代表	その他バレーボール	メジャーリーグ	アマチュア野球	プロバスケットボール	その他バスケットボール
		32.1	25.0		21.4	10.7		7.1		3.6	
居住地	市(n=262)	高校野球	プロ野球	マラソン・駅伝	Jリーグ	その他サッカー	アマチュア野球	その他バレーボール	その他バスケットボール	大相撲	プロバスケットボール
		14.5	13.7	10.3	7.6	5.3	4.2	3.4	2.7	1.9	1.5
	郡(n=95)	高校野球	プロ野球	マラソン・駅伝	その他サッカー	Jリーグ	その他バレーボール	その他バスケットボール	プロゴルフ	格闘技	アマチュア野球
		18.9	15.8	13.7	8.4	6.3		4.2		2.1	
職業	常勤職 (n=175)	プロ野球	高校野球	Jリーグ	マラソン・駅伝	その他サッカー	アマチュア野球	その他バレーボール	その他バスケットボール	プロバスケットボール	プロゴルフ
		18.9	14.9	9.7		6.3	4.6		3.4	2.9	
	自営業(家族従業員を含む) (n=44)	高校野球	マラソン・駅伝	プロ野球	その他サッカー	Jリーグ	大相撲	その他バレーボール	メジャーリーグ	アマチュア野球	バレーボール 日本代表
		20.5		18.2	9.1	6.8		4.5	2.3		
	パート・アルバイト (n=52)	プロ野球	高校野球	Jリーグ	マラソン・駅伝	サッカー 日本女子	その他バスケットボール	メジャーリーグ	アマチュア野球	サッカー 日本代表	その他サッカー
		9.6		7.7	5.8	3.8		1.9			
	学生(n=3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
専業主婦 (n=28)	その他サッカー	マラソン・駅伝	その他バスケットボール	プロ野球	高校野球	Jリーグ	バレーボール 日本代表	その他バレーボール	プロテニス	フィギュアスケート	
	14.3		10.7	7.1		3.6					
無職(n=54)	高校野球	マラソン・駅伝	プロ野球	アマチュア野球	その他バレーボール	その他サッカー	バレーボール 日本代表	大相撲	Jリーグ	ラグビー	
	25.9	13.0	5.6			3.7		1.9			

(注)表には、属性が不明者の表示は掲載していません。

② 今後、直接観戦したいスポーツは何ですか。(いくつでも○印)
 ～上位に「プロ野球」「フィギュアスケート」「大相撲」「高校野球」～

今後、競技場で観戦したいスポーツ内容について、「プロ野球 (NPB)」と挙げた者の割合が 32.7%と最も多く、以下「フィギュアスケート」(24.0%)、「大相撲」(22.6%)、「高校野球」(21.1%)、「バレーボール (日本代表試合)」(20.4%) などと続いている。

問21 ②直接観戦したいスポーツ
 N=446



【クロス分析】

- 性別でみると、上位に『男性』では「プロ野球（NPB）」、「大相撲」が、『女性』では「フィギュアスケート」、「バレーボール（日本代表試合）」が入っている。
- 年齢別でみると、上位に『20～39歳』では「サッカー日本代表試合」が、『30～59歳』では「フィギュアスケート」が、『50歳以上』では「大相撲」が入っている。
- 市郡別でみると、上位を占めるスポーツに大きな差異は見られない。
- 職業別でみると、『専業主婦』、『パート・アルバイト』で「フィギュアスケート」が1位となっている。

問 21 ②直接観戦したいスポーツ × 性別＋年齢＋居住地＋職業

上段:種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	
全体(n=446)		プロ野球 32.7	フィギュアスケート 24.0	大相撲 22.6	高校野球 21.1	バレーボール 日本代表 20.4	プロテニス 19.1	マラソン・駅伝 18.6	サッカー 日本代表 18.4	Jリーグ 16.6	サッカー 日本女子 12.3	
性別	男性(n=203)	プロ野球 45.3	大相撲 31.0	高校野球 27.1	Jリーグ 22.7	サッカー 日本代表 20.7	マラソン・駅伝 20.2	プロゴルフ 19.2	メジャーリーグ 17.7	自動車レース 17.2	サッカー 日本女子 17.2	
	女性(n=227)	フィギュアスケート 36.1	バレーボール 日本代表 23.3	プロ野球 22.9	プロテニス 20.7	高校野球 16.3	マラソン・駅伝 15.4	サッカー 日本代表 11.9	大相撲 9.7	Jリーグ 9.7	その他バレー ボール	
年齢	20～29歳 (n=36)	プロ野球 25.0	高校野球 22.2	サッカー 日本代表 19.4	海外プロ サッカー 16.7	プロテニス 13.9	Jリーグ 11.1	プロバスケット ボール 11.1	大相撲 11.1	自動車レース 11.1	メジャーリーグ 11.1	
	30～39歳 (n=80)	フィギュアスケート 23.8	プロ野球 22.5	サッカー 日本代表 21.3	バレーボール 日本代表 20.0	大相撲 17.5	プロテニス 16.3	高校野球 12.5	Jリーグ 11.3	海外プロ サッカー 11.3	サッカー 日本女子 11.3	
	40～49歳 (n=92)	プロ野球 34.8	フィギュアスケート 23.9	高校野球 21.7	メジャーリーグ 19.6	Jリーグ 17.4	サッカー 日本代表 16.3	プロテニス 13.0	マラソン・駅伝 17.4	バレーボール 日本代表 16.3	海外プロ サッカー 13.0	
	50～59歳 (n=101)	プロ野球 29.7	フィギュアスケート 28.7	大相撲 25.7	プロテニス 22.8	Jリーグ 21.8	バレーボール 日本代表 20.8	マラソン・駅伝 19.8	プロゴルフ 17.8	高校野球 16.8	サッカー 日本代表 16.8	
	60～69歳 (n=98)	プロ野球 38.8	マラソン・駅伝 26.5	高校野球 25.5	大相撲 23.5	フィギュアスケート 22.4	バレーボール 日本代表 20.4	プロテニス 18.4	サッカー 日本女子 17.3	サッカー 日本代表 16.3	プロゴルフ 16.3	
	70歳以上 (n=39)	プロ野球 48.7	大相撲 43.6	バレーボール 日本代表 33.3	マラソン・駅伝 30.8	フィギュアスケート 25.6	高校野球 15.4	サッカー 日本女子 12.8	サッカー 日本代表 10.3	プロゴルフ 10.3	格闘技 10.3	
	市(n=318)	プロ野球 33.3	フィギュアスケート 24.5	大相撲 23.6	高校野球 21.4	サッカー 日本代表 20.4	バレーボール 日本代表 20.1	Jリーグ 18.2	プロテニス 17.6	マラソン・駅伝 12.6	サッカー 日本女子 12.6	
	郡(n=128)	プロ野球 31.3	フィギュアスケート 22.7	バレーボール 日本代表 21.1	マラソン・駅伝 20.3	プロテニス 13.3	高校野球 12.5	大相撲 12.5	サッカー 日本代表 12.5	プロゴルフ 12.5	Jリーグ 12.5	
	職業	常勤職 (n=209)	プロ野球 34.4	大相撲 22.5	Jリーグ 22.0	サッカー 日本代表 19.1	高校野球 18.7	プロテニス 18.2	バレーボール 日本代表 17.2	フィギュアスケート 14.8	海外プロ サッカー 14.4	メジャーリーグ 14.4
		自営業(家族 従業員を含む) (n=55)	プロ野球 38.2	大相撲 23.6	フィギュアスケート 21.8	高校野球 20.0	マラソン・駅伝 16.4	プロテニス 14.5	バレーボール 日本代表 14.5	メジャーリーグ 14.5	サッカー 日本代表 14.5	自動車レース 14.5
パート・アルバ イト(n=61)		フィギュアスケート 36.1	バレーボール 日本代表 24.6	プロ野球 23.0	マラソン・駅伝 19.7	プロテニス 16.4	高校野球 14.8	サッカー 日本代表 13.1	大相撲 9.8	サッカー 日本女子 8.2	Jリーグ 8.2	
学生(n=3)		プロ野球 33.3	高校野球 33.3	ラグビー -	-	-	-	-	-	-	-	-
専業主婦 (n=42)		フィギュアスケート 52.4	プロテニス 28.6	プロ野球 23.8	バレーボール 日本代表 19.0	大相撲 16.7	マラソン・駅伝 14.3	高校野球 11.9	サッカー 日本代表 11.9	サッカー 日本女子 11.9	その他バレー ボール 11.9	
無職(n=74)		プロ野球 37.8	高校野球 32.4	大相撲 28.4	マラソン・駅伝 21.6	バレーボール 日本代表 18.9	プロゴルフ 17.6	フィギュアスケート 16.2	Jリーグ 16.2	サッカー 日本代表 16.2	プロテニス 16.2	

(注)表には、属性が不明者の表示は掲載していません。

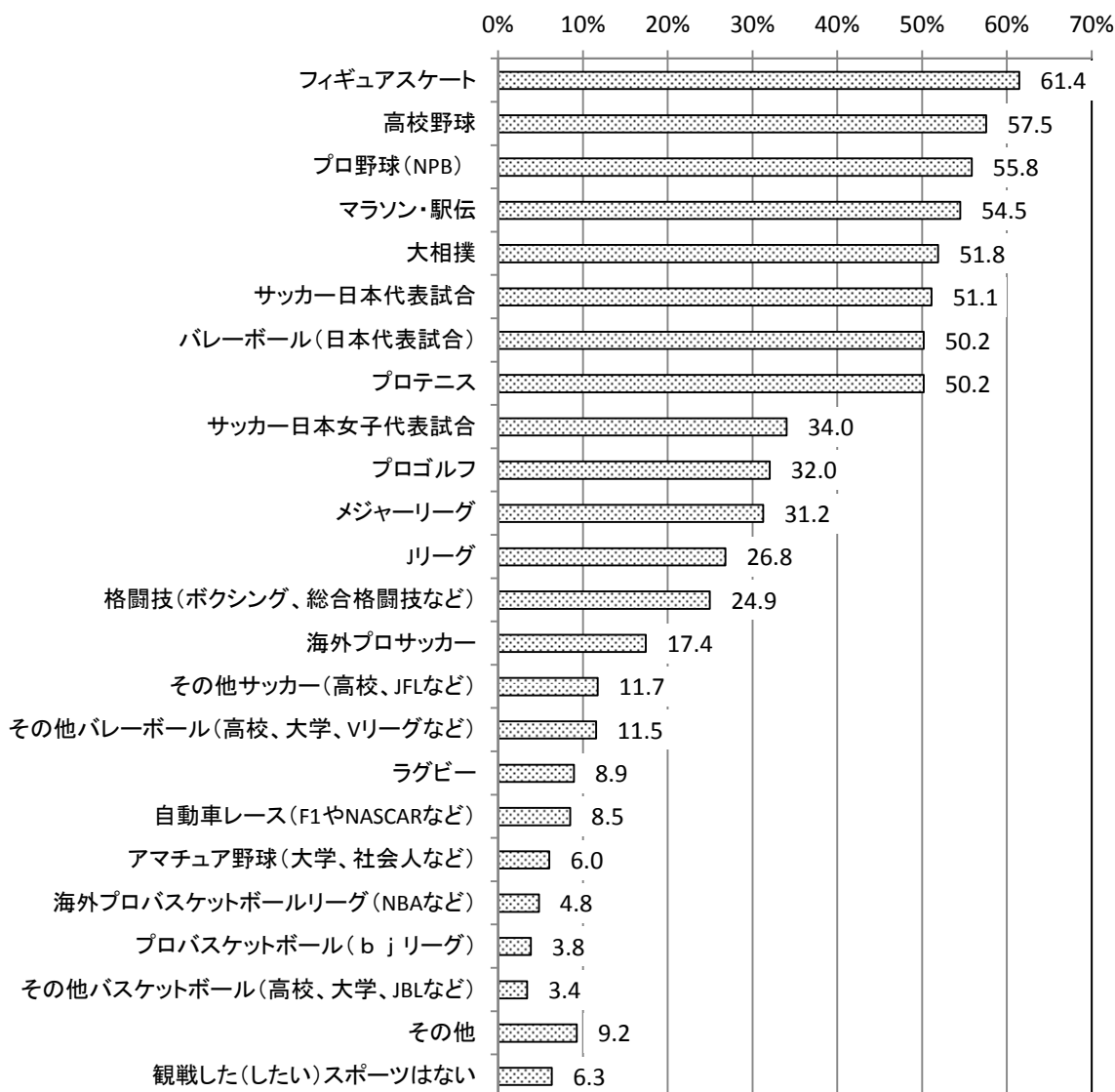
【テレビによるスポーツ観戦について】

③ この1年間にテレビで観戦を行ったスポーツは何ですか。(いくつでも○印)
 ～上位に「フィギュアスケート」「高校野球」「プロ野球」「マラソン・駅伝」～

テレビで観戦したスポーツ内容について、「フィギュアスケート」と挙げた者の割合が61.4%と最も多く、以下「高校野球」(57.5%)、「プロ野球(NPB)」(55.8%)、「マラソン・駅伝」(54.5%)、「大相撲」(51.8%)などと続いている。

問21 ③テレビで観戦したスポーツ

N=651



【クロス分析】

- 性別で見ると、上位に『男性』では「プロ野球(NPB)」、「高校野球」、「大相撲」が、『女性』では「フィギュアスケート」、「プロテニス」、「マラソン・駅伝」が入っている。
- 年齢別で見ると、『20～69歳』では「フィギュアスケート」が、『70歳以上』では「大相撲」がそれぞれ1位となっている。
- 市郡別で見ると、上位を占めるスポーツに大きな差異は見られない。

○職業別でみると、『常勤者』、『パート・アルバイト』、『専業主婦』では「フィギュアスケート」が、『無職』では「大相撲」がそれぞれ1位となっている。

問 21 ③テレビで観戦したスポーツ × 性別+年齢+居住地+職業

上段種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	
全体(n=651)		フィギュアスケート 61.4	高校野球 57.5	プロ野球 55.8	マラソン・駅伝 54.4	大相撲 51.8	サッカー 日本代表 51.0	バレーボール 日本代表 50.1	プロテニス 33.9	サッカー 日本女子 33.9	プロゴルフ 32.0	
性別	男性(n=285)	プロ野球 73.3	高校野球 69.1	大相撲 67.4	サッカー 日本代表 63.5	マラソン・駅伝 61.4	バレーボール 日本代表 51.2	メジャーリーグ 50.9	フィギュアスケート 50.5	プロテニス 48.8	サッカー 日本女子 47.0	
	女性(n=340)	フィギュアスケート 70.6	プロテニス 51.2	マラソン・駅伝 48.8	バレーボール 日本代表 48.5	高校野球 47.6	プロ野球 41.8	サッカー 日本代表 40.9	大相撲 38.2	サッカー 日本女子 24.4	プロゴルフ 21.8	
年齢	20~29歳 (n=40)	フィギュアスケート 50.0	プロ野球 47.5	高校野球 45.0	サッカー 日本代表 40.0	バレーボール 日本代表 40.0	大相撲 32.5	マラソン・駅伝 27.5	Jリーグ 25.0	プロテニス 25.0	格闘技 22.5	
	30~39歳 (n=91)	フィギュアスケート 52.7	サッカー 日本代表 49.5	高校野球 47.3	プロテニス 42.9	プロ野球 40.7	バレーボール 日本代表 39.6	マラソン・駅伝 31.9	大相撲 25.3	Jリーグ 23.1	格闘技 23.1	
	40~49歳 (n=108)	フィギュアスケート 63.0	高校野球 54.6	プロテニス 53.7	サッカー 日本代表 52.8	プロ野球 49.1	バレーボール 日本代表 44.4	マラソン・駅伝 43.5	大相撲 37.0	サッカー 日本女子 29.6	メジャーリーグ 28.7	
	50~59歳 (n=145)	フィギュアスケート 64.1	マラソン・駅伝 62.8	プロテニス 60.0	高校野球 58.6	サッカー 日本代表 55.2	大相撲 54.5	プロ野球 53.8	バレーボール 日本代表 51.0	プロゴルフ 42.8	サッカー 日本女子 37.9	
	60~69歳 (n=162)	フィギュアスケート 66.7	マラソン・駅伝 64.2	プロ野球 63.0	高校野球 58.0	大相撲 55.6	バレーボール 日本代表 55.6	プロテニス 53.7	サッカー 日本代表 51.2	サッカー 日本女子 41.4	プロゴルフ 39.5	
	70歳以上 (n=103)	大相撲 84.5	プロ野球 71.8	マラソン・駅伝 69.9	高校野球 64.1	フィギュアスケート 61.2	バレーボール 日本代表 60.2	サッカー 日本代表 47.6	プロテニス 43.7	メジャーリーグ 42.7	サッカー 日本女子 38.8	
	居住地	市(n=469)	フィギュアスケート 60.6	プロ野球 55.7	高校野球 55.4	サッカー 日本代表 52.7	大相撲 52.0	マラソン・駅伝 50.1	プロテニス 49.5	バレーボール 日本代表 34.3	サッカー 日本女子 32.4	メジャーリーグ 32.4
		郡(n=180)	フィギュアスケート 64.4	高校野球 63.3	マラソン・駅伝 61.1	プロ野球 56.7	バレーボール 日本代表 52.2	プロテニス 50.6	大相撲 49.4	サッカー 日本代表 33.3	サッカー 日本女子 32.8	プロゴルフ 32.8
	職業	常勤職 (n=258)	フィギュアスケート 57.0	高校野球 55.4	プロ野球 53.1	マラソン・駅伝 51.9	サッカー 日本代表 50.8	プロテニス 48.1	バレーボール 日本代表 46.9	大相撲 41.1	サッカー 日本女子 32.9	Jリーグ 31.4
		自営業(家族従業員を含む) (n=84)	高校野球 70.2	サッカー 日本代表 66.7	プロ野球 64.3	フィギュアスケート 63.1	大相撲 63.1	バレーボール 日本代表 58.3	マラソン・駅伝 58.3	プロテニス 36.9	メジャーリーグ 34.5	サッカー 日本女子 34.5
		パート・アルバイト (n=80)	フィギュアスケート 67.5	サッカー 日本代表 51.3	高校野球 50.0	バレーボール 日本代表 47.5	プロテニス 47.5	マラソン・駅伝 43.8	プロ野球 42.5	大相撲 40.0	サッカー 日本女子 30.0	メジャーリーグ 23.8
		学生(n=3)	メジャーリーグ 66.7	Jリーグ 66.7	サッカー 日本代表 66.7	サッカー 日本女子 66.7	大相撲 66.7	プロテニス 66.7	フィギュアスケート 66.7	プロ野球 66.7	高校野球 66.7	海外プロ サッカー 66.7
専業主婦 (n=76)		フィギュアスケート 75	プロテニス 65.8	高校野球 55.3	マラソン・駅伝 53.9	大相撲 51.3	プロ野球 46.1	バレーボール (日本代表) 46.1	サッカー 日本代表 42.1	プロゴルフ 35.5	サッカー 日本女子 28.9	
無職(n=145)		大相撲 70.3	プロ野球 69.7	マラソン・駅伝 64.8	高校野球 60.0	フィギュアスケート 58.6	バレーボール 日本代表 53.8	サッカー 日本代表 46.2	プロテニス 43.4	プロゴルフ 42.1	メジャーリーグ 40.7	

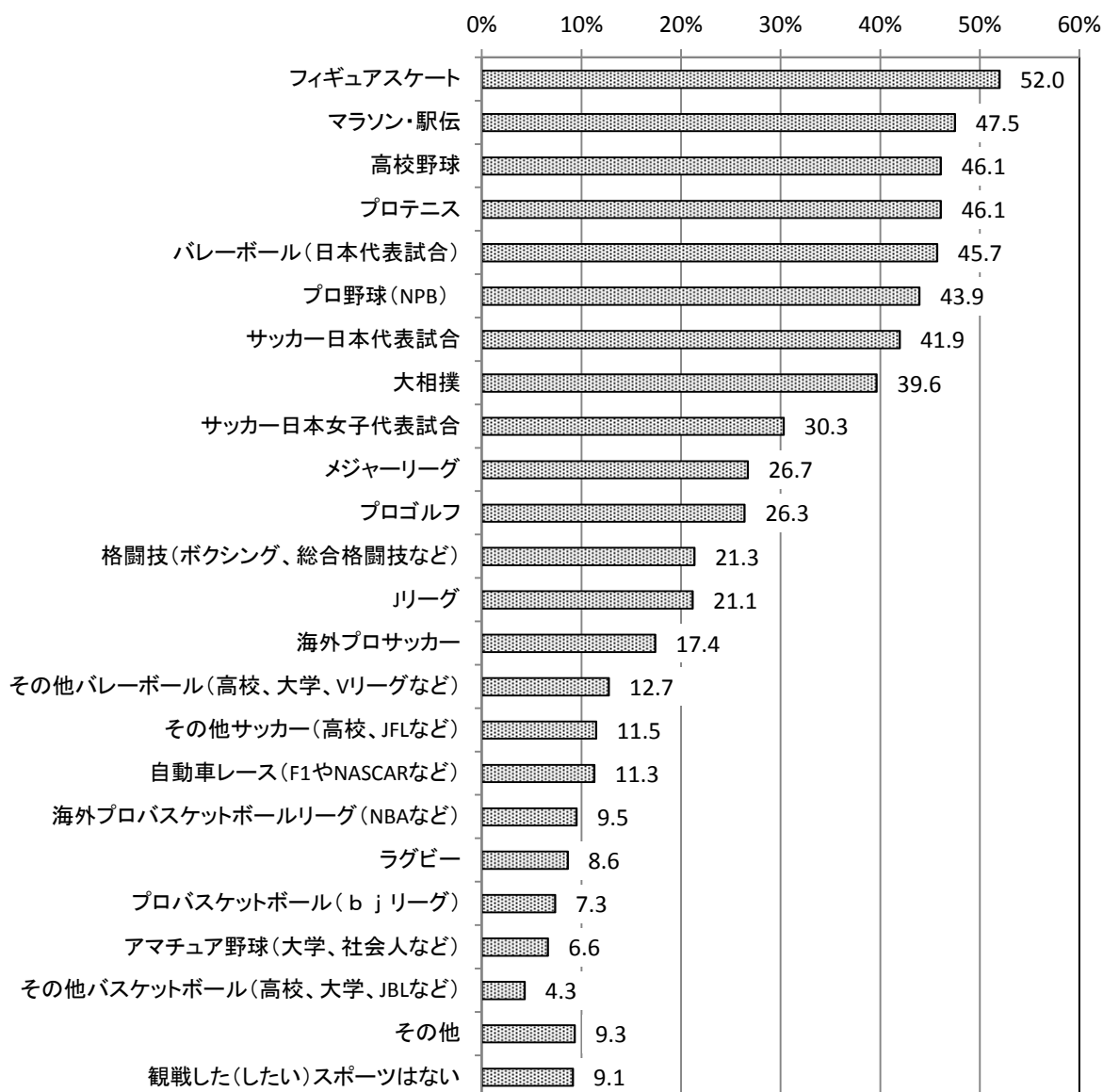
(注)表には、属性が不明者の表示は掲載していません。

- ④ また、今後テレビで観戦したいスポーツは何ですか。(いくつでも○印)
 ～上位に「フィギュアスケート」「マラソン・駅伝」「高校野球」「プロテニス」～

今後、テレビ観戦したいスポーツ内容について、「フィギュアスケート」と挙げた者の割合が52.0%と最も多く、以下「マラソン・駅伝」(47.5%)、「高校野球」(46.1%)「プロテニス」(46.1%)、「バレーボール(日本代表試合)」(45.7%)などと続いている。

問21 ④テレビで観戦したいスポーツ

N=558



【クロス分析】

- 性別で見ると、上位に『男性』では「プロ野球(NPB)」、「高校野球」、「大相撲」が、『女性』では「フィギュアスケート」、「プロテニス」、「バレーボール(日本代表試合)」がそれぞれ入っている。
- 年齢別で見ると、『20～49歳』では「フィギュアスケート」が、『50～59歳』では「プロテ

ニス」が、『60～69歳』では「マラソン・駅伝」が、『70歳以上』では「大相撲」がそれぞれ1位となっている。

○市郡別でみると、上位を占めるスポーツに大きな差異は見られない。

○職業別でみると、『常勤者』では「マラソン・駅伝」が、『自営業』、『パート・アルバイト』、『専業主婦』では「フィギュアスケート」が、『学生』では「メジャーリーグ」が、『無職』では「大相撲」がそれぞれ1位となっている。

問 21 ④テレビで観戦したいスポーツ × 性別×年齢×居住地×職業

上段:種目 下段:%		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
全体(n=558)		フィギュアスケート 52.0	マラソン・駅伝 47.5	高校野球 46.1	プロテニス 45.7	バレーボール 日本代表 45.7	プロ野球 43.9	サッカー 日本代表 41.9	大相撲 39.6	サッカー 日本女子 30.3	メジャーリーグ 26.7
性別	男性(n=246)	プロ野球 61.8	高校野球 58.9	大相撲 55.7	マラソン・駅伝 54.1	サッカー 日本代表 50.8	メジャーリーグ 46.7	バレーボール 日本代表 46.3	プロテニス 44.7	サッカー 日本女子 41.1	プロゴルフ 39.8
	女性(n=298)	フィギュアスケート 63.1	プロテニス 47.3	バレーボール 日本代表 45.3	マラソン・駅伝 41.9	高校野球 36.6	サッカー 日本代表 35.2	プロ野球 30.2	大相撲 26.5	サッカー 日本女子 22.5	プロゴルフ 15.8
年齢	20～29歳 (n=36)	フィギュアスケート 36.1	高校野球 33.3	バレーボール 日本代表 30.6	サッカー 日本代表 25.0	プロ野球 22.2	Jリーグ 19.4	大相撲 16.7	海外プロ サッカー 16.7	海外プロバス ケットボール 16.7	プロテニス 16.7
	30～39歳 (n=83)	フィギュアスケート 42.2	サッカー 日本代表 39.8	高校野球 33.7	プロテニス 32.5	バレーボール 日本代表 27.7	マラソン・駅伝 26.5	プロ野球 21.7	サッカー 日本女子 20.5	格闘技 20.5	海外プロ サッカー 15.7
	40～49歳 (n=95)	フィギュアスケート 52.6	プロテニス 44.2	高校野球 42.1	プロ野球 41.1	サッカー 日本代表 40.0	バレーボール 日本代表 36.8	マラソン・駅伝 28.4	メジャーリーグ 26.3	サッカー 日本女子 23.2	大相撲 23.2
	50～59歳 (n=133)	プロテニス 59.4	マラソン・駅伝 54.9	フィギュアスケート 53.4	バレーボール 日本代表 52.6	サッカー 日本代表 49.6	高校野球 44.4	プロ野球 42.9	サッカー 日本女子 38.3	大相撲 33.1	プロゴルフ 33.1
	60～69歳 (n=139)	マラソン・駅伝 59.0	高校野球 55.4	プロテニス 54.7	フィギュアスケート 52.5	大相撲 50.4	プロ野球 49.6	バレーボール 日本代表 38.8	サッカー 日本代表 38.8	プロゴルフ 33.1	メジャーリーグ 33.1
	70歳以上 (n=72)	大相撲 75.0	プロ野球 66.7	マラソン・駅伝 65.3	フィギュアスケート 62.5	バレーボール 日本代表 58.3	高校野球 56.9	サッカー 日本代表 44.4	メジャーリーグ 38.9	プロテニス 36.1	サッカー 日本女子 34.7
	居住地	市(n=403)	フィギュアスケート 51.9	マラソン・駅伝 45.9	プロテニス 45.7	高校野球 44.7	バレーボール 日本代表 43.2	サッカー 日本代表 42.9	プロ野球 41.7	大相撲 41.7	サッカー 日本女子 31.3
郡(n=155)	フィギュアスケート 52.3	マラソン・駅伝 51.6	高校野球 49.7	バレーボール 日本代表 48.4	プロテニス 47.1	プロ野球 46.5	サッカー 日本代表 38.7	大相撲 34.2	サッカー 日本女子 27.7	メジャーリーグ 27.7	
職業	常勤職 (n=230)	マラソン・駅伝 44.8	高校野球 44.3	サッカー 日本代表 43.9	フィギュアスケート 43.5	プロテニス 42.6	バレーボール 日本代表 41.3	プロ野球 31.3	サッカー 日本女子 30.0	大相撲 26.5	プロゴルフ 26.5
	自営業(家族 従業員を含む) (n=76)	フィギュアスケート 57.9	プロテニス 55.3	プロ野球 53.9	高校野球 52.6	バレーボール 日本代表 51.3	サッカー 日本代表 50.0	大相撲 48.7	マラソン・駅伝 34.2	メジャーリーグ 28.9	サッカー 日本女子 28.9
	パート・アルバイ ト(n=73)	フィギュアスケート 58.9	バレーボール 日本代表 52.1	プロテニス 45.2	マラソン・駅伝 41.1	サッカー 日本代表 39.7	高校野球 37.0	プロ野球 32.9	大相撲 28.8	サッカー 日本女子 26.0	メジャーリーグ 16.4
	学生(n=3)	メジャーリーグ 66.7	プロ野球 33.3	高校野球 33.3	Jリーグ 33.3	サッカー 日本代表 33.3	サッカー 日本女子 33.3	海外プロバス ケットボール 33.3	バレーボール 日本代表 33.3	大相撲 33.3	ラグビー 33.3
	専業主婦 (n=60)	フィギュアスケート 73.3	プロテニス 56.7	マラソン・駅伝 50.0	高校野球 45.0	大相撲 38.3	サッカー 日本代表 36.7	バレーボール 日本代表 33.3	プロゴルフ 33.3	プロ野球 30.0	サッカー 日本女子 25.0
	無職(n=113)	大相撲 61.1	プロ野球 57.5	マラソン・駅伝 52.2	高校野球 49.6	フィギュアスケート 49.6	バレーボール 日本代表 48.7	プロテニス 41.6	サッカー 日本代表 36.3	メジャーリーグ 35.4	プロゴルフ 35.4

(注)表には、属性が不明者の表示は掲載していません。

< 今後の取り組み・要望等 >

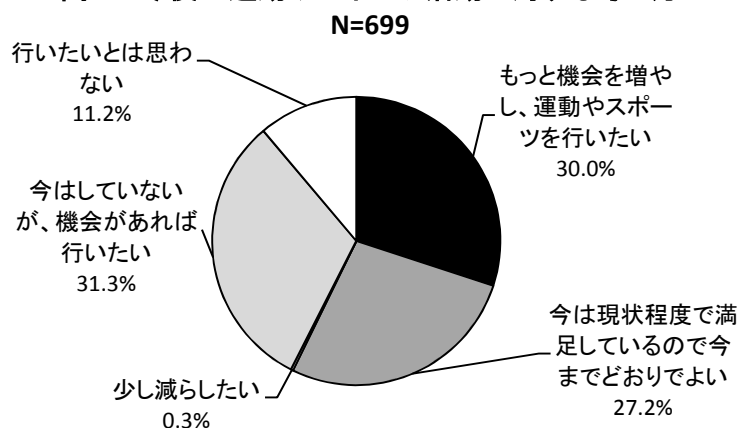
問22. あなたは、今後自分の運動やスポーツ活動についてどのようにお考えですか。
(1つ〇印)

～「機会があれば行いたい」、「もっと機会を増やし行いたい」が約6割～

今後の運動やスポーツ活動について、「今はしていないが、機会があれば行いたい」と回答した者の割合が31.3%と最も多く、以下「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」(30.0%)、「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」(27.2%)、「行いたいと思わない」(11.2%)などと続いている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」の割合が低下し、「行いたいと思わない」の割合が増加している。

問22 今後の運動やスポーツ活動に対する考え方



【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問22 今後の運動やスポーツ活動に対する考え					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい	210	28.8	421	41.6
2	今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい	190	26.1	249	24.6
3	少し減らしたい	2	0.3	2	0.2
4	今はしていないが、機会があれば行いたい	219	30.1	262	25.9
5	行いたいと思わない	78	10.7	36	3.6
	無回答	29	4.0	43	4.2
	合計	699	100.0	1013	100.0

【クロス分析】

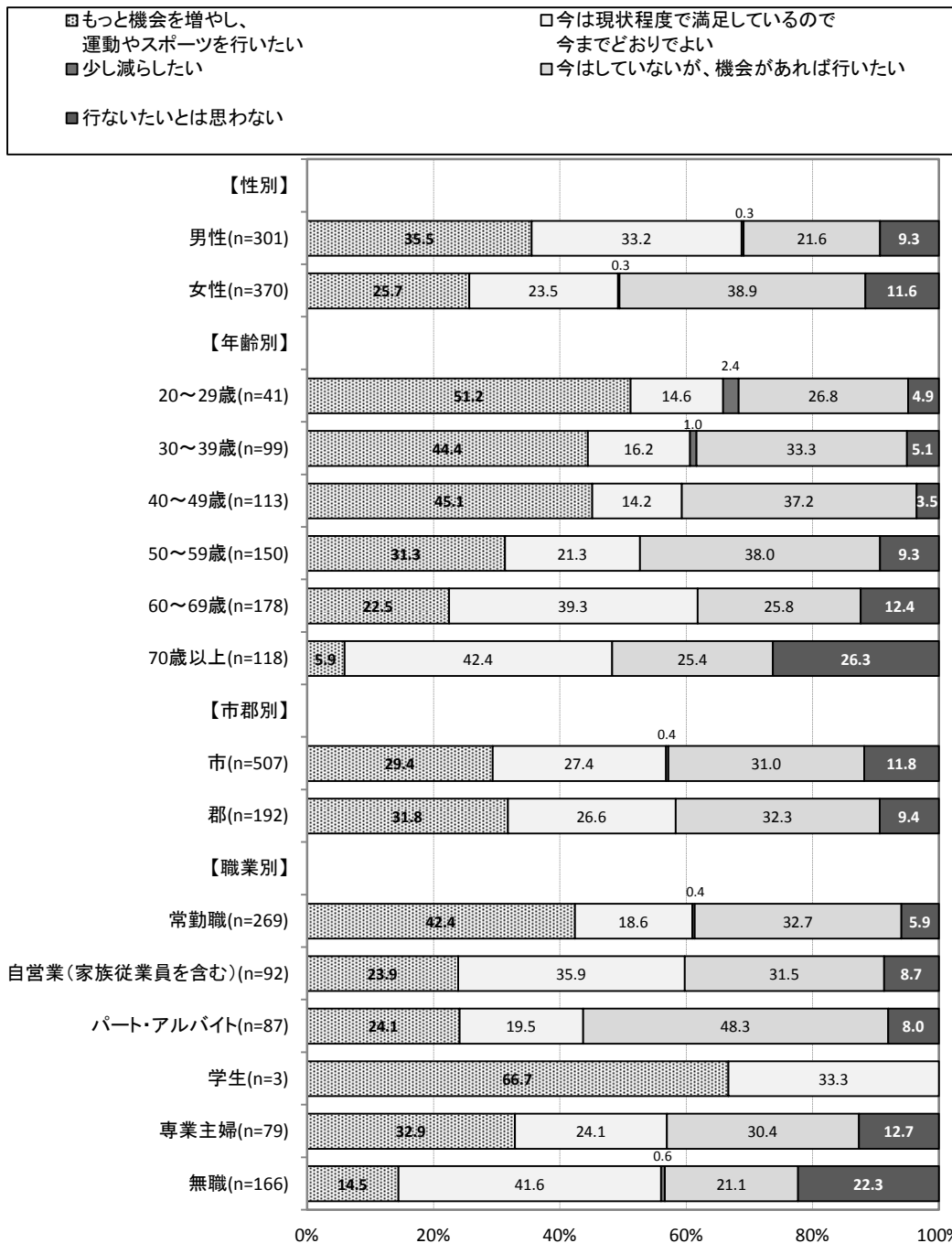
○性別で見ると、『男性』は「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」、「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」の割合が、『女性』は「今はしていないが、機会があれば行いたい」の割合がそれぞれ高い。

○年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにつれて「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」の割合が低くなっており、「今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい」の割合が高くなっている。

○市郡別でみると、大きな差異は見られない。

○職業別でみると、『常勤職』、『学生』、『専業主婦』では「もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい」の割合が、『パート・アルバイト』では「今はしていないが、機会があれば行いたい」の割合がそれぞれ多い。

問22 今後の運動やスポーツ活動に対する考え × 性別+年齢+居住地+職業
N = 699 (1つ〇印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問23. あなたは、今後運動やスポーツの行事が催される場合、どのような行事であれば参加したいと思いますか。(いくつでも○印)

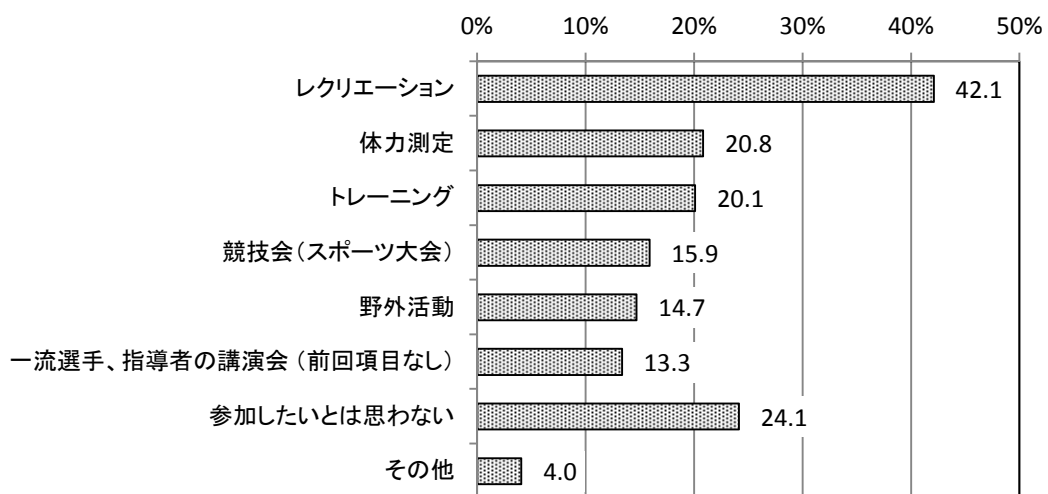
～「レクリエーション」「体力測定」「トレーニング」等の行事に参加したい～

今後参加したい運動やスポーツ行事について、「レクリエーション」と挙げた者の割合が42.1%と最も多く、以下「体力測定」(20.8%)、「トレーニング」(20.1%)、「競技会(スポーツ大会)」(15.9%)などと続いている。一方「参加したいとは思わない」と挙げた者の割合は24.1%となっている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「野外活動」の割合が低下し、「参加したいとは思わない」の割合が増加している。

問23 参加したい運動やスポーツ行事

N=668



【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問23 参加したい運動やスポーツ行事					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	競技会(スポーツ大会)	106	10.2	161	12.0
2	レクリエーション	281	27.1	394	29.3
3	体力測定	139	13.4	198	14.7
4	トレーニング	134	12.9	173	12.8
5	野外活動	98	9.5	209	15.5
6	一流選手、指導者の講演会(前回項目なし)	89	8.6	-	-
7	参加したいとは思わない	161	15.6	187	13.9
8	その他	27	2.6	25	1.9
	合計(無回答を除く)	1035	100.0	1347	100.0

※回答数を足し上げた数値から無回答を除いた数値を母数として比率計算。

【クロス分析】

○性別で見ると、『男性』は「競技会(スポーツ大会)」の割合が、『女性』は「体力測定」の割合がそれぞれ多い。

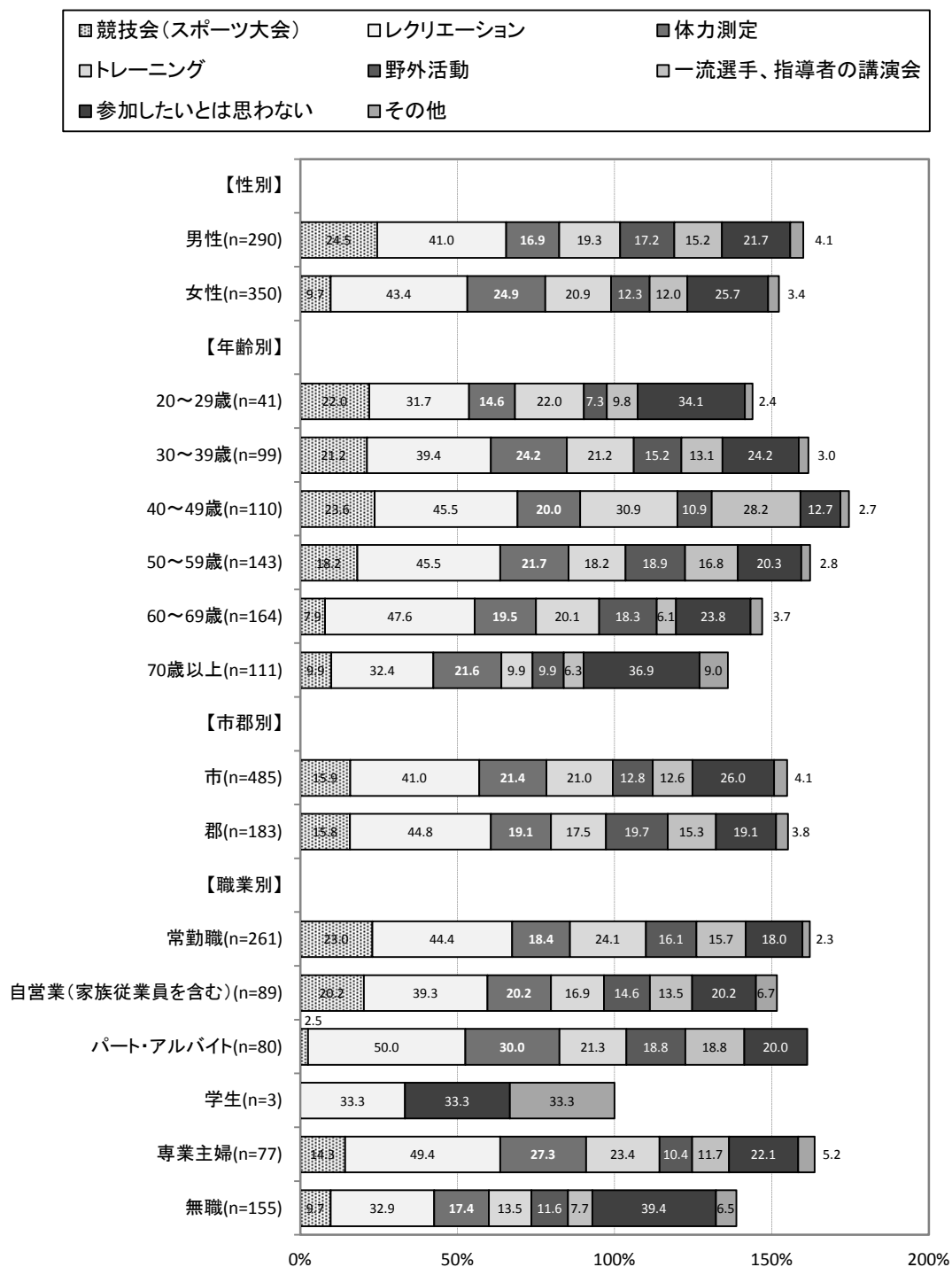
○年齢別で見ると、『40～69歳』で「レクリエーション」の割合が、『40～49歳』で「トレー

ニング」、「一流選手、指導者の講演会」の割合が、『20～29歳』、『70歳以上』で「参加したいとは思わない」の割合がそれぞれ高い。

○市郡別でみると、『市部』では『郡部』と比較して「参加したいとは思わない」の割合が高い。

○職業別でみると、『常勤職』、『パート・アルバイト』、『専業主婦』では「レクリエーション」の割合が、『無職』では「参加したいとは思わない」の割合がそれぞれ高い。

問23 参加したい運動やスポーツ行事 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 668 (いくつでも○印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問24. あなたが、今後新しく行ってみたいと思う運動やスポーツは何ですか。

(いくつでも○印)

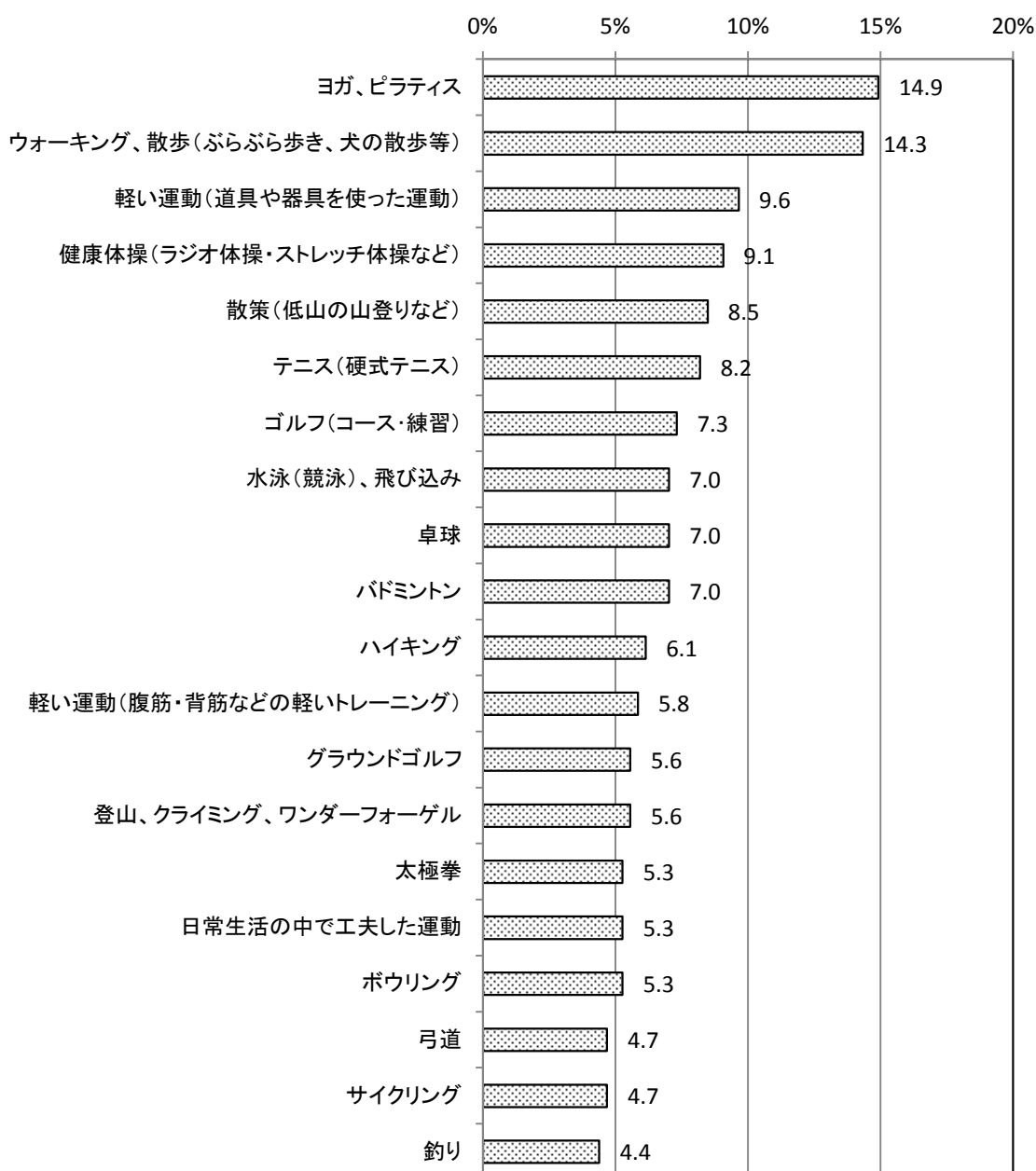
～「ヨガ」「ウォーキング」「軽い運動」「健康体操」など手軽な運動～

今後、新しく行ってみたい運動やスポーツについて、「ヨガ、ピラティス」と挙げた者の割合が14.9%と最も多く、以下「ウォーキング、散歩（ぶらぶら歩き、犬の散歩など）」(14.3%)、「軽い運動（道具や器具を使った運動）」(9.6%)、「健康体操（ラジオ体操・ストレッチ体操など）」(9.1%) などと続いている。

★前回(H21年度)調査と比較すると、上位種目に大きな変化は見られないが、「グラウンド・ゴルフ」の割合が低下し、「テニス」、「バドミントン」などの割合が増加している。

問24 今後行ってみたい運動やスポーツ(上位20種目)

N=342



【参考値】平成 21 年度調査の集計方法によるデータ比較

問24 今後行ってみたい運動やスポーツ（上位20種目）						
順位	H26年度			H21年度		
	種目	件数	%	種目	件数	%
1	ヨガ、ピラティス	51	10.3	ヨガ・ピラティス	86	11.1
2	ウォーキング	49	9.9	ウォーキング	73	9.4
3	軽い運動（道具や器具を使った運動）	33	6.7	散策（低山の山登りなど）	49	6.3
4	健康体操	31	6.3	軽い運動（道具や器具を使った運動）	45	5.8
5	散策（低山の山登りなど）	29	5.8	グラウンド・ゴルフ	41	5.3
6	テニス	28	5.6	健康体操	41	5.3
7	ゴルフ	25	5.0	ゴルフ	40	5.2
8	水泳（競泳・飛び込み）	24	4.8	水泳（競泳・飛び込み）	40	5.2
9	卓球	24	4.8	卓球	36	4.7
10	バドミントン	24	4.8	釣り	35	4.5
11	ハイキング	21	4.2	テニス	35	4.5
12	軽い運動（腹筋・背筋）	20	4.0	エアロビクス	34	4.4
13	グラウンド・ゴルフ	19	3.8	軽い運動（腹筋・背筋）	34	4.4
14	太極拳	18	3.6	太極拳	31	4.0
15	日常生活の中で工夫した運動	18	3.6	サイクリング	30	3.9
16	ボウリング	18	3.6	日常生活の中で工夫した運動	27	3.5
17	登山	17	3.4	バドミントン	25	3.2
18	弓道	16	3.2	乗馬	24	3.1
19	サイクリング	16	3.2	ジョギング	24	3.1
20	釣り	15	3.0	登山	24	3.1
	合計（無回答除く）	821	100	合計（無回答除く）	774	100

※上位 20 種目の回答件数を足し上げた数値を母数として比率計算

【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』はテニス（硬式テニス）、「ゴルフ（コース・練習）」が、『女性』では「ヨガ、ピラティス」がそれぞれ1位となっている。
- 年齢別で見ると、上位に『20～29歳』では「ゴルフ」、「弓道」、「スキューバダイビング」が、『50～59歳』では「太極拳」が、『70歳以上』では「グラウンド・ゴルフ」、「卓球」がそれぞれ入っている。
- 市郡別で見ると、上位に『市部』では「テニス（硬式テニス）」が、『郡部』では「卓球」、「サイクリング」がそれぞれ入っている。
- 職業別で見ると、『常勤職』、『専業主婦』で「ヨガ、ピラティス」が、『パート・アルバイト』で「ウォーキング、散歩（ぶらぶら歩き、犬の散歩等）」が、『自営業』で「軽い運動（道具や器具を使った運動）」、「テニス（硬式テニス）」が、『無職』で「健康体操」がそれぞれ1位となっている。

問 24 今後行ってみたい運動やスポーツ(上位 10 位) × 性別+年齢+居住地+職業

上段:種目 下段:%	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位		
全体(n=342)	ヨガ、 ピラティス	ウォーキング	軽い運動 (道具や器具)	健康体操	散歩 (低山の山登り)	テニス(硬式)	ゴルフ (コース・練習)	水泳	卓球	バドミントン		
	14.9	14.3	9.6	9.1	8.5	8.2	7.3	7.0				
性別	男性(n=138)	テニス(硬式)	ゴルフ (コース・練習)	ウォーキング	軽い運動 (道具や器具)	健康体操	釣り	水泳	卓球	グラウンド ゴルフ	散歩 (低山の山登り)	
		8.7		8.0			7.2		6.5			
	女性(n=190)	ヨガ、 ピラティス	ウォーキング	軽い運動 (道具や器具)	健康体操	散歩 (低山の山登り)	バドミントン	テニス(硬式)	ハイキング	卓球	太極拳	
		24.2	19.5	11.1	10.5		10.0	7.9		7.4		
年齢	20~29歳 (n=26)	ゴルフ (コース・練習)	弓道	スキューバダイ ビング	ヨガ、 ピラティス	ウォーキング	登山、 クライミング	ジョギング	スノーボード	サーフィン	カーリング	
		19.2	15.4		11.5							
	30~39歳 (n=61)	ヨガ、 ピラティス	ウォーキング	テニス(硬式)	水泳	バドミントン	軽い運動 (道具や器具)	登山、 クライミング	ゴルフ (コース・練習)	ハイキング	日常生活の中で 工夫した運動	
		18.0		14.8		11.5	8.2		6.6			
	40~49歳 (n=68)	ヨガ、 ピラティス	ゴルフ (コース・練習)	テニス(硬式)	バドミントン	乗馬	ウォーキング	釣り	卓球	弓道	スノーボード	
		22.1	13.2	11.8	10.3		7.4		5.9			
	50~59歳 (n=75)	ヨガ、 ピラティス	ウォーキング	太極拳	軽い運動 (道具や器具)	テニス(硬式)	散歩 (低山の山登り)	卓球	健康体操	水泳	軽い運動(腹筋・ 背筋など)	
		17.3	13.3	12.0	10.7		9.3		8.0			
	60~69歳 (n=78)	ウォーキング	健康体操	軽い運動 (道具や器具)	散歩 (低山の山登り)	ハイキング	ヨガ、 ピラティス	グラウンド ゴルフ	ボウリング	日常生活の中で 工夫した運動	卓球	
		21.8		17.9	15.4		10.3		7.7		6.4	
70歳以上 (n=33)	健康体操	グラウンド ゴルフ	卓球	ウォーキング	散歩 (低山の山登り)	軽い運動(腹筋・ 背筋など)	日常生活の中で 工夫した運動	キャンプ	軽い運動 (道具や器具)	水泳		
	15.2		12.1	9.1					6.1			
居住地	市(n=256)	ヨガ、 ピラティス	ウォーキング	テニス(硬式)	健康体操	軽い運動 (道具や器具)	散歩 (低山の山登り)	バドミントン	ゴルフ (コース・練習)	水泳	ハイキング	
		16.8	13.3	9.8	9.4	9.0	8.2	7.8	7.4		6.3	
	郡(n=85)	ウォーキング	軽い運動 (道具や器具)	卓球	ヨガ、 ピラティス	散歩 (低山の山登り)	サイクリング	健康体操	ゴルフ (コース・練習)	軽い運動(腹筋・ 背筋など)	グラウンド ゴルフ	
		17.6	11.8	10.6	9.4			8.2	7.1			
職業	常勤職 (n=144)	ヨガ、 ピラティス	ウォーキング	散歩 (低山の山登り)	テニス(硬式)	卓球	水泳	ボウリング	サイクリング	ジョギング	登山、 クライミング	
		16.7	11.1		9.7	7.6	6.9				6.3	
	自営業(家族 従業員を含む) (n=43)	軽い運動 (道具や器具)	テニス(硬式)	ヨガ、 ピラティス	ウォーキング	グラウンド ゴルフ	健康体操	ゴルフ (コース・練習)	卓球	水泳	バドミントン	
		11.6		9.3			7.0			4.7		
	パート・アルバ イト(n=53)	ウォーキング	バドミントン	散歩 (低山の山登り)	ヨガ、 ピラティス	軽い運動 (道具や器具)	テニス(硬式)	弓道	水泳	ハイキング	軽い運動(腹筋・ 背筋など)	
		28.3	17.0	15.1	13.2	11.3	9.4		7.5			
	学生(n=2)	登山、 クライミング	スキー	その他	-	-	-	-	-	-	-	
	50											
専業主婦 (n=41)	ヨガ、 ピラティス	健康体操	軽い運動 (道具や器具)	散歩 (低山の山登り)	ウォーキング	ハイキング	軽い運動(腹筋・ 背筋など)	水泳	テニス(硬式)	卓球		
	24.4	22.0	19.5	17.1	14.6	12.2		9.8	7.3			
無職(n=57)	健康体操	ウォーキング	軽い運動 (道具や器具)	ハイキング	ヨガ、 ピラティス	散歩 (低山の山登り)	日常生活の中で 工夫した運動	水泳	卓球	バドミントン		
	17.5	14.0	12.3		10.5			7.0				

(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

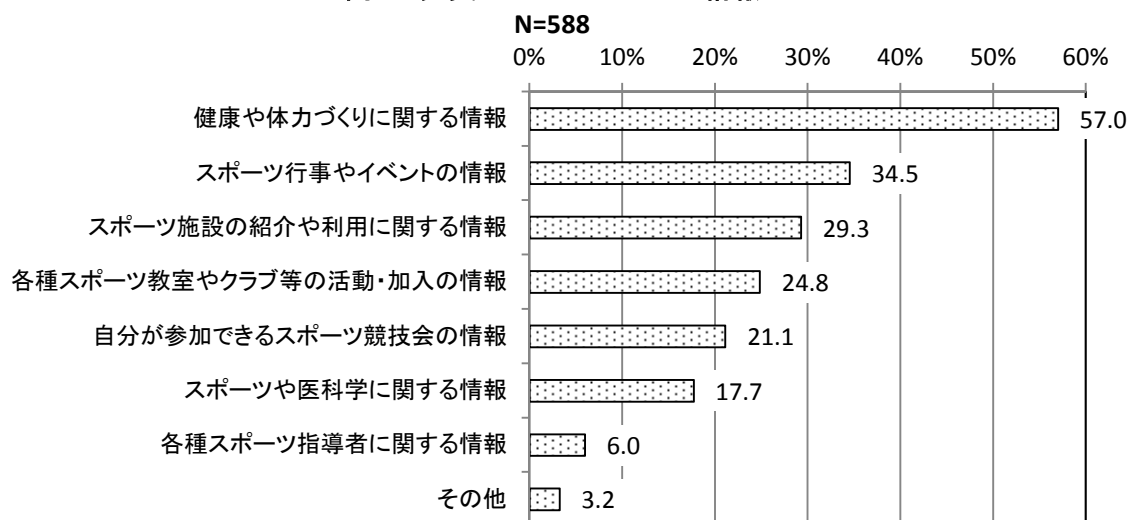
問25. あなたは、今後どのような運動やスポーツに関する情報が充実すれば良いとお考えですか。(いくつでも○印)

～「健康や体力づくりに関する情報」と「スポーツ行事やイベントの情報」～

今後充実を期待する運動やスポーツに関する情報について、「健康や体力づくりに関する情報」と挙げた者の割合が57.0%と最も多く、以下「スポーツ行事やイベントの情報」(34.5%)、「スポーツ施設の紹介や利用に関する情報」(29.3%)、「各種スポーツ教室やクラブ等の活動・加入の情報」(24.8%)などと続いている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「スポーツ行事やイベント情報」の割合が増加している。

問25 充実してほしいスポーツ情報



【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問25 充実してほしいスポーツ情報					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	スポーツ行事やイベントの情報	203	17.8	227	13.4
2	自分が参加できるスポーツ競技会の情報	124	10.9	164	9.7
3	各種スポーツ教室やクラブ等の活動・加入の情報	146	12.8	240	14.2
4	スポーツ施設の紹介や利用に関する情報	172	15.1	297	17.5
5	各種スポーツ指導者に関する情報	35	3.1	52	3.1
6	健康や体力づくりに関する情報	335	29.4	493	29.1
7	スポーツや医科学に関する情報	104	9.1	191	11.3
8	その他	19	1.7	29	1.7
	合計(無回答を除く)	1138	100.0	1693	100.0

※回答数を足上げた数値から無回答を除いた数値を母数として比率計算

【クロス分析】

○性別で見ると、『男性』は「自分が参加できるスポーツ競技会の情報」の割合が、『女性』は「各種スポーツ教室やクラブ等の活動・加入の情報」、「健康や体力づくりに関する情報」の割合がそれぞれ高い。

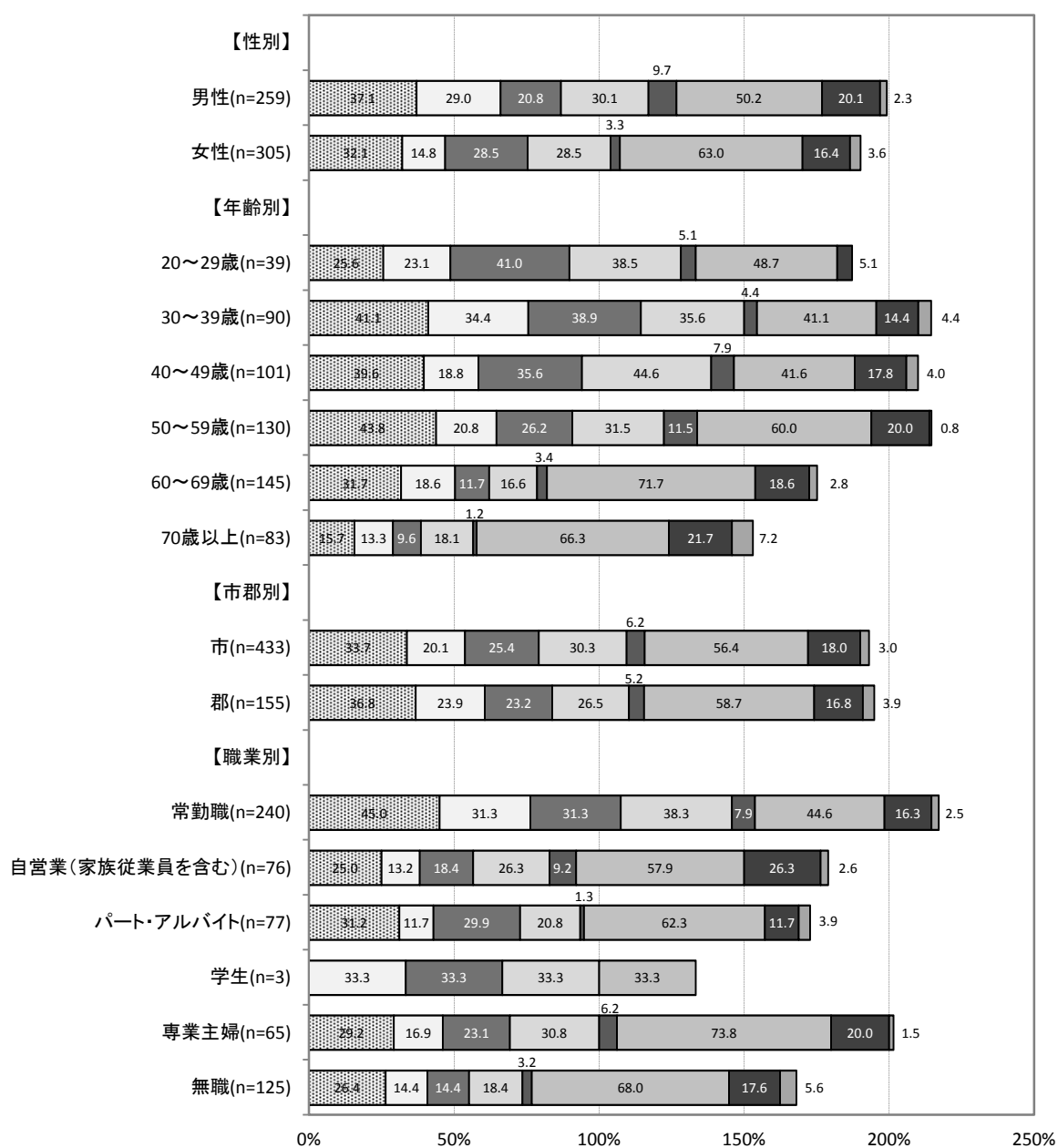
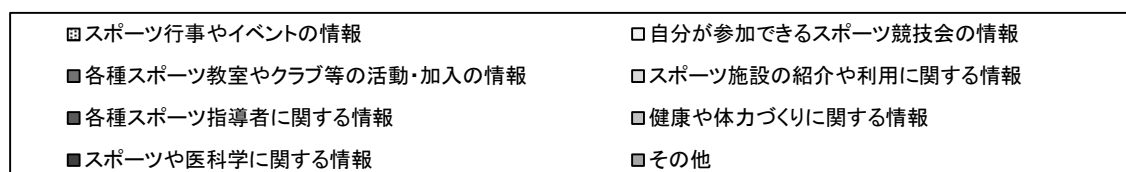
○年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「各種スポーツ教室やクラブ等の活動・加入の

情報」の割合が低くなっている。また『50歳以上』では「健康や体力づくりに関する情報」の割合が最も高い。

○市郡別でみると、大きな差異は見られない。

○職業別でみると、『自営業』、『パート・アルバイト』、『専業主婦』、『無職』で「健康や体力づくりに関する情報」の割合が、『常勤職』で「スポーツ行事やイベントの情報」の割合がそれぞれ高い。

問25 充実してほしいスポーツ情報 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 588 (いくつでも○印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

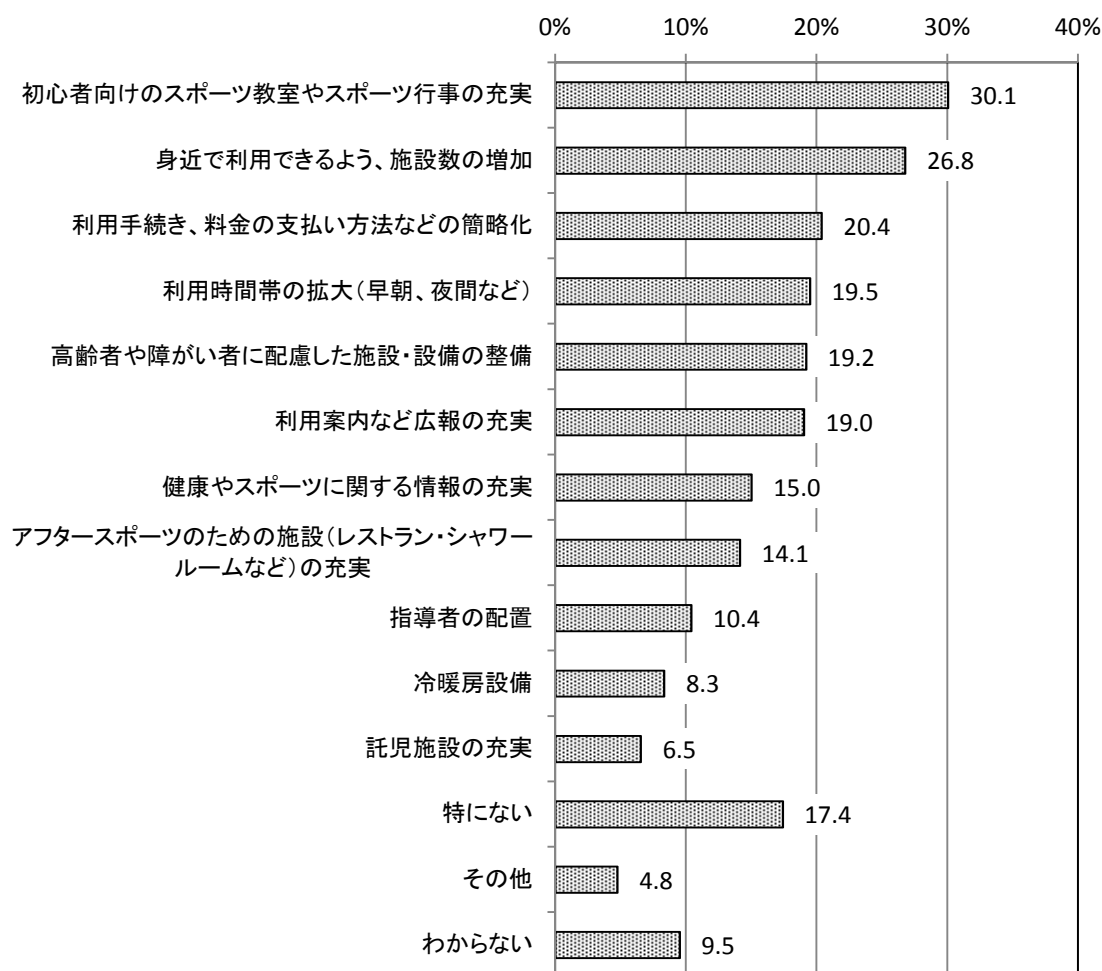
問26. あなたは、市町村立体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか。(いくつでも○印)

～初心者向けのスポーツ行事等の充実や施設数の増加、手続きなどの簡略化を希望～

公共スポーツ施設への希望について、「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」と挙げた者の割合が30.1%と最も多く、以下「身近で利用できるよう、施設数の増加」(26.8%)、「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」(20.4%)、「利用時間帯の拡大(早朝、夜間など)」(19.5%)などと続いている。

問26 公共スポーツ施設に望むこと

N=672



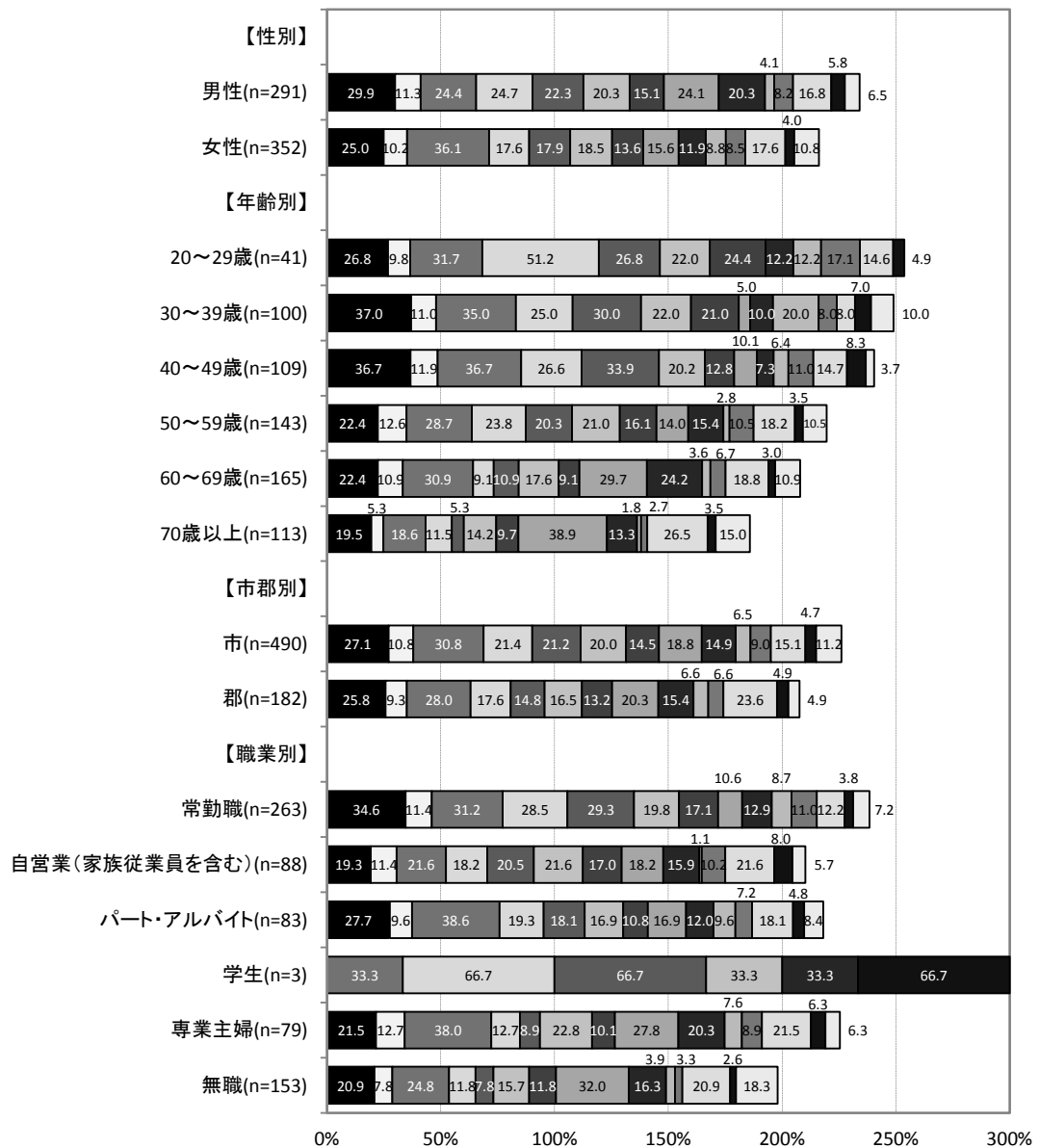
【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』は「身近で利用できるよう、施設数の増加」、「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」の割合が、『女性』は「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」の割合がそれぞれ高い。
- 年齢別で見ると、『20～29歳』で「利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化」の割合が、『60代以上』で「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」の割合がそれぞれ高い。
- 市郡別で見ると、『市部』では「利用時間帯の拡大(早朝、夜間など)」の割合が、『郡部』では「特にない」の割合がそれぞれ高い。

○職業別でみると、『パート・アルバイト』、『専業主婦』で「初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実」の割合が、『無職』では「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」の割合がそれぞれ高い。

問26 公共スポーツ施設に望むこと × 性別+年齢+居住地+職業
N = 672 (いくつでも○印)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------|
| ■ 身近で利用できるよう、施設数の増加 | □ 指導者の配置 |
| ■ 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実 | □ 利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化 |
| ■ 利用時間帯の拡大(早朝、夜間など) | □ 利用案内など広報の充実 |
| ■ アフタースポーツのための施設(レストラン・シャワールームなど)の充実 | □ 高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備 |
| ■ 健康やスポーツに関する情報の充実 | □ 託児施設の充実 |
| ■ 冷暖房設備 | □ 特にない |
| ■ その他 | □ わからない |



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

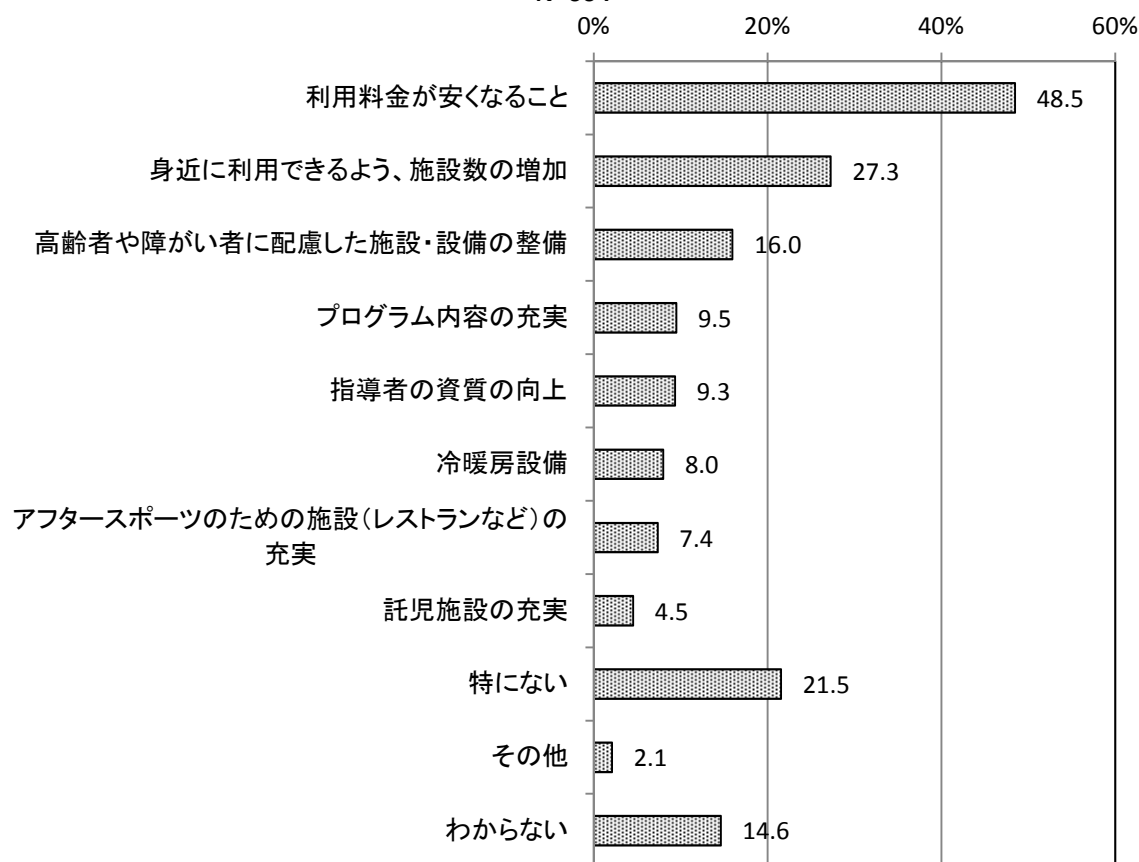
問27. あなたは、フィットネスクラブ、スイミングクラブ、テニスクラブ、ゴルフ練習場などの民間スポーツ施設について、何か望むことがありますか。(いくつでも○印)

～利用料金が安くなることへの希望が約5割～

民間スポーツ施設への希望について、「利用料金が安くなること」と挙げた者の割合が48.5%と最も多く、以下「身近に利用できるよう、施設数の増加」(27.3%)、「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」(16.0%)、「プログラム内容の充実」(9.5%)などと続いている。

問27 民間スポーツ施設に望むこと

N=664

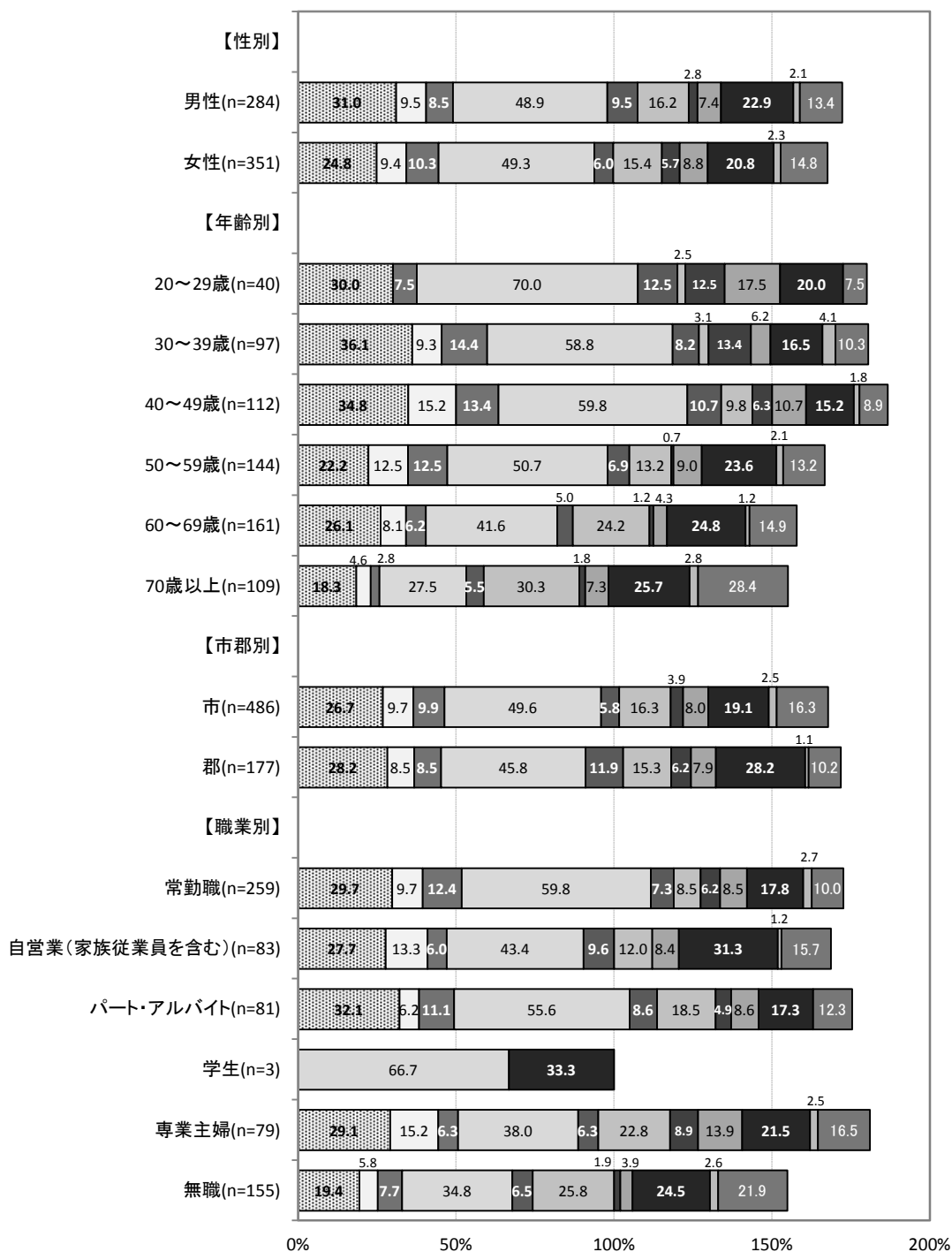


【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』と比較して「身近に利用できるよう、施設数の増加」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにつれて「利用料金が安くなること」の割合が低くなっており、「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」の割合が高くなっている。
- 市郡別で見ると、『郡部』では『市部』と比較して「アフタースポーツのための施設(レストランなど)の充実」、「特にない」の割合が高い。
- 職業別で見ると、『常勤職』、『パート・アルバイト』で「利用料金が安くなること」の割合が、『専業主婦』、『無職』で「高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備」の割合がそれぞれ高い。

問27 民間スポーツ施設に望むこと × 性別+年齢+居住地+職業
N = 664 (いくつでも○印)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| ■ 身近に利用できるよう、施設数の増加 | □ 指導者の資質の向上 |
| ■ プログラム内容の充実 | □ 利用料金が安くなること |
| ■ アフタースポーツのための施設(レストランなど)の充実 | □ 高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備 |
| ■ 託児施設の充実 | □ 冷暖房設備 |
| ■ 特にない | □ その他 |
| ■ わからない | |



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問28. あなたは今後、運動やスポーツを普及・振興していく上で、最も力を入れるべきことは何だとお考えですか。(2つ以内〇印)

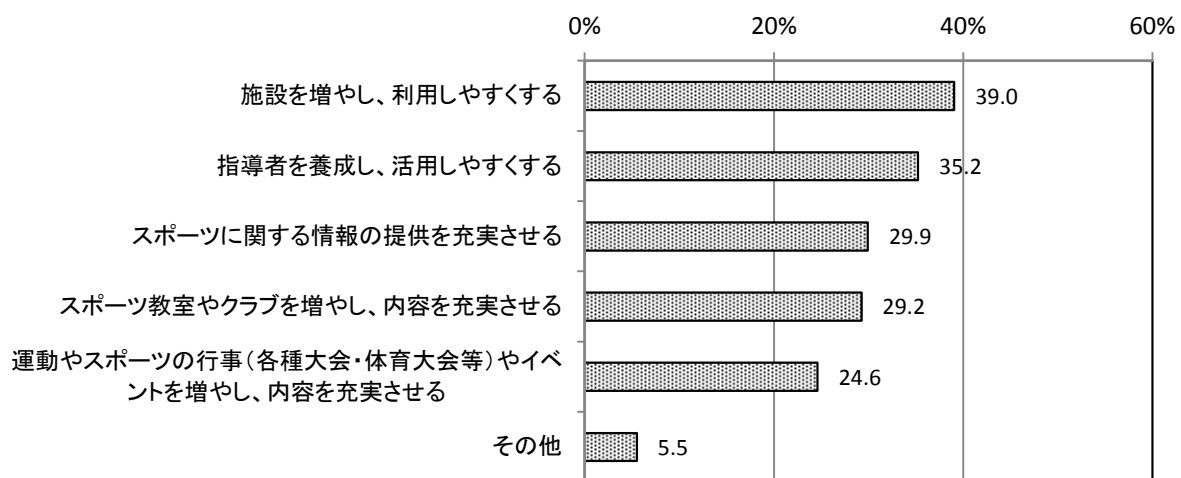
～施設の数増加と指導者の養成に力を入れるべき～

今後の運動やスポーツの普及・振興策について、「施設を増やし、利用しやすくする」と挙げた者の割合が39.0%と最も多く、以下「指導者を養成し、活用しやすくする」(35.2%)、「スポーツに関する情報の提供を充実させる」(29.9%)、「スポーツ教室やクラブを増やし、内容を充実させる」(29.2%)などと続いている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「指導者を養成し、利用しやすくする」の割合が増加している。

問28 運動やスポーツの普及・振興で力を入れるべきこと

N=602



【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問28 運動やスポーツの普及・振興で力を入れるべきこと					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	運動やスポーツの行事(各種大会・体育大会等)やイベントを増やし、内容を充実させる	148	15.0	213	14.9
2	スポーツ教室やクラブを増やし、内容を充実させる	176	17.9	274	19.2
3	施設を増やし、利用しやすくする	235	23.9	351	24.6
4	指導者を養成し、活用しやすくする	212	21.5	229	16.1
5	スポーツに関する情報の提供を充実させる	180	18.3	303	21.3
6	その他	33	3.4	55	3.9
	合計(無回答を除く)	984	100.0	1425	100.0

※回答数を足し上げた数値から無回答を除いた数値を母数として比率計算。

【クロス分析】

- 性別で見ると、大きな差異は見られない。
- 年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「指導者を養成し、活用しやすくする」の割合が高くなっている。『20～29歳』で「施設を増やし、利用しやすくする」の割合が最も高い。
- 市郡別で見ると、大きな差異は見られない。

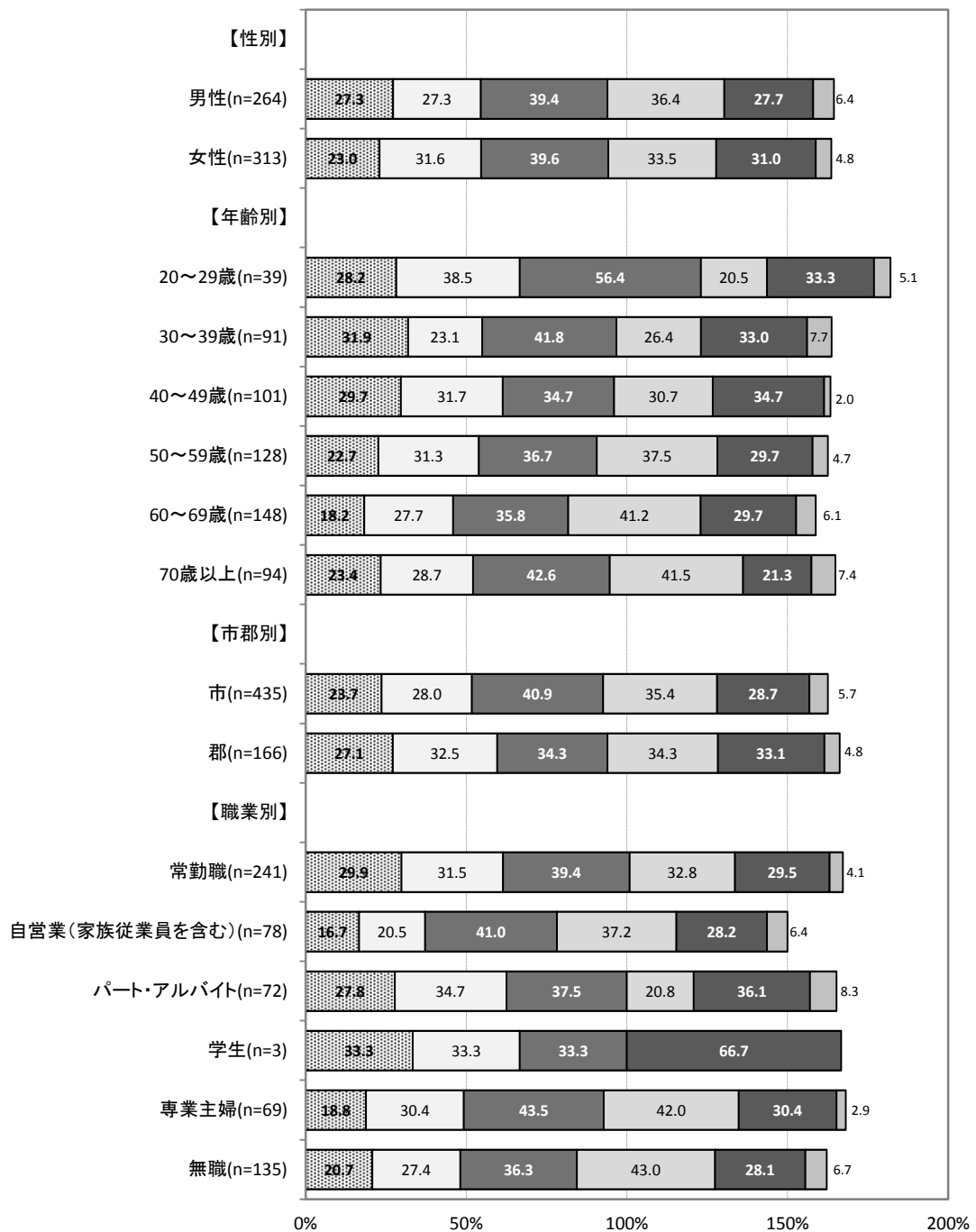
○職業別でみると、『無職』で「指導者を養成し、活用しやすくする」の割合が最も高い。

問28 運動やスポーツの普及・振興で力を入れるべきこと

× 性別+年齢+居住地+職業

N = 602 (2つ〇印)

- | | |
|--|---------------------------|
| ■ 運動やスポーツの行事(各種大会・体育大会等)やイベントを増やし、内容を充実させる | □ スポーツ教室やクラブを増やし、内容を充実させる |
| ■ 施設を増やし、利用しやすくする | □ 指導者を養成し、活用しやすくする |
| ■ スポーツに関する情報の提供を充実させる | □ その他 |



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問29. あなたは、学校、企業、地域などでスポーツ活動を行うスポーツクラブについて、どのような形態が望ましいとお考えですか。(1つ〇印)

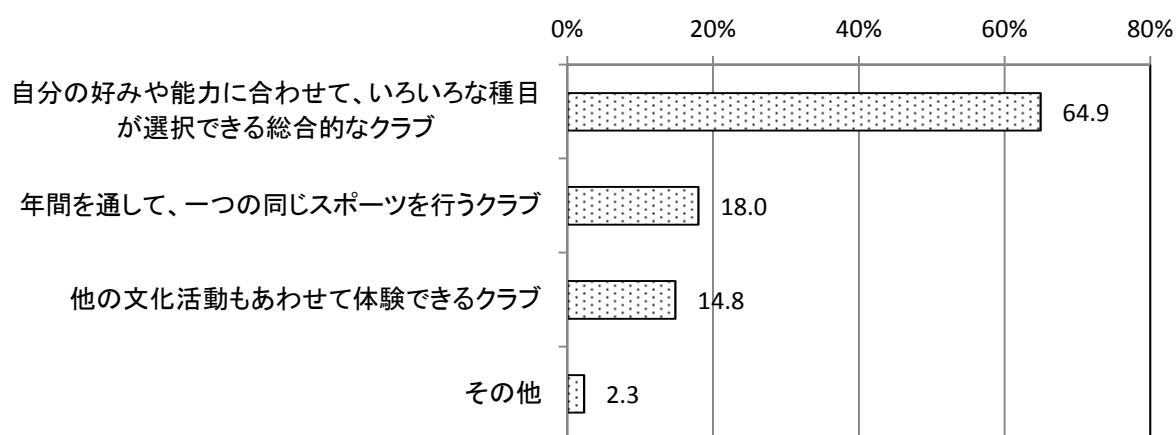
～「自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ」を希望～

スポーツクラブに望む形態について、「自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ」と挙げた者の割合が64.9%と最も多く、以下「年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ」(18.0%)、「他の文化活動もあわせて体験できるクラブ」(14.8%)などと続いている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ」の割合が増加している。

問29 スポーツクラブに望む形態

N=607



【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問29 スポーツクラブに望む形態					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ	109	15.0	110	10.9
2	自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ	394	54.1	574	56.7
3	他の文化活動もあわせて体験できるクラブ	90	12.4	135	13.3
4	その他	14	1.9	22	2.2
	無回答	121	16.6	172	17.0
	合計	728	100.0	1013	100.0

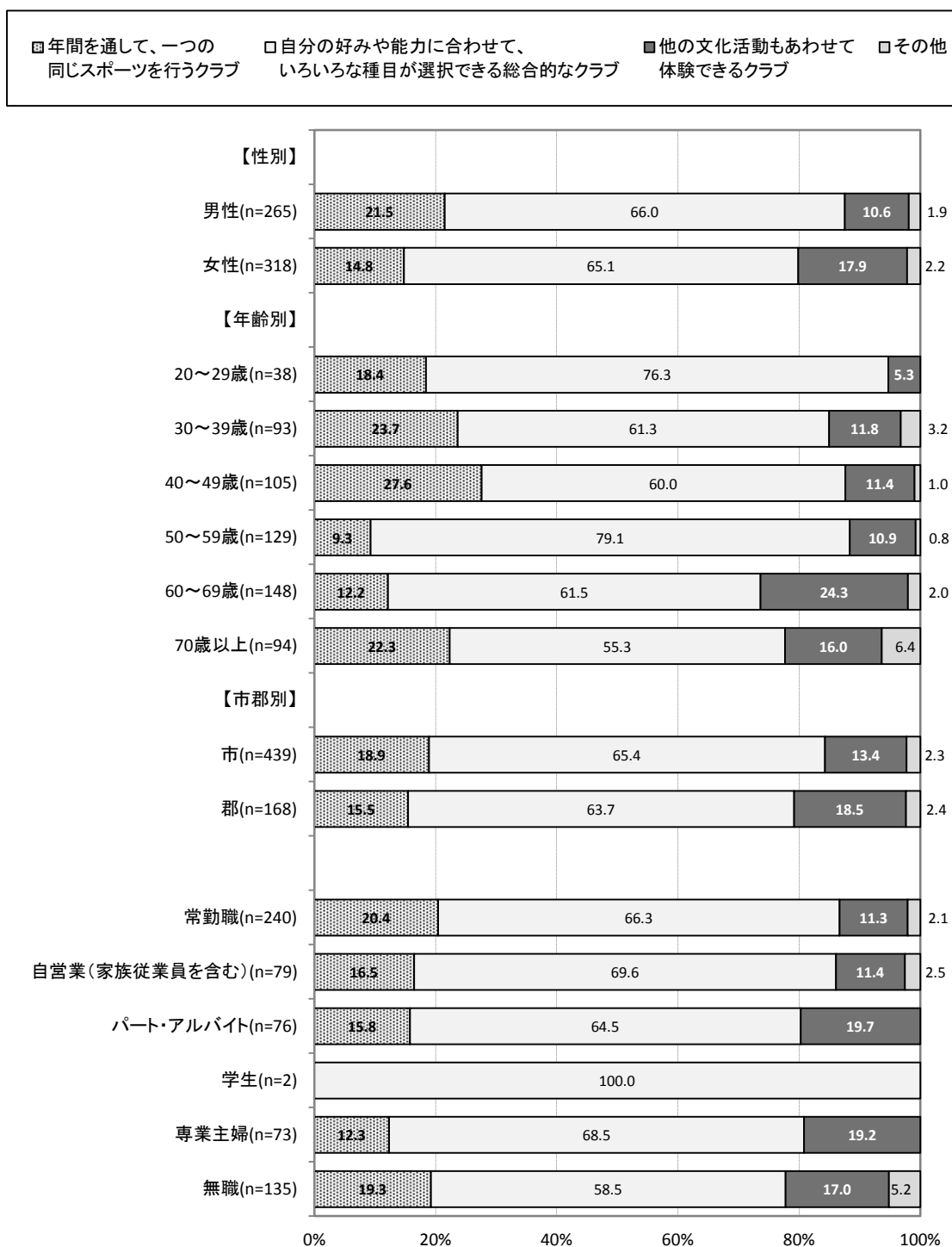
【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』は「年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ」の割合が、『女性』は「他の文化活動もあわせて体験できるクラブ」の割合がそれぞれ高い。
- 年齢別で見ると、『40～49歳』で「年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ」の割合が、『50～59歳』で「自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ」の割合が、『60～69歳』で「他の文化活動もあわせて体験できるクラブ」の割合がそれぞれ高い。

○市郡別でみると、大きな差異は見られない。

○職業別でみると、『常勤職』では「年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ」の割合が、『パート・アルバイト』、『専業主婦』、『無職』では「他の文化活動もあわせて体験できるクラブ」の割合がそれぞれ高い。

問29 スポーツクラブに望む形態 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 607(1つ〇印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

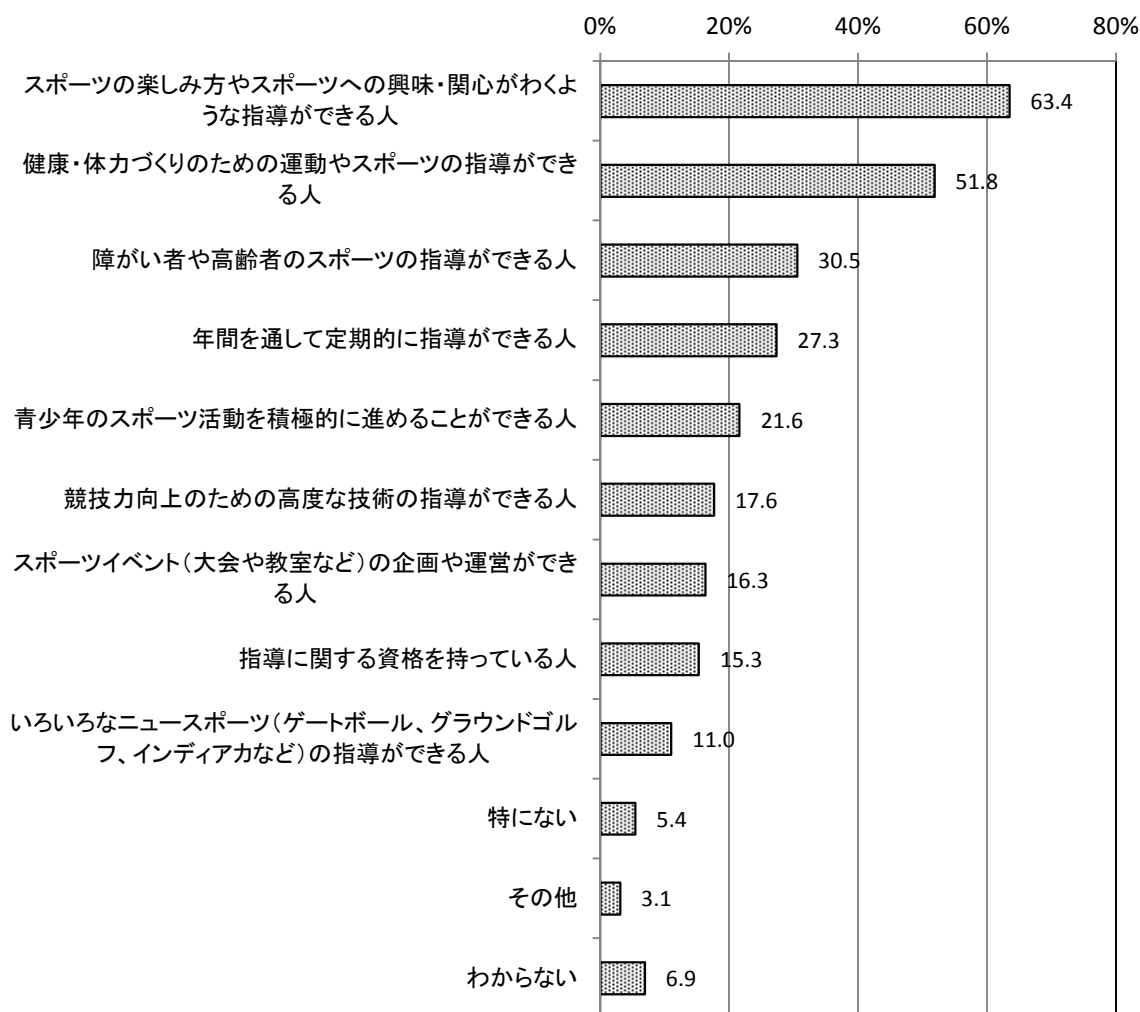
問30. あなたは、運動やスポーツを行うにあたって、どのようなスポーツ指導者が必要だと思いますか。(いくつでも○印)

～スポーツの楽しさや関心がわくような指導ができる人が必要～

運動やスポーツを行う上で必要なスポーツ指導者について、「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」と挙げた者の割合が63.4%と最も多く、以下「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」(51.8%)、「障がい者や高齢者のスポーツの指導ができる人」(30.5%)、「年間を通して定期的に指導ができる人」(27.3%)などと続いている。

問30 必要なスポーツ指導者

N=681



【クロス分析】

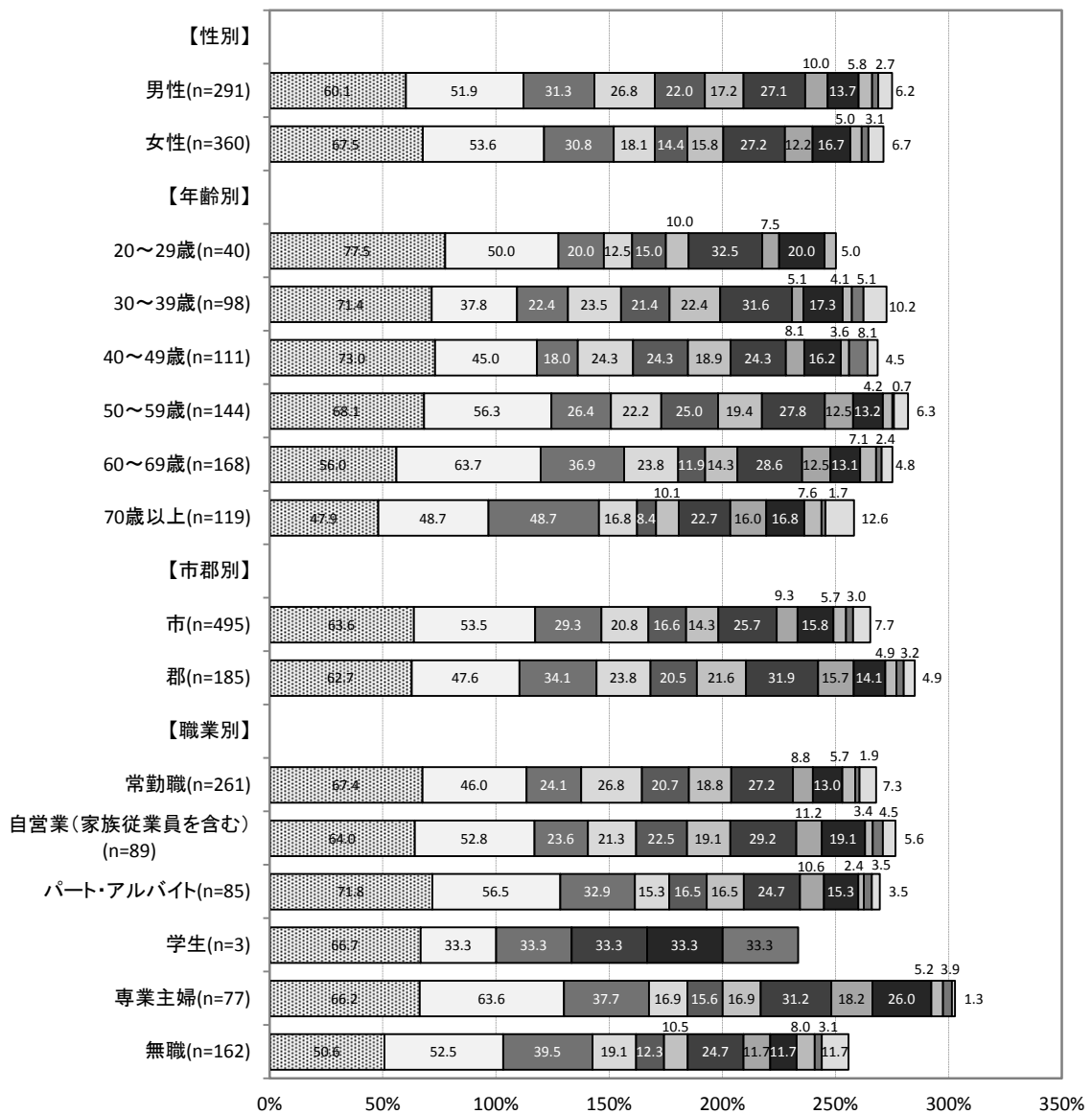
○性別で見ると、『男性』は「青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人」、「競技力向上のための高度な技術の指導ができる人」の割合が、『女性』は「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」の割合がそれぞれ高い。

○年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにつれて「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」の割合が低くなっており、「障がい者や高齢者のスポーツの指導ができる人」の割合が高くなっている。

- 市郡別でみると、『郡部』では『市部』と比較して「いろいろなニュースポーツ（ゲートボール、グラウンドゴルフ、インディアカなど）の指導ができる人」の割合が高い。
- 職業別でみると、全ての職業で「スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人」、「健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人」の割合が高い。

問30 必要なスポーツ指導者 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 681 (いくつかも○印)

■ スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人	□ 健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人
■ 障がい者や高齢者のスポーツの指導ができる人	□ 青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人
■ 競技力向上のための高度な技術の指導ができる人	□ スポーツイベント(大会や教室など)の企画や運営ができる人
■ 年間を通して定期的に指導ができる人	□ いろいろなニュースポーツ(ゲートボール、グラウンドゴルフ、インディアカなど)の指導ができる人
■ 指導に関する資格を持っている人	□ 特にな
■ その他	□ わからない

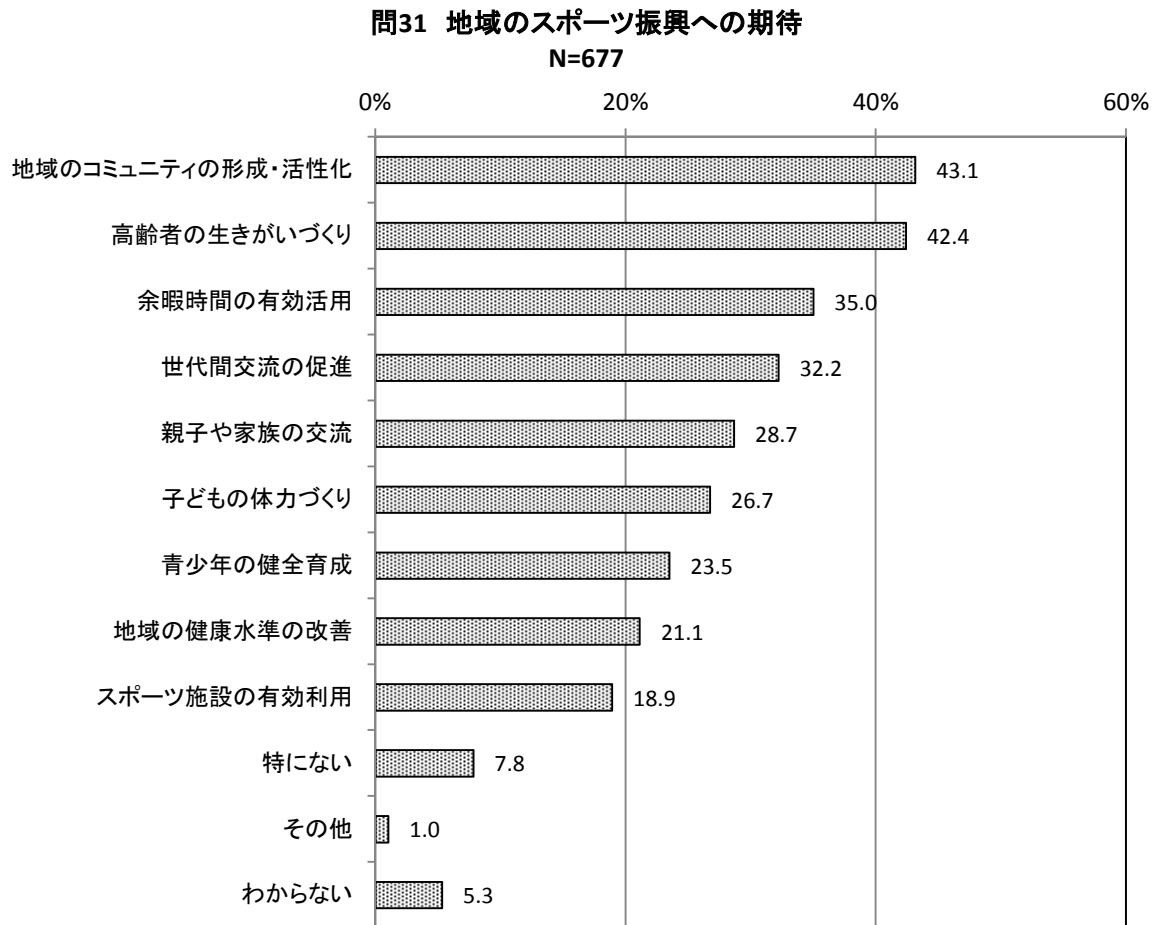


(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問31. あなたは、地域におけるスポーツ振興に、どのような効果を期待しますか。
 (いくつでも○印)

～地域コミュニティの形成・活性化と高齢者の生きがいに期待～

地域におけるスポーツ振興に期待する効果について、「地域のコミュニティの形成・活性化」を挙げた者の割合が43.1%と最も多く、以下「高齢者の生きがいにづくり」(42.4%)、「余暇時間の有効活用」(35.0%)、「世代間交流の促進」(32.2%)などと続いている。

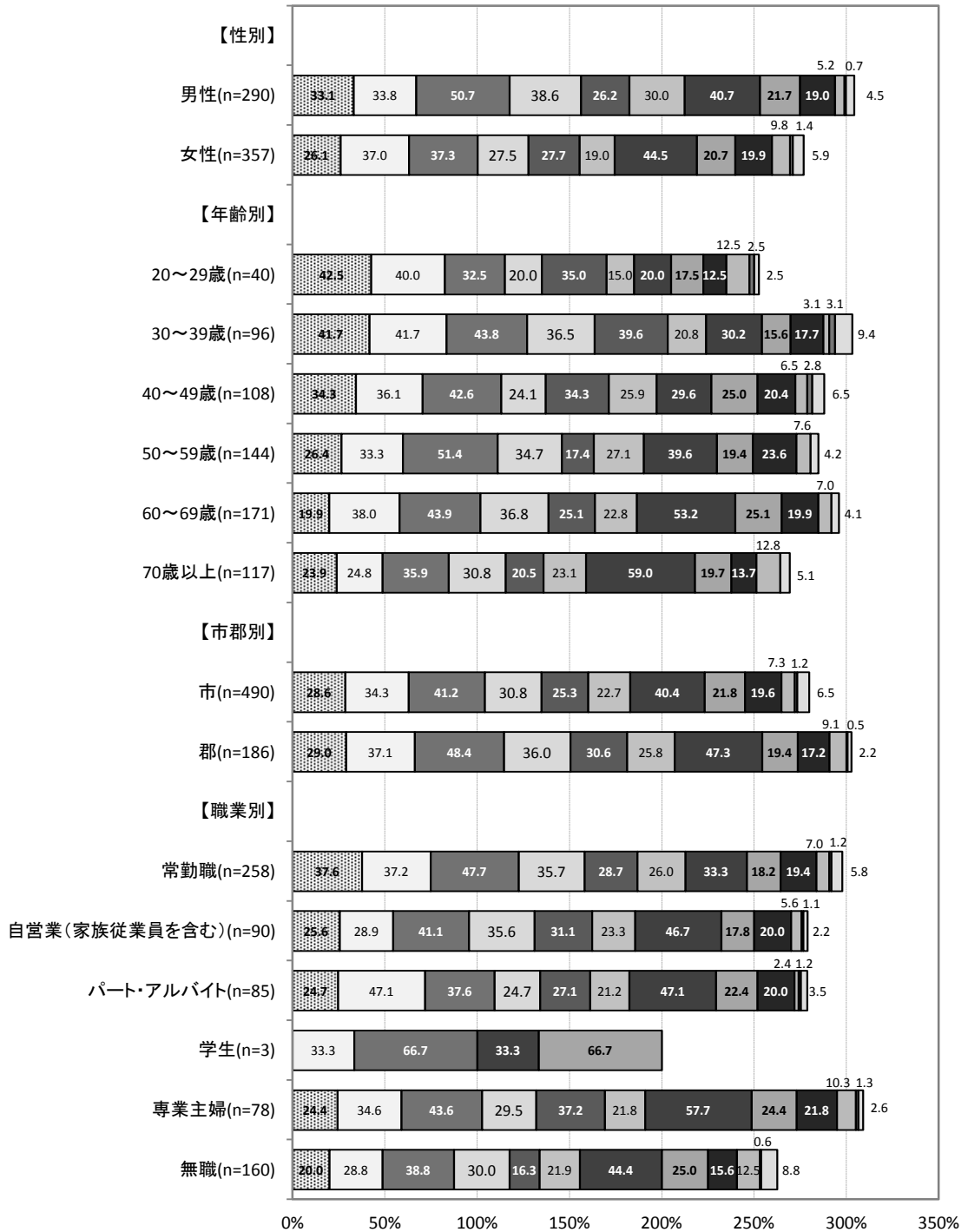


【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』と比較して「地域のコミュニティの形成・活性化」、「世代間交流の促進」、「青少年の健全育成」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「高齢者の生きがいにづくり」の割合が高くなっている。『20～29歳』で「親子や家族の交流」の割合が、『50～59歳』で「地域コミュニティの形成・活性化」の割合がそれぞれ高い。
- 市郡別で見ると、『郡部』では『市部』と比較して「地域のコミュニティの形成・活性化」、「高齢者の生きがいにづくり」の割合が高い。
- 職業別で見ると、『パート・アルバイト』で「余暇時間の有効活用」の割合が、『専業主婦』で「高齢者の生きがいにづくり」の割合がそれぞれ高い。

問31 地域のスポーツ振興への期待 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 677 (いくつでも○印)

- | | | |
|---------------|--------------|--------------------|
| ■ 親子や家族の交流 | □ 余暇時間の有効活用 | ■ 地域のコミュニティの形成・活性化 |
| □ 世代間交流の促進 | ■ 子どもの体力づくり | □ 青少年の健全育成 |
| ■ 高齢者の生きがいづくり | □ 地域の健康水準の改善 | ■ スポーツ施設の有効利用 |
| □ 特にない | ■ その他 | □ わからない |



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

<その他>

問32. ① あなたは、各地域に設置されている「総合型地域スポーツクラブ」の取組を知っていますか。(1つ〇印)

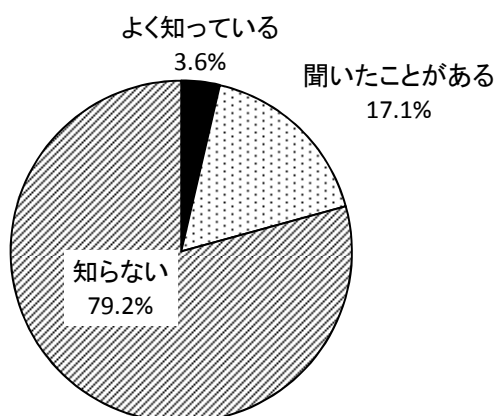
～総合型地域スポーツクラブを「知らない」が約8割～

「総合型地域スポーツクラブ」の取組の周知度について、「よく知っている」と回答した者の割合が3.6%、「聞いたことがある」と回答した者の割合が17.1%となっている。一方「知らない」と回答した者の割合が79.2%となっている。

★前回(H21年度)調査と比較すると「知らない」の割合が増加している。

問32 ①「総合型地域スポーツクラブ」の取組の周知

N=689



【参考値】平成21年度調査の集計方法によるデータ比較

問32 ①「総合型地域スポーツクラブ」の取組の周知					
No.	カテゴリ	H26年度		H21年度	
		件数	%	件数	%
1	よく知っている	25	3.6	69	7.5
2	聞いたことがある	118	17.1	212	23.2
3	知らない	546	79.2	633	69.3
	合計(無回答を除く)	689	100.0	914	100.0

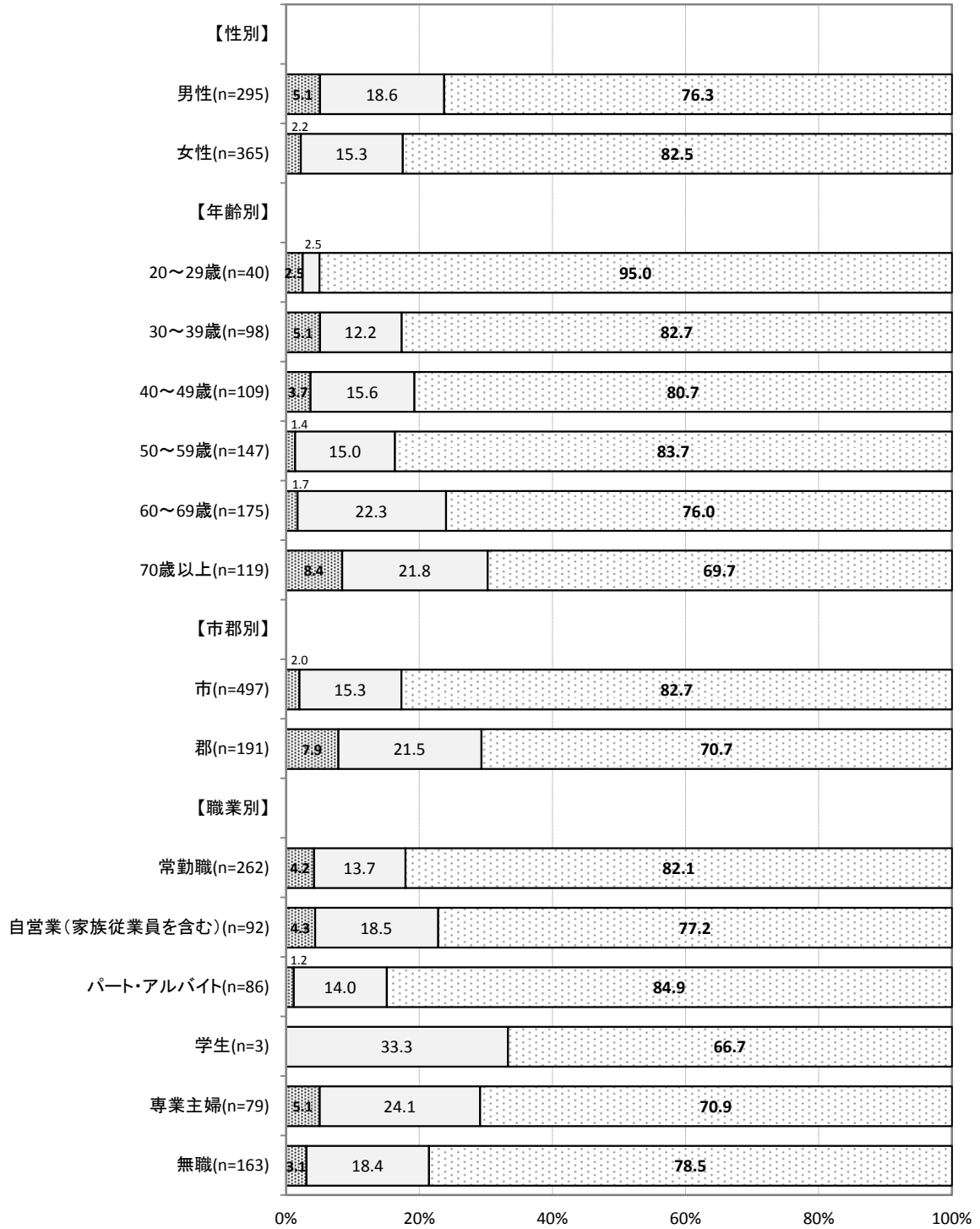
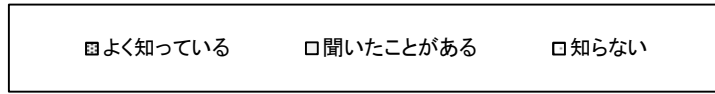
【クロス分析】

- 性別で見ると、大きな差異は見られない。
- 年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにつれて「知らない」の割合が低くなっている。
- 市郡別で見ると、『郡部』では『市部』と比較して「よく知っている」、「聞いたことがある」の割合が高い。
- 職業別で見ると、『学生』、『専業主婦』では他の職業と比較して「よく知っている」の割合が高い。

問32 ①「総合型地域スポーツクラブ」の取組を知っているか

× 性別+年齢+居住地+職業

N = 689 (1つ〇印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

【①で「1. よく知っている」、「2. 聞いたことがある」と回答した人にお伺いします。】

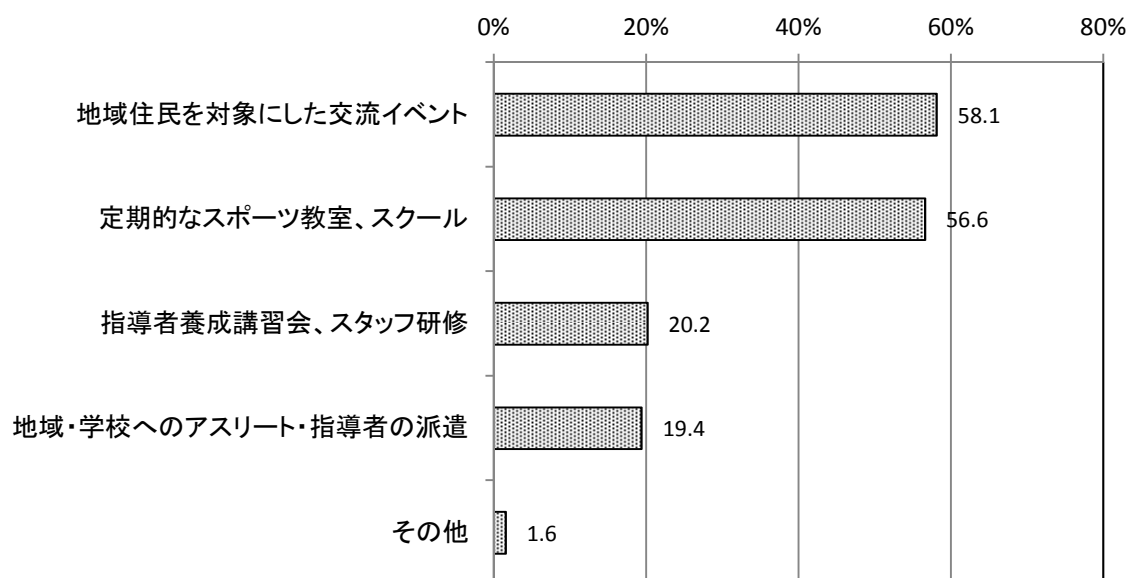
② 総合型地域スポーツクラブに期待する取組は何ですか。(いくつでも○印)

～地域住民を対象とした交流イベント、定期的なスポーツ教室、スクールの開催を期待～

総合型地域スポーツクラブに期待する取組について、「地域住民を対象にした交流イベント」と挙げた者の割合が58.1%と最も多く、以下「定期的なスポーツ教室、スクール」(56.6%)、「指導者養成講習会、スタッフ研修」(20.2%)、「地域・学校へのアスリート・指導者の派遣」(19.4%)などと続いている。

問32 ②「総合型地域スポーツクラブ」に期待する取組

N=129



【クロス分析】

○性別で見ると、『男性』は『女性』と比較して「指導者養成講習会、スタッフ研修」、「地域・学校へのアスリート・指導者の派遣」の割合が高い。

○年齢別で見ると、『30～39歳』で「指導者養成講習会、スタッフ研修」の割合が、『40～49歳』で「定期的なスポーツ教室、スクール」の割合が、『50～59歳』で「地域・学校へのアスリート・指導者の派遣」の割合が、『60～69歳』で「地域住民を対象にした交流イベント」の割合がそれぞれ高い。

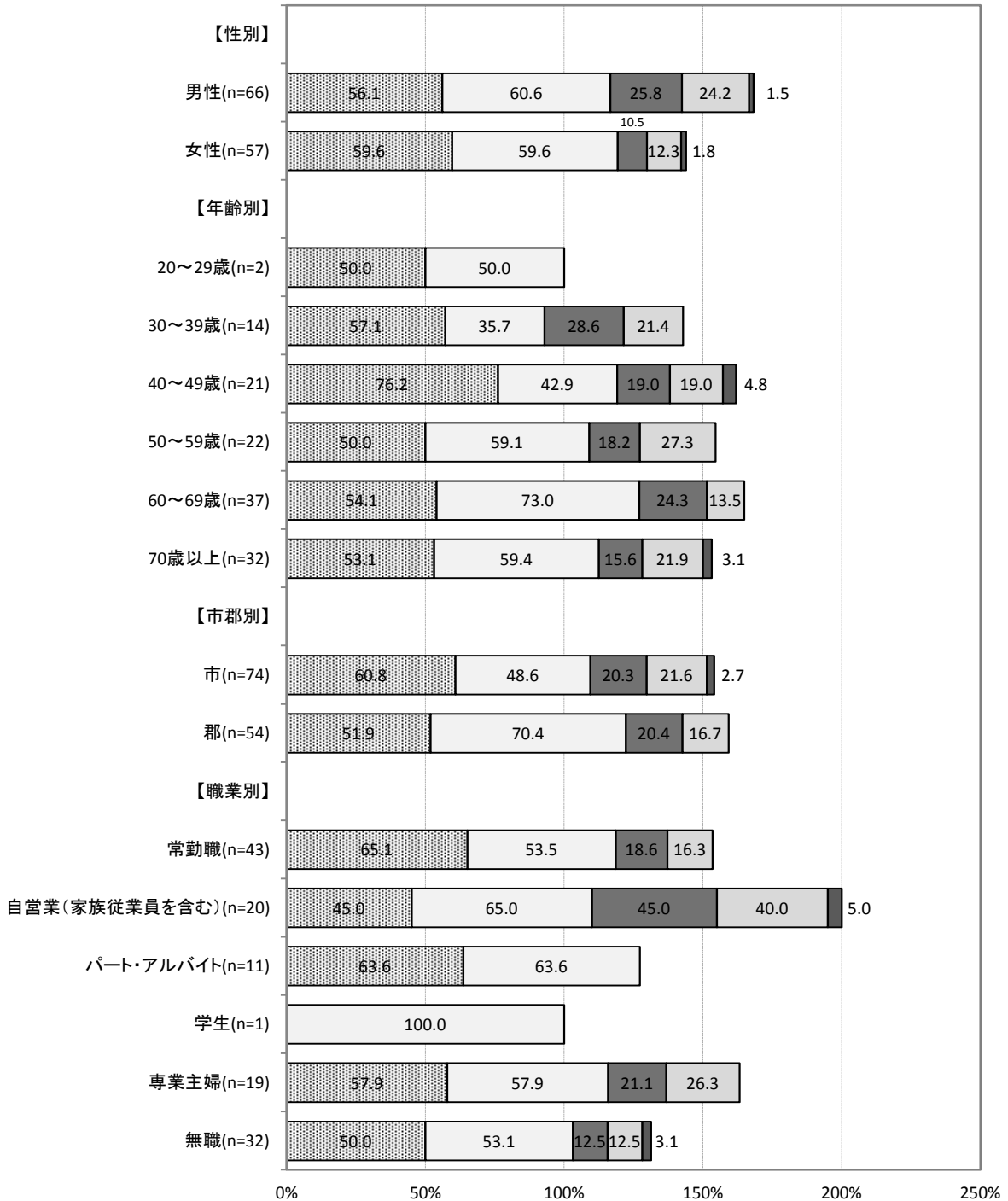
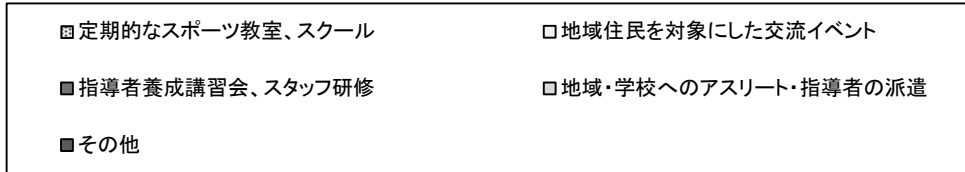
○市郡別で見ると、『市部』では「定期的なスポーツ教室、スクール」の割合が、『郡部』では「地域住民を対象にした交流イベント」の割合がそれぞれ高い。

○職業別で見ると、『常勤職』、『パート・アルバイト』で「定期的なスポーツ教室、スクール」の割合が、『自営業』で「地域住民を対象にした交流イベント」、「指導者養成講習会、スタッフ研修」、「地域・学校へのアスリート・指導者の派遣」の割合がそれぞれ高い。

問32 ②「総合型地域スポーツクラブ」に期待する取組

× 性別+年齢+居住地+職業

N = 129 (いくつでも○印)



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

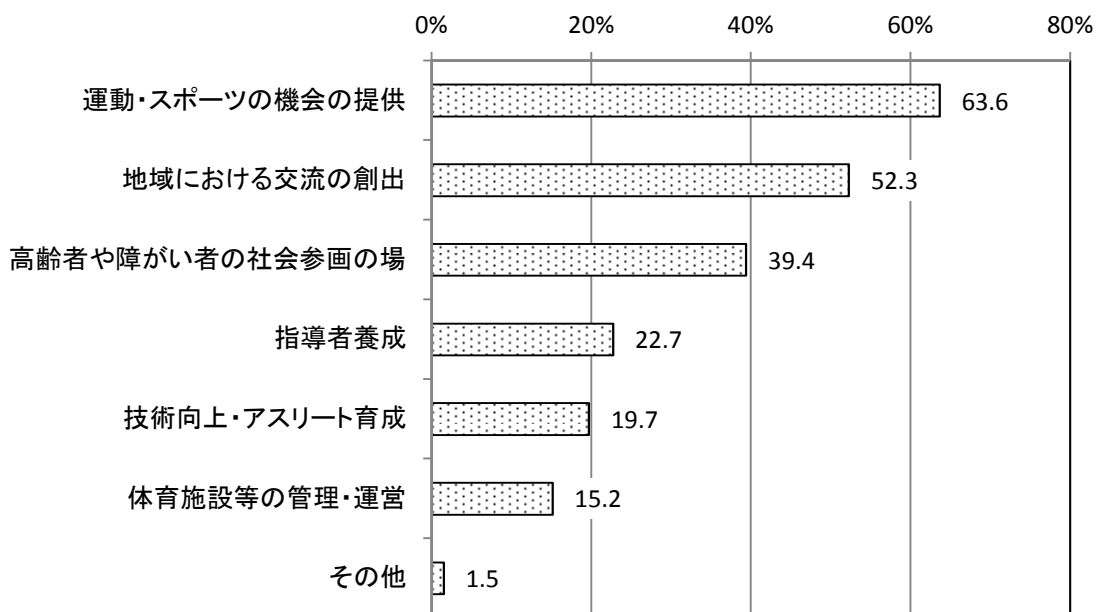
【①で「1. よく知っている」、「2. 聞いたことがある」と回答した人にお伺いします。】

③ 総合型地域スポーツクラブにどのような役割を期待しますか。(いくつでも○印)
～運動やスポーツを行う機会の提供や地域交流創出を期待～

総合型地域スポーツクラブに期待する役割について、「運動・スポーツの機会の提供」と挙げた者の割合が63.6%と最も多く、以下「地域における交流の創出」(52.3%)、「高齢者や障がい者の社会参画の場」(39.4%)、「指導者養成」(22.7%)などと続いている。

問32 ③「総合型地域スポーツクラブ」に期待する役割

N=132



【クロス分析】

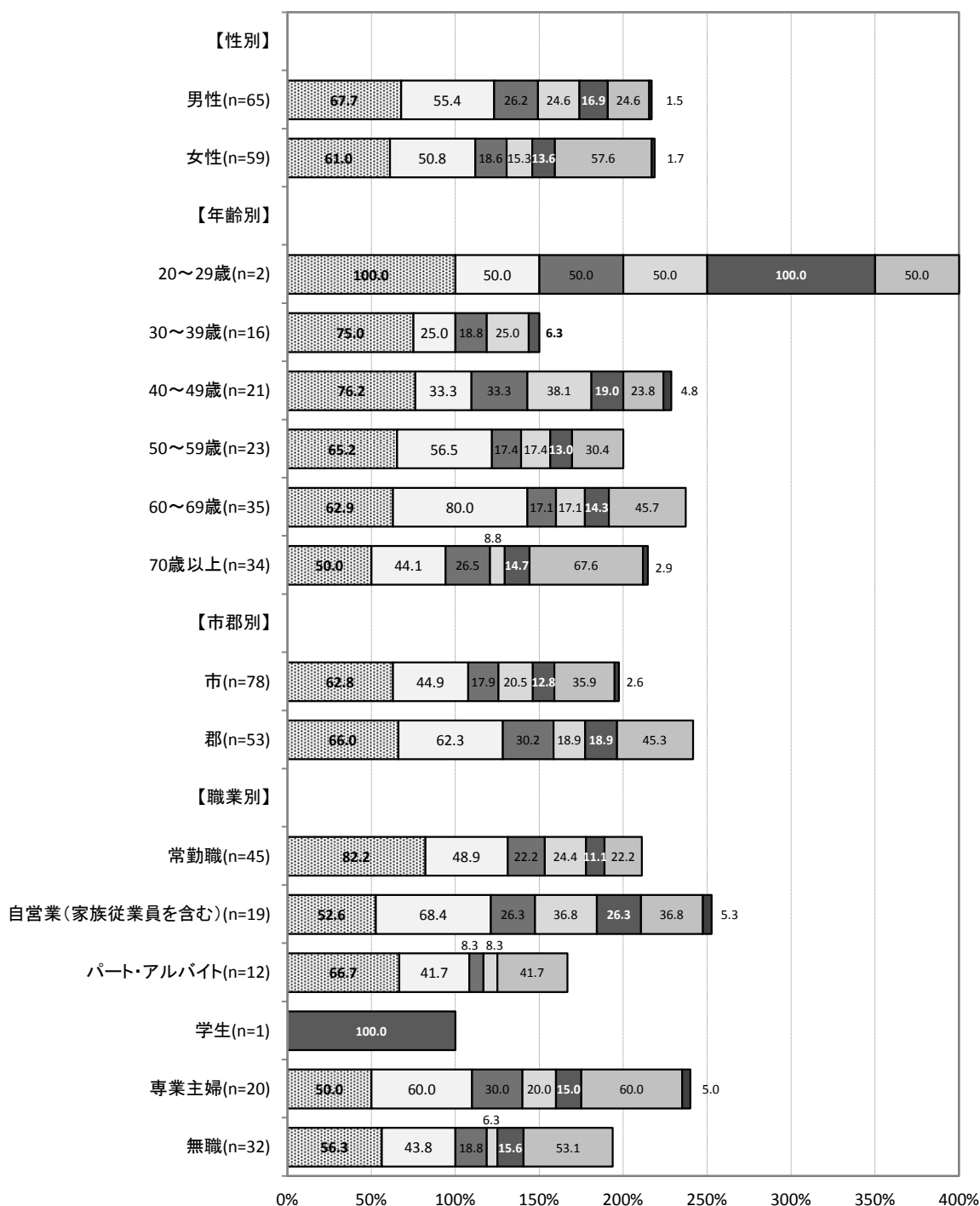
- 性別で見ると、『女性』は『男性』と比較して「高齢者や障がい者の社会参画の場」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにつれて「運動・スポーツの機会の提供」の割合が低くなっている。『60～69歳』で「地域における交流の創出」の割合が、『70歳以上』で「高齢者や障がい者の社会参画の場」割合がそれぞれ高い。
- 市郡別で見ると、『郡部』では『市部』と比較して「地域における交流の創出」、「指導者養成」、「高齢者や障がい者の社会参画の場」の割合が高い。
- 職業別で見ると、『常勤職』で「運動・スポーツの機会の提供」の割合が、『自営業』、『専業主婦』で「地域における交流の創出」の割合が、『専業主婦』、『無職』で「高齢者や障がい者の社会参画の場」の割合がそれぞれ高い。

問32 ③「総合型地域スポーツクラブ」に期待する役割

× 性別+年齢+居住地+職業

N = 132 (いくつでも○印)

- | | | |
|----------------|---------------|-------------------|
| ☐ 運動・スポーツ機会の提供 | ☐ 地域における交流の創出 | ■ 指導者養成 |
| ☐ 技術向上・アスリート育成 | ■ 体育施設等の管理・運営 | ☐ 高齢者や障がい者の社会参画の場 |
| ■ その他 | | |

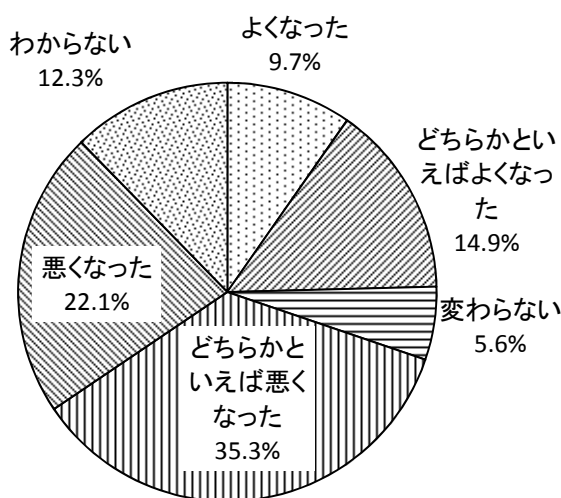


(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問33. ① あなたは、ご自身の子どもの頃と比較して、今の子どものスポーツや外遊びの環境はどのようになったと感じますか。(一つ〇印)
 ～昔と比べて遊びやスポーツの環境が「悪くなった」が5割以上～

今の子どものスポーツや外遊びの環境の変化について、「よくなった」と回答した者の割合が24.6%（「よくなった」9.7%、+「どちらかといえばよくなった」14.9%）となっている。一方「悪くなった」と回答した者の割合が57.4%（「悪くなった」22.1%、+「どちらかといえば悪くなった」35.3%）となっている。

問33 ①子どものスポーツや外遊びの環境変化
 N=691



【クロス分析】

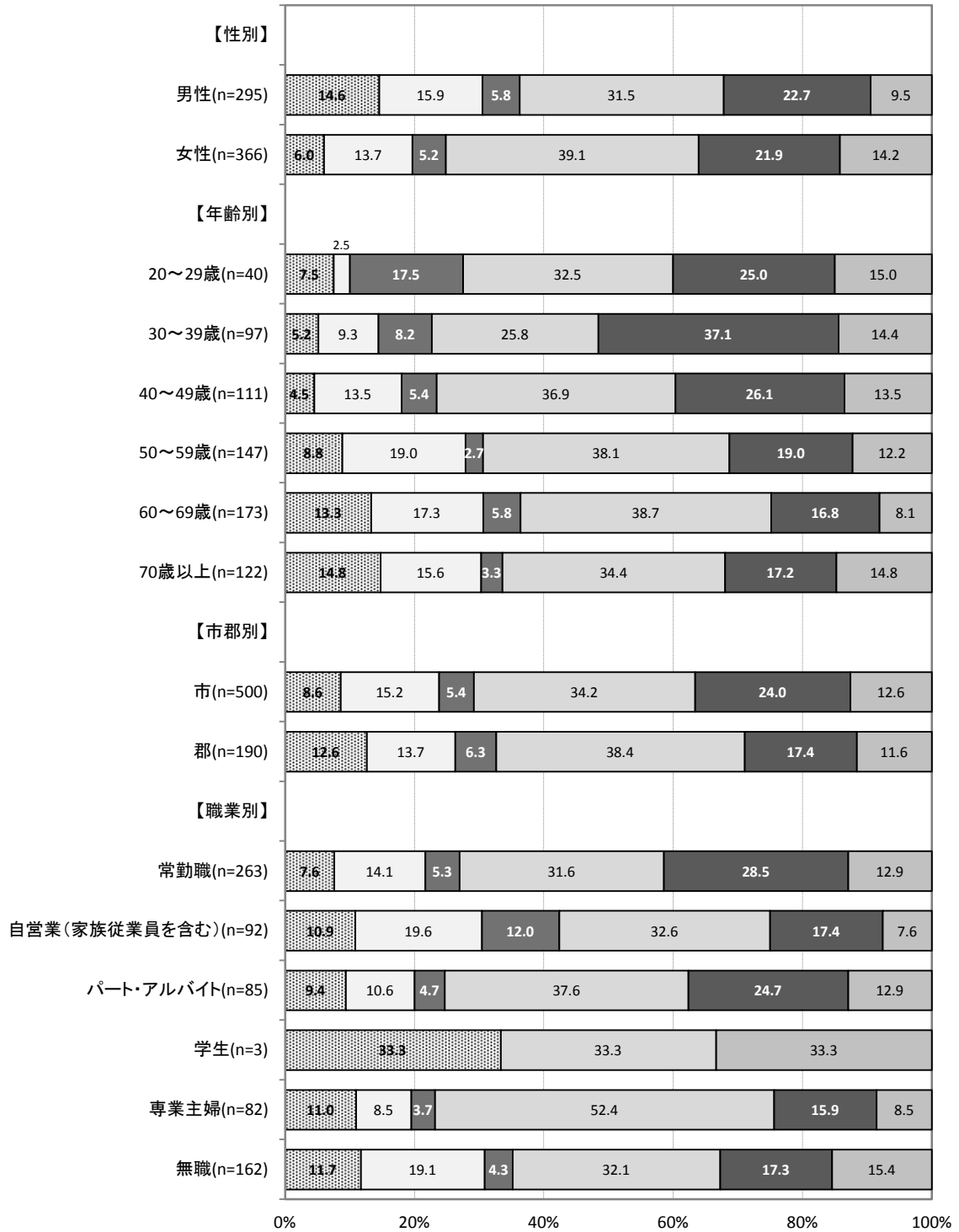
- 性別で見ると、『男性』は「よくなった」の割合が、『女性』は「悪くなった」の割合がそれぞれ高い。
- 年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにつれて「よくなった」の割合が高くなっている。
- 市郡別で見ると、大きな差異は見られない。
- 職業別では、『自営業』、『無職』で「よくなった」の割合が、『常勤職』、『パート・アルバイト』、『専業主婦』で「悪くなった」の割合がそれぞれ高い。

問33 ①子どものスポーツや外遊びの環境の変化

× 性別+年齢+居住地+職業

N = 691

よくなった
 どちらかといえばよくなった
 変わらない
 どちらかといえば悪くなった
 悪くなった
 わからない



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

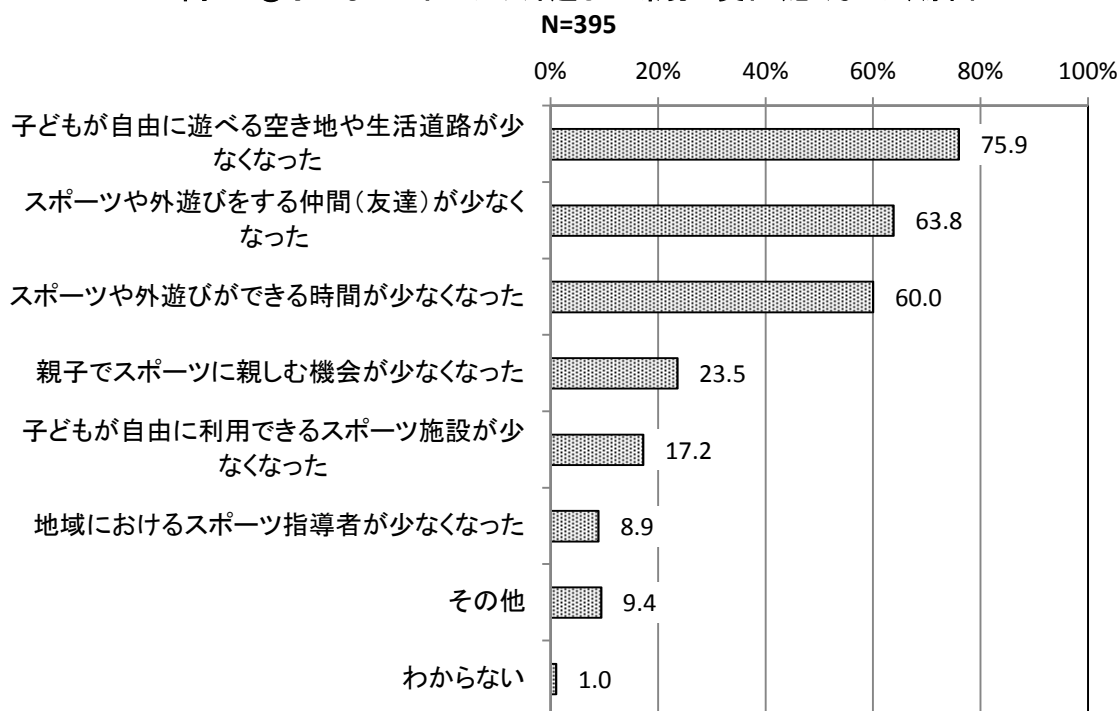
(①で「4. どちらかといえば悪くなった」「5. 悪くなった」と答えた方にお伺いします。)

②環境がわるくなった点はどのようなところですか。(いくつでも○印)

～「場所」「仲間」「時間」が少なくなった～

今の子どものスポーツや外遊びの環境が悪くなった点について、「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」と挙げた者の割合が75.9%と最も多く、以下「スポーツや外遊びをする仲間(友達)が少なくなった」(63.8%)、「スポーツや外遊びができる時間が少なくなった」(60.0%)、「親子でスポーツに親しむ機会が少なくなった」(23.5%)などと続いている。

問33 ②子どものスポーツや外遊びの環境の変化(悪くなった)原因



【クロス分析】

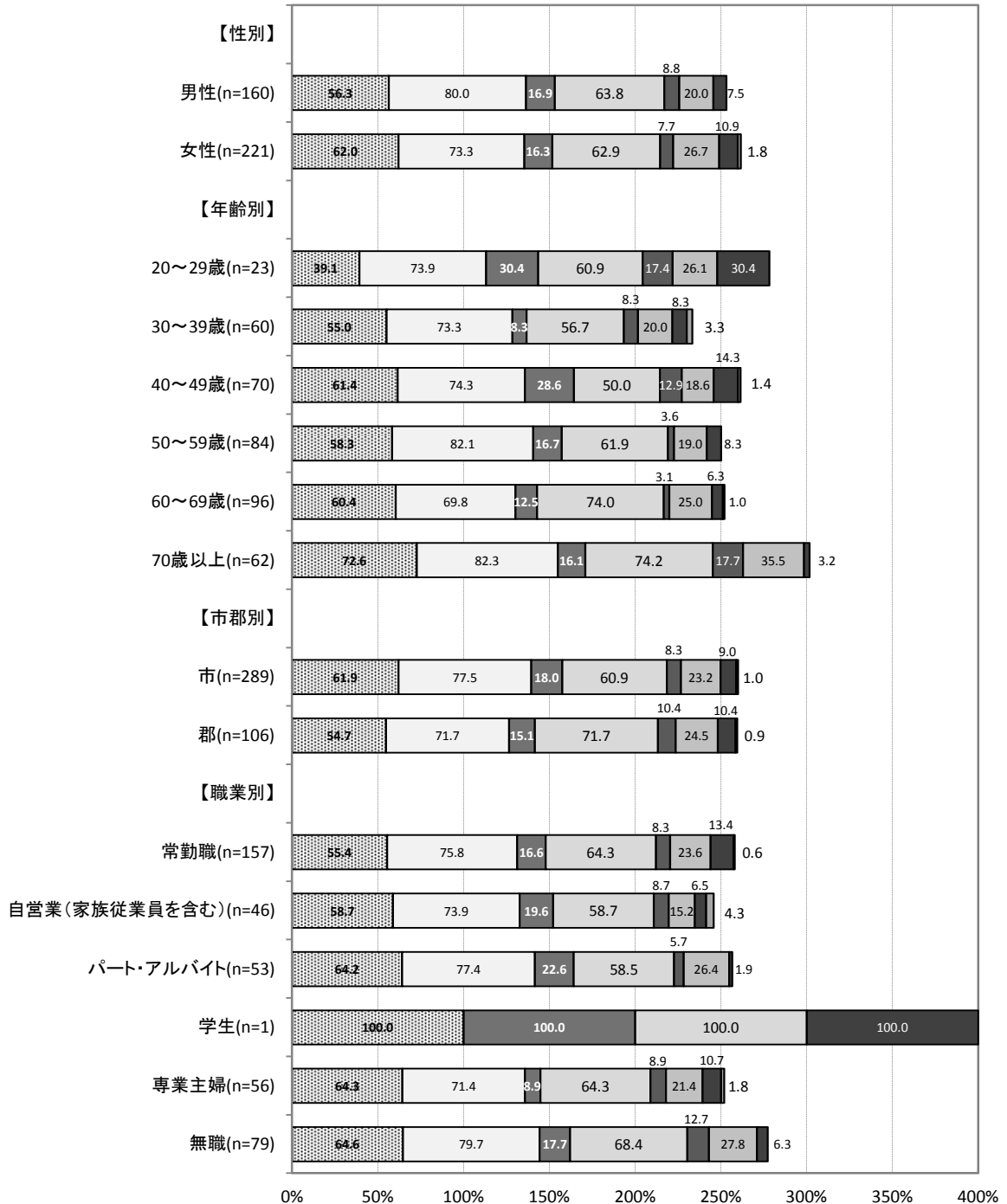
- 性別で見ると、『男性』は「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」の割合が、『女性』は「スポーツや外遊びができる時間が少なくなった」、「親子でスポーツに親しむ機会が少なくなった」の割合がそれぞれ高い。
- 年齢別で見ると、全ての年齢層で「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」の割合が高いが、特に『70歳以上』では最も高く、8割以上となっている。また、『60歳以上』で「スポーツや外遊びをする仲間(友達)が少なくなった」の割合が高い。
- 市郡別で見ると、『市部』では「スポーツや外遊びができる時間が少なくなった」、「子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった」の割合が、『郡部』では「スポーツや外遊びをする仲間(友達)が少なくなった」の割合がそれぞれ高い。
- 職業別に見ると、大きな差異は見られない。

問33 ②子どものスポーツや外遊びの環境の変化:悪くなった原因

× 性別+年齢+居住地+職業

N = 395

- | | | |
|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| ■ スポーツや外遊びができる時間が少なくなった | □ 子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった | ■ 子どもが自由に利用できるスポーツ施設が少なくなった |
| □ スポーツや外遊びをする仲間(友達)が少なくなった | ■ 地域におけるスポーツ指導者が少なくなった | □ 親子でスポーツに親しむ機会が少なくなった |
| ■ その他 | □ わからない | |



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

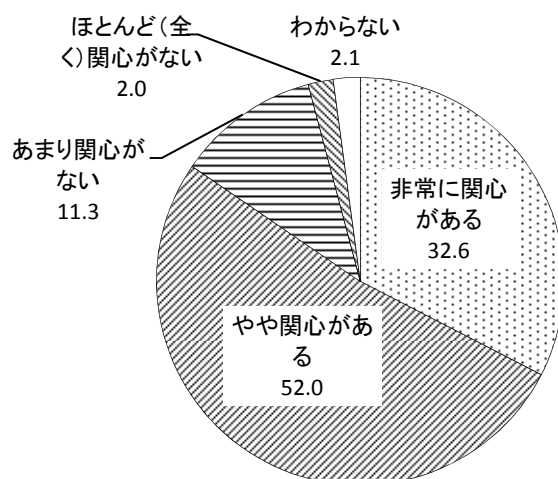
問34. あなたはオリンピック・パラリンピック競技大会やサッカー、テニスなどのスポーツの国際大会での日本選手の活躍にどのくらい関心を持っていますか。
(一つ〇印)

～日本選手の活躍に関心がある人が8割以上～

オリンピック・パラリンピック競技大会やスポーツの国際大会での日本選手の活躍について、「関心がある」と回答した者の割合が84.6%（「非常に関心がある」32.6%、+「やや関心がある」52.0%）となっている。一方、「関心がない」と回答した者の割合が13.3%（「ほとんど（全く）関心がない」2.0%、+「あまり関心がない」11.3%）となっている。

問34 国際大会での日本選手の活躍への関心

N = 706

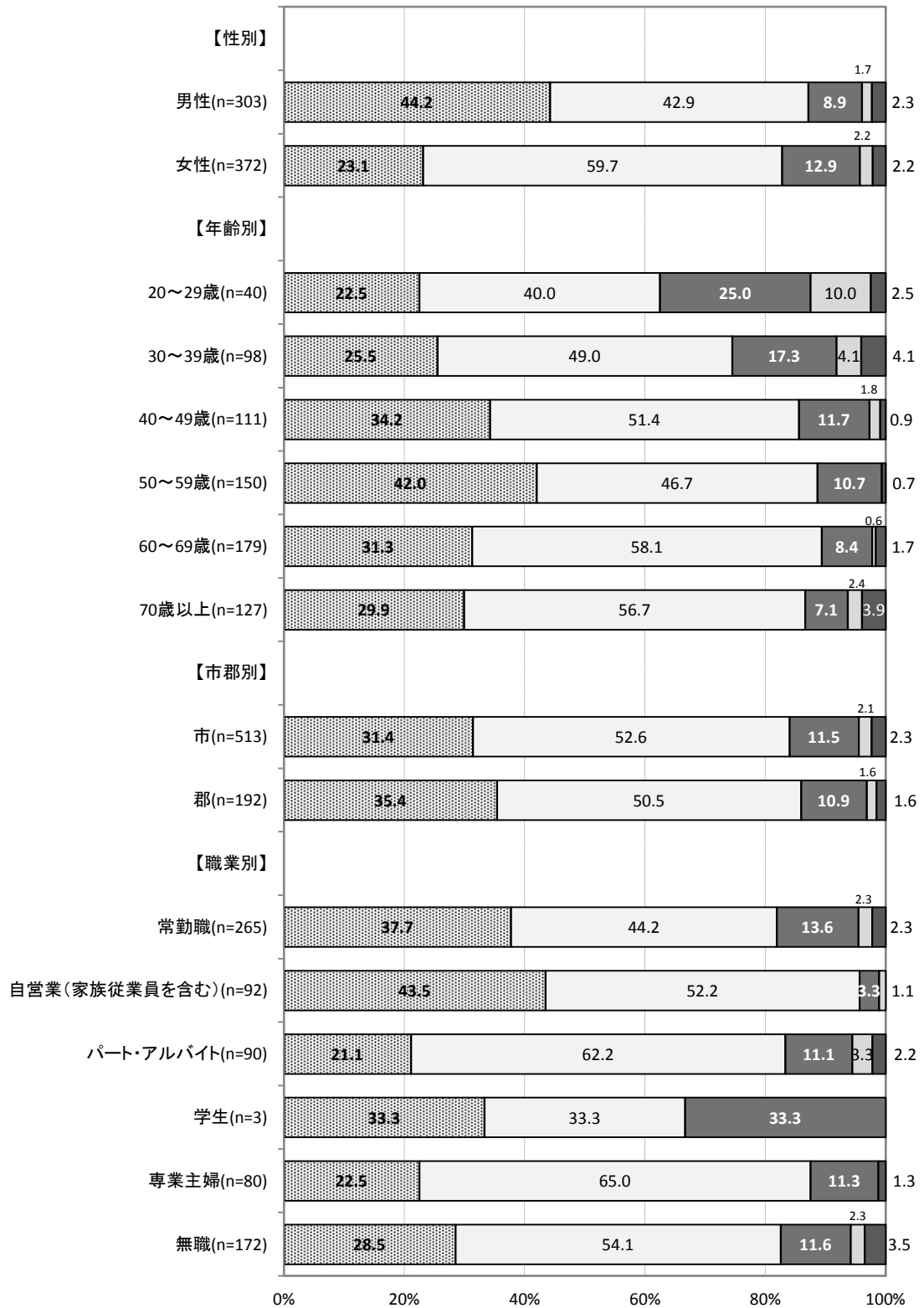


【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』が『女性』と比較して、「非常に関心がある」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、概ね年齢が高くなるにつれて「関心がある」の割合が高くなっている。
- 市郡別で見ると、大きな差異は見られない。
- 職業別で見ると、全ての職業で「関心がある」の割合が高いが、特に『自営業』では最も高く、9割以上となっている。

問34 国際大会での日本選手の活躍への関心 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 706

非常に関心がある
 やや関心がある
 あまり関心がない
 ほとんど(全く)関心がない
 わからない



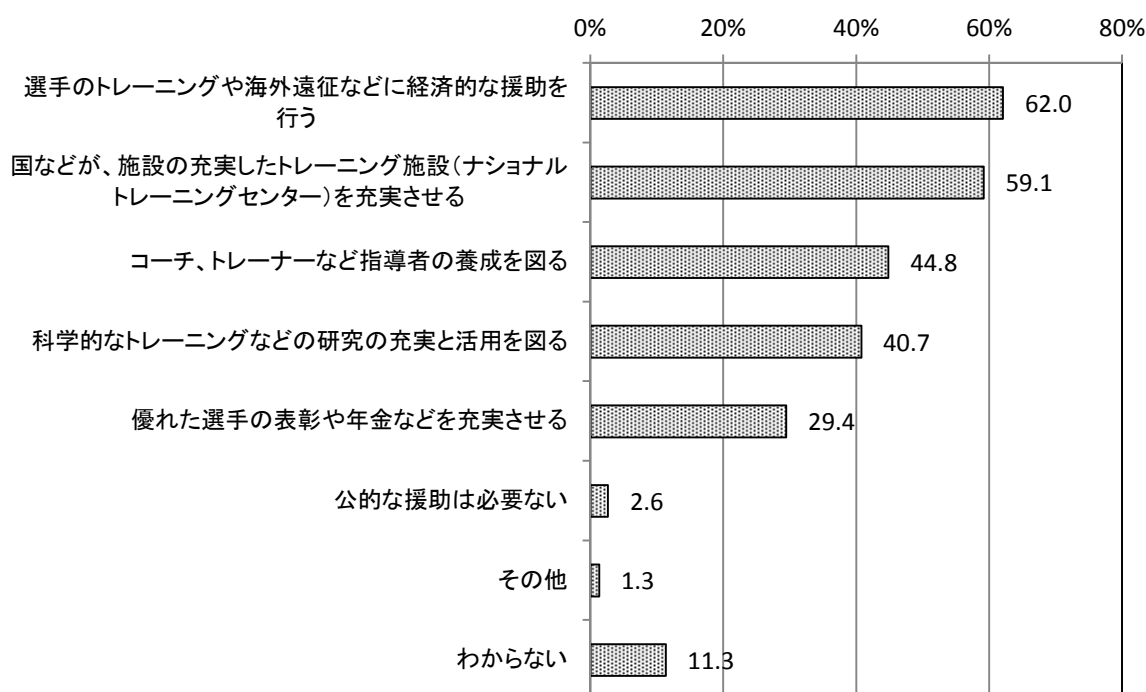
(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問35. あなたは、日本選手がオリンピック・パラリンピック競技大会などで活躍するためには、どのような公的援助が必要だと思いますか。(いくつでも○印)
～選手の練習や遠征に係る経済的援助、トレーニング施設の充実が必要～

日本選手がオリンピック・パラリンピック競技大会などで活躍するための支援策について、「選手のトレーニングや海外遠征などに経済的な援助を行う」と挙げた者の割合が62.0%と最も多く、以下「国などが、施設の充実したトレーニング施設(ナショナルトレーニングセンター)を充実させる」(59.1%)、「コーチ、トレーナーなど指導者の養成を図る」(44.8%)、「科学的なトレーニングなどの研究の充実と活用を図る」(40.7%)などと続いている。

問35 日本選手への必要な公的援助

N=690

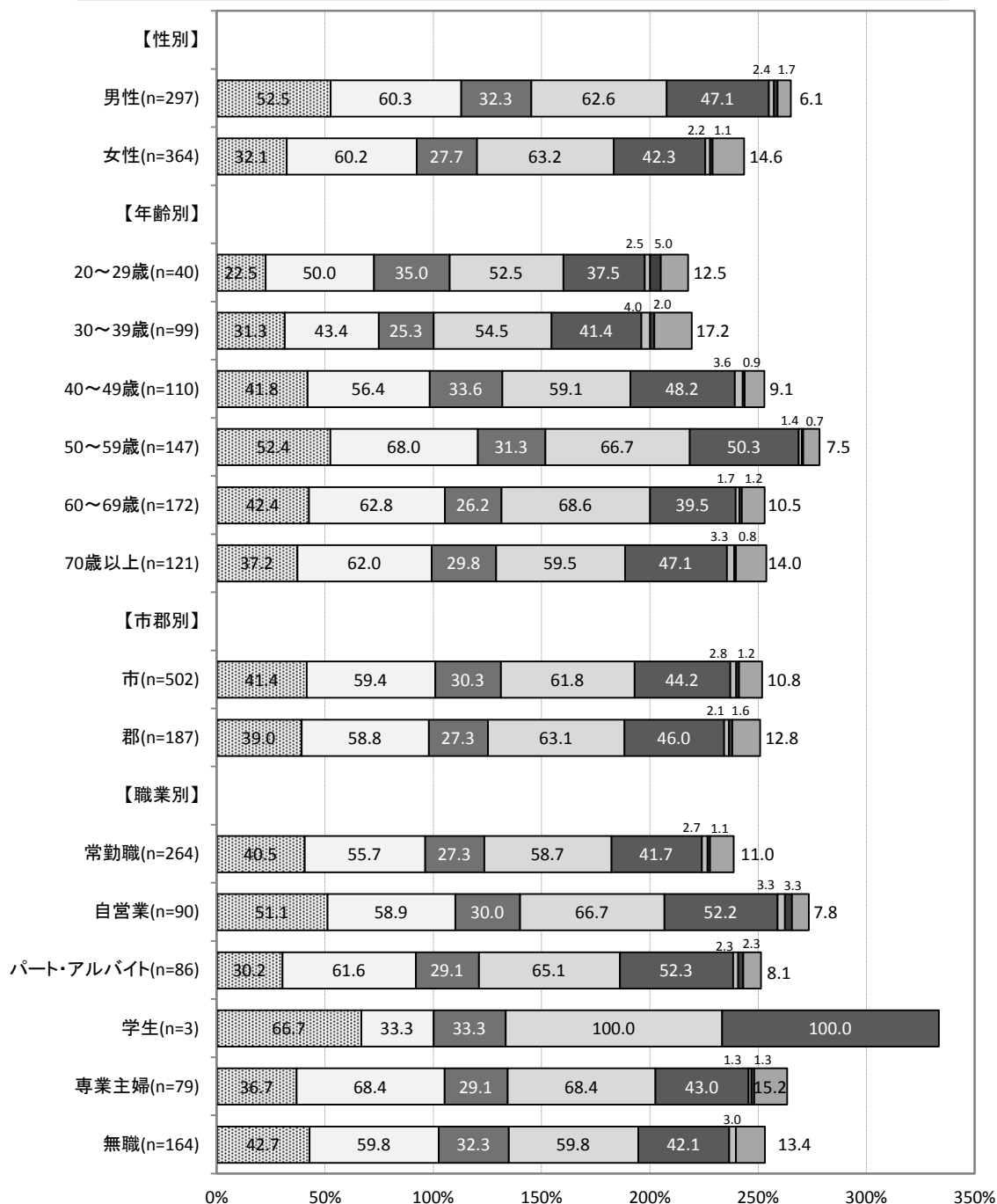


【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』と比較して「科学的なトレーニングなどの研究の充実と活用を図る」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、『50～59歳』で「国などが、施設の充実したトレーニング施設(ナショナルトレーニングセンター)を充実させる」、「コーチ、トレーナーなど指導者の養成を図る」の割合が高い。
- 市郡別で見ると、大きな差異は見られない。
- 職業別で見ると、全ての職業で「選手のトレーニングや海外遠征などに経済的な援助を行う」の割合が最も高い。

問35 日本選手への必要な公的援助 × 性別+年齢+居住地+職業
N = 690

- 科学的なトレーニングなどの研究の充実と活用を図る
- 優れた選手の表彰や年金などを充実させる
- コーチ、トレーナーなど指導者の養成を図る
- その他
- 国などが、施設の充実したトレーニング施設（ナショナルトレーニングセンター）を充実させる
- 選手のトレーニングや海外遠征などに経済的な援助を行う
- 公的な援助は必要ない
- わからない

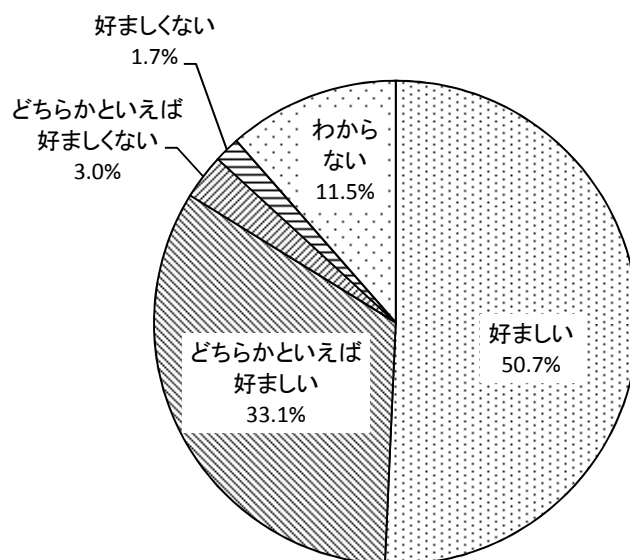


(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問36. あなたは、オリンピック・パラリンピック競技大会や世界選手権大会などの国際大会を我が国で開催することについてどう思いますか。(一つ〇印)
 ～日本での国際大会開催を8割以上が「好ましい」と歓迎～

オリンピック・パラリンピック競技大会や世界選手権大会などの国際大会の国内開催について、「好ましい」と回答した者の割合が83.8%（「好ましい」50.7%、+「どちらかといえば好ましい」33.1%）となっている。一方、「好ましくない」と回答した者の割合が4.7%（「好ましくない」1.7%、+「どちらかといえば好ましくない」3.0%）となっている。

問36 日本での国際大会の開催について
 N=698

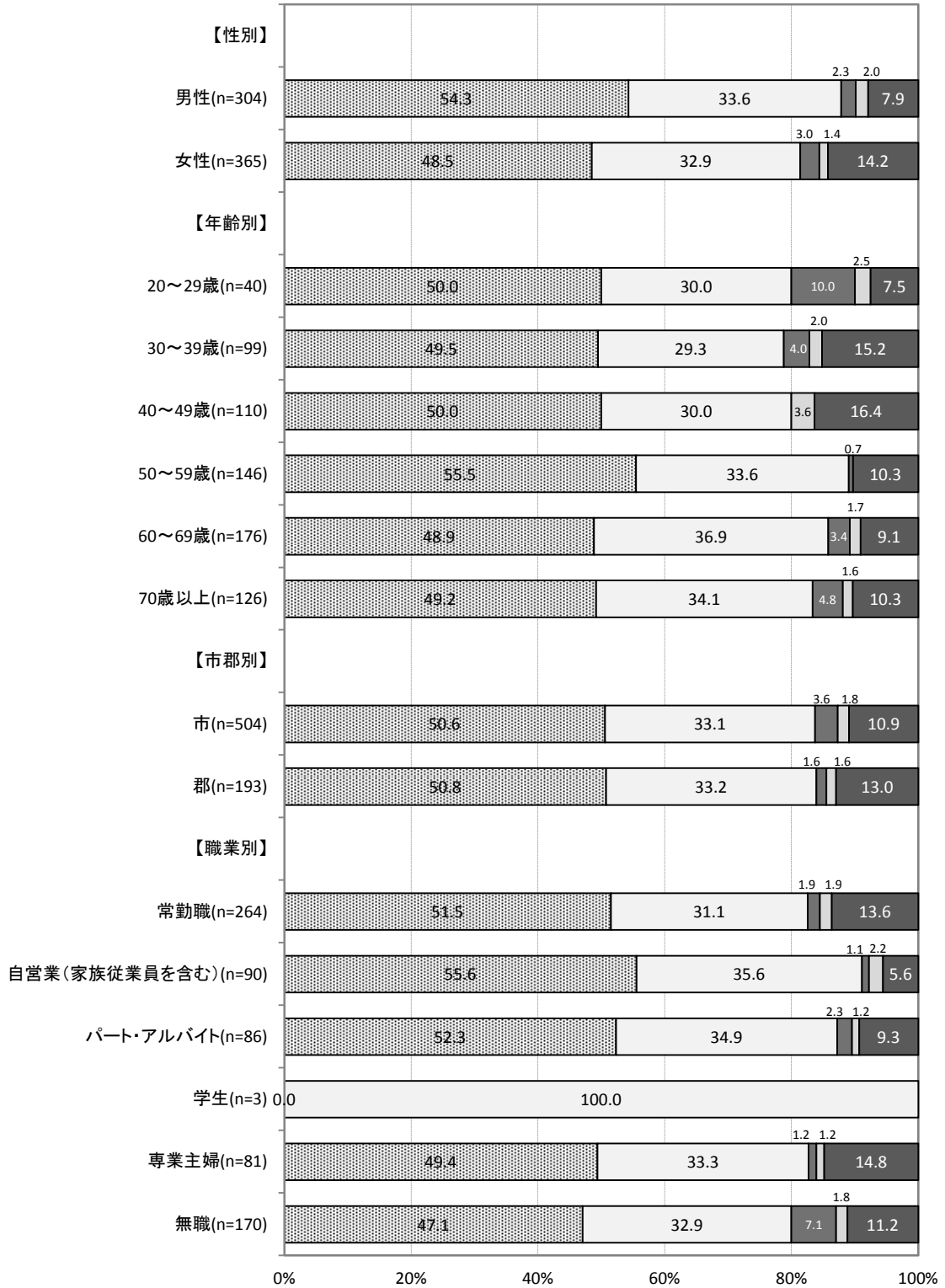


【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』は『女性』と比較して「好ましい」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、全ての年齢層で「好ましい」の割合が高いが、特に『50～59歳』では最も高く約9割となっている。
- 市郡別で見ると、大きな差異は見られない。
- 職業別で見ると、全ての職業で「好ましい」の割合が高いが、特に『自営業』では最も高く9割以上となっている。

問36 日本での国際大会の開催について × 性別+年齢+居住地+職業
N = 698

好ましい
 どちらかといえば好ましい
 どちらかといえば好ましくない
 好ましくない
 わからない



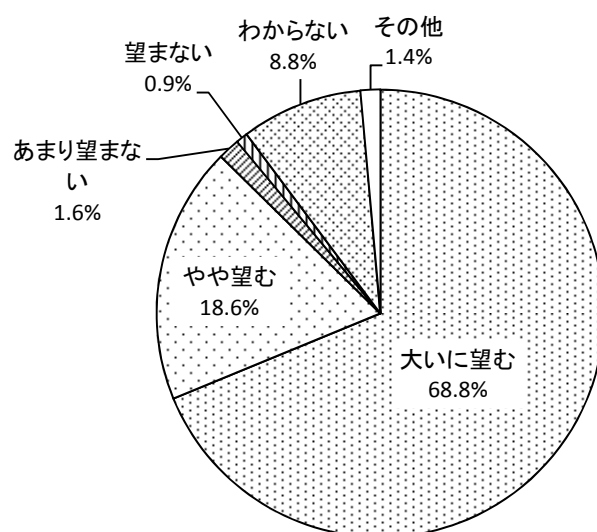
(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問37. あなたは2020年東京オリンピック、パラリンピックに鳥取県から代表選手、コーチが出場することを望みますか。(一つ〇印)

～鳥取県から代表選手、コーチが出場することを約9割が「望む」～

2020年東京オリンピック・パラリンピックに鳥取県出身者が出場することについて、「望む」と回答した者の割合が87.4%（「大いに望む」68.8%、+「やや望む」18.6%）となっている。一方、「望まない」と回答した者の割合は2.5%（「望まない」0.9%、+「あまり望まない」1.6%）となっている。

問37 東京オリンピック・パラリンピックに
鳥取県出身の選手の出場を望むか
N=705

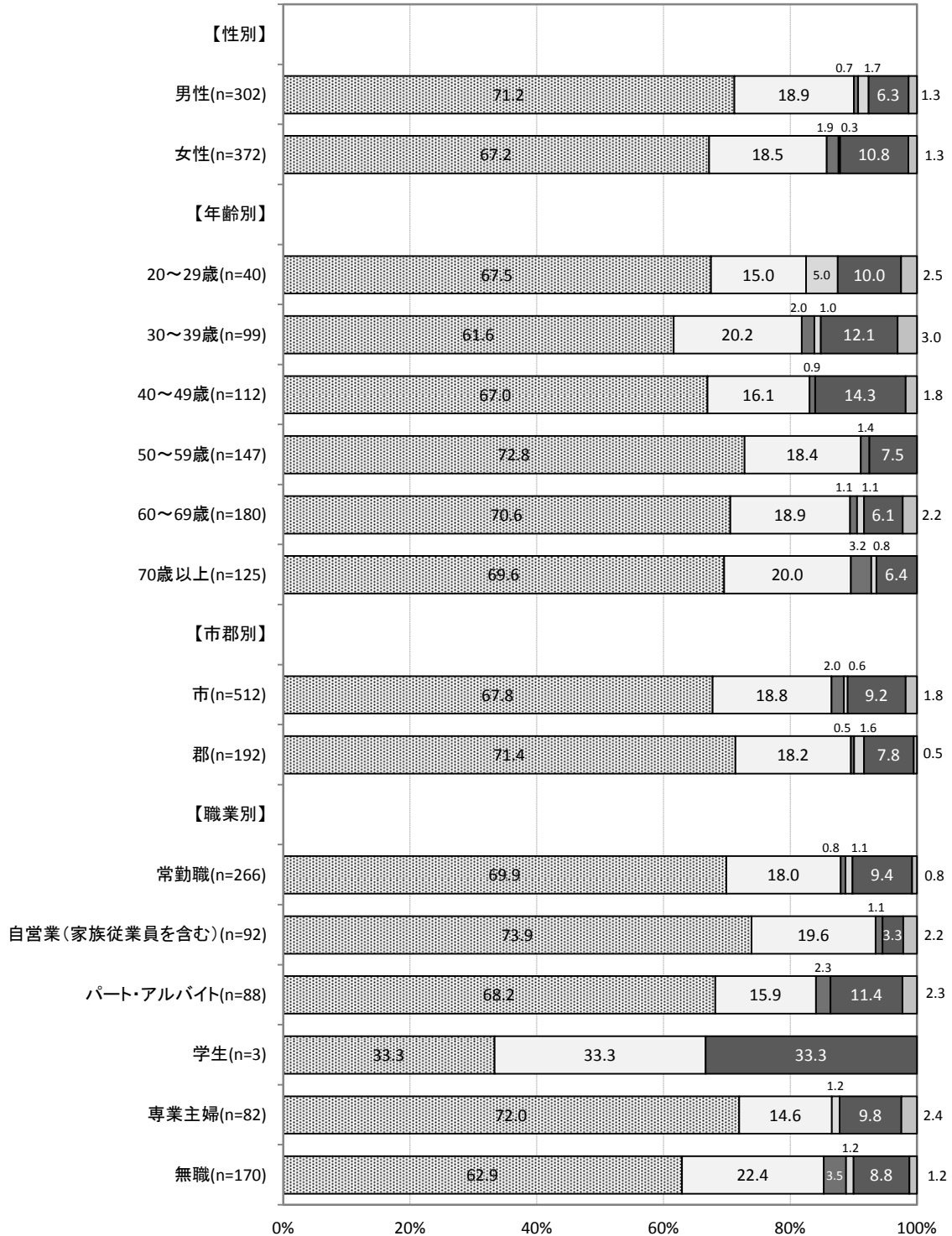


【クロス分析】

- 性別で見ると、大きな差異は見られない。
- 年齢別で見ると、全ての年齢層で「望む」の割合が高いが、特に『50～59歳』では最も高く9割以上となっている。
- 市郡別では、大きな差異は見られない。
- 職業別では、全ての職業で「望む」の割合が高いが、特に『自営業』では最も高く9割以上となっている。

問37 東京オリンピック・パラリンピックに鳥取県出身の選手、コーチの出場を望むか
 × 性別+年齢+居住地+職業
 N = 705

大いに望む
 やや望む
 あまり望まない
 望まない
 わからない
 その他



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません。

問38. 2020年東京オリンピック・パラリンピックに鳥取県出身者が出場する場合、どのような支援が必要だと思いますか。

～「資金的支援が必要」が多数～

自由記載中の主な分類とその内容（抜粋）

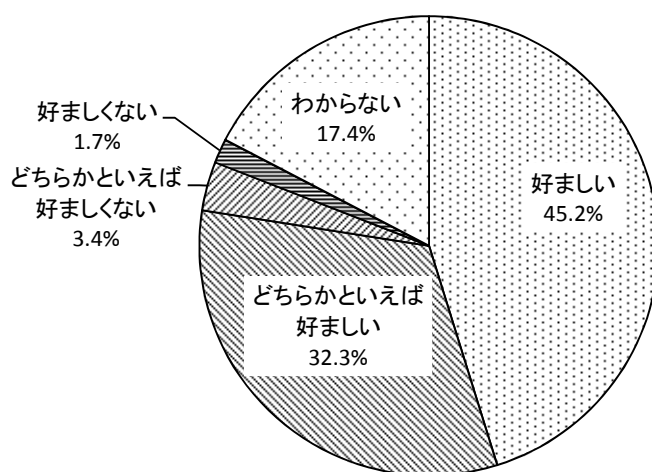
資金支援	具体的な内容（192件）
	各市町村別に寄付を集め援助してあげたらいいと思います。能力のある方が出場するのに資金がなければ諦める方もあると思いますので、一人一人が少しでも援助してあげればよいと思います。
	海外遠征、経済的援助。
	経済的な援助・会社の休みなども含む。（交通費、宿泊費など、諸費用がかかることで参加を辞退する選手も少ないと思う）
	経済的に援助してスポーツに没頭できるように望みます。
	交通費、宿泊費、食費などの経費の一部。いろいろな手助けをする人員。賞をとった時の賞金等。
	選手のトレーニングの為の経済的な援助などを充実させる。
	鳥取では活躍する場所がないので、地元に戻省して子ども達に指導をお願いする為に、費用を負担する。
施設整備	具体的な内容（27件）
	国などが設備の充実したトレーニング施設を充実させる。
	施設が通常的に使用できる事。公的資金の援助など。
	施設の充実、支援金、時間などの充実。
	選手向上のため施設開放、トレーナーによる選手の強化。
	施設の充実もだが精神的な心のケアが必要。夢に向かって近づけるように。
	プールなど充実したトレーニング施設があったらいいと思います。たくさん練習できる場所。
コーチ・指導者育成	具体的な内容（17件）
	指導者の育成及び選手の強化費の増額。高校の指導者を異動させない。（短期間で）
	指導者の充実、及び行政が積極的に支援する。
	優れたコーチやトレーナーを付ける。職場での仕事を免除する。遠征費などの経済的援助。
	優れた選手を沢山支援。その為にはコーチ、トレーナーなどの指導者の養成を図る。
	長期的な支援、地方による指導者、施設の不足を補えるような援助。
	一流の指導者。
環境整備支援体制	具体的な内容（42件）
	いち早く才能を見抜き、良き指導者の受け入れ態勢を整える（他県より遅い感）。県民性として努力型なので、多くの刺激を与える（他県と）そしてその為の費用の援助。
	競技に集中できるよう、経済的な援助、食べ物、体のケア、メンタルのケアなど。

	<p>県がスポンサーとなって（これはいろいろ難しいのかも知れませんが）選手の金銭的負担を軽減させると同時に、その選手の種目に対する支援を通じて鳥取県をアピールする事ができたら良いと思います。若手選手の育成は大きなチャンスになるのでは？</p> <p>日常の仕事との両立できる体制。</p>
応援体制	<p>具体的な内容（ 37 件）</p>
	<p>県民、地域のオリンピック、パラリンピックを支援する意識が一番大切である。</p>
	<p>所属競技団体、国、県レベルでの連携のもと。地方色の強い応援団を得る。</p> <p>鳥取県総出で各選手の出身地ごとに後援会をつくり応援する。</p>
参加者の その後の 支援	<p>具体的な内容（ 42 件）</p>
	<p>オリンピック後の働き場所の仲介等。</p>
	<p>競技引退後の指導者としての受け皿、環境における支援。</p> <p>大会終了後の社会参画の素地作り（就労等）。</p>

問39. 2020年東京オリンピック・パラリンピックについて、各国代表選手団の合宿地を県内に誘致することについてどう思いますか。(一つ〇印)
 ～誘致は「好ましい」という意見が約8割～

2020年東京オリンピック・パラリンピックの各国代表選手団合宿地の県内誘致について、「好ましい」と回答した者の割合が77.5%（「好ましい」45.2%、+「どちらかといえば好ましい」32.3%）となっている。一方、「好ましくない」と回答した者の割合が5.1%（「好ましくない」1.7%、+「どちらかといえば好ましくない」3.4%）となっている。

問39 東京オリンピック・パラリンピック合宿地の県内誘致について
 N=697

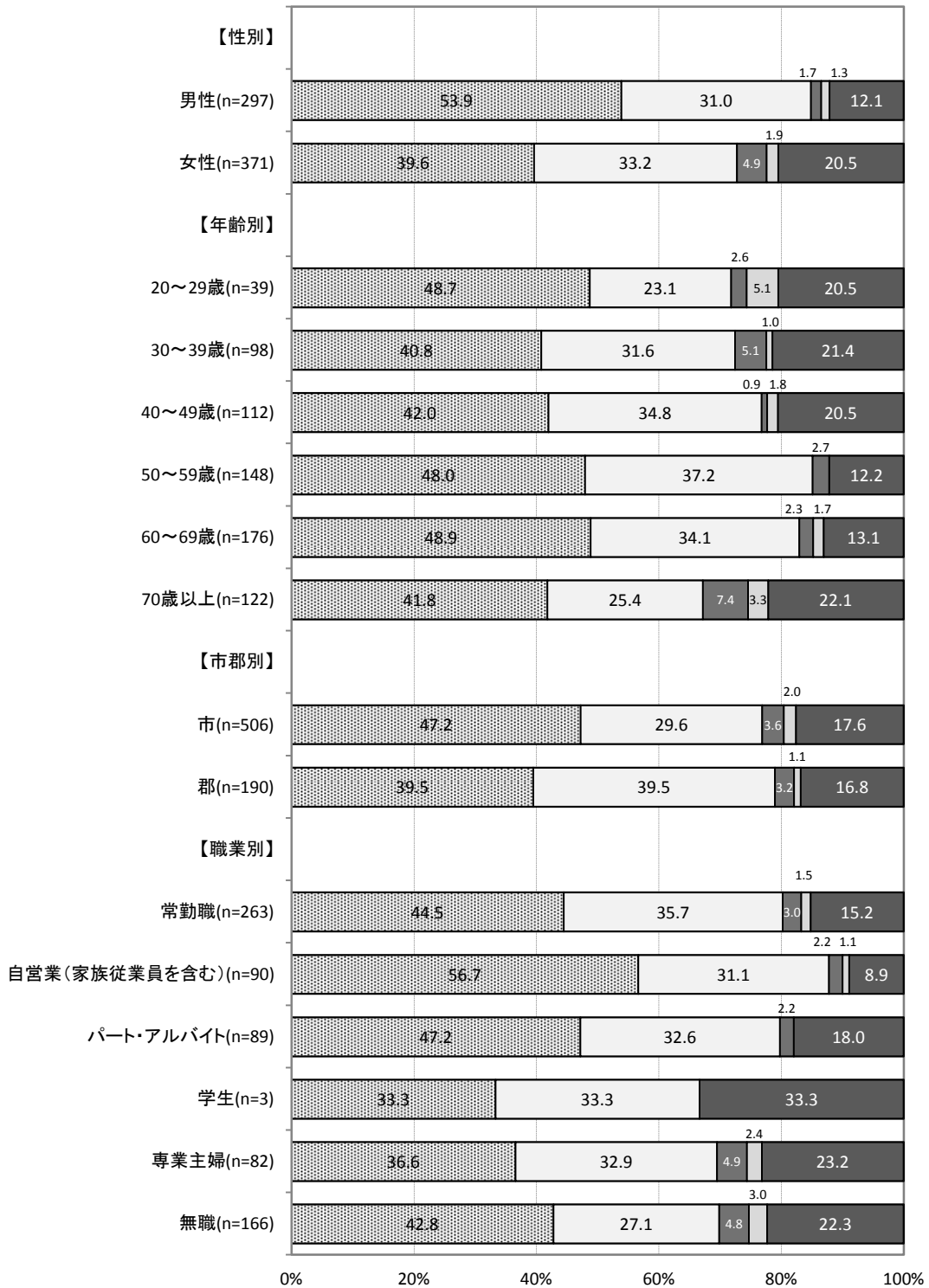


【クロス分析】

- 性別で見ると、『男性』が『女性』と比較して「好ましい」の割合が高い。
- 年齢別で見ると、『50～59歳』で「好ましい」の割合が最も高く8割以上となっている。『70歳以上』では「好ましい」の割合が最も低く7割以下となっている。
- 市郡別で見ると、大きな差異は見られない。
- 職業別で見ると、『自営業』で「好ましい」の割合が最も高く約9割となっている。

問39 東京オリンピック・パラリンピック合宿地の県内誘致について
 × 性別+年齢+居住地+職業
 N = 697

■好ましい □どちらかといえば好ましい ▨どちらかといえば好ましくない □好ましくない ■わからない



(注)グラフには、属性が不明者のグラフ表示は掲載していません

(調査票)

平成26年度「県民の運動・スポーツに関する意識・実態調査」

問1. あなたの年齢の番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60～69歳 | 6. 70歳以上 |

問2. あなたの性別の番号に○をつけてください。

1. 男性 2. 女性

問3. あなたの居住地の番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|----------|
| 1. 鳥取市 | 2. 米子市 | 3. 倉吉市 | 4. 境港市 | 5. 岩美町 |
| 6. 八頭町 | 7. 若桜町 | 8. 智頭町 | 9. 湯梨浜町 | 10. 三朝町 |
| 11. 北栄町 | 12. 琴浦町 | 13. 南部町 | 14. 伯耆町 | 15. 日吉津村 |
| 16. 大山町 | 17. 日南町 | 18. 日野町 | 19. 江府町 | |

問4. あなたの職業の番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|------------------|--------------|
| 1. 常勤職 | 2. 自営業（家族従業者を含む） | 3. パート・アルバイト |
| 4. 学生 | 5. 専業主婦 | 6. 無職 |

< 健康に関する意識調査 >

問5. あなたは、このところ健康だと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|------------------|----------|
| 1. 健康である | 2. どちらかといえば健康である | |
| 3. どちらかといえば健康でない | 4. 健康でない | 5. わからない |

問6. あなたは、普段から健康を意識して運動やスポーツをするよう心がけていますか。

1. 心がけている 2. 心がけていない

問7. あなたは、健康であるためには、適度な運動やスポーツが必要だと思いますか。

1. 思う 2. あまり思わない 3. 思わない

問8. あなたは、日ごろ運動不足を感じていますか。

1. 感じている 2. 感じていない

問9. あなたは、日ごろ体力の衰えを感じていますか。

1. 感じている 2. 感じていない

<運動やスポーツの活動状況>

問10. あなたが主に行っている運動やスポーツ（競技や種目）とその理由についてお答えください。

- ① 別紙「運動・スポーツ種目一覧」を参考に主に行っている種目を3つ以内で種目番号（1～99）の中から記入ください。
 ② その種目を行っているのは、どんな理由からですか、下記から選んでお答えください。

ア. 心身の健康の維持・増進のため イ. 楽しい・好きだから ウ. 仲間との親睦のため
 エ. 家族の相手として オ. 試合に勝つ、上手になりたいため カ. その他（ ）

①【種目番号（1～99）】	②【理由（上のア～カ）】
1. ()	⇒ []
2. ()	⇒ []
3. ()	⇒ []

問11. 問10の運動やスポーツを行った日数を全部合わせると、一年間にどのくらいの割合で運動やスポーツを行いましたか。最も近いもの1つに○をつけてください。

1. 週に3日以上 2. 週に2日程度 3. 週に1日程度
 4. 月に1～2日程度 5. それ以下 6. 全くしていない

問12. 問11で「6. 全くしていない」と回答した人にお伺いします。あなたが運動やスポーツをしなかったのは、どのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 自由な時間がないから 2. 手軽にできる場所や施設がないから
 3. 健康や体力に不安を感じていないから 4. お金がかかるから
 5. 適当な仲間がないから 6. 適当な指導者がいないから
 7. 運動やスポーツの経験があまりないから 8. その他（ ）

問13. あなたはこの一年間に、運動やスポーツの行事や教室に参加したことがありますか。参加したものにすべてに○をつけてください。

1. 町内会、自治会、学校などが催した運動やスポーツ行事や教室
 2. 職場や通学している学校が催した運動やスポーツ行事や教室
 3. 県や市町村が催した運動やスポーツ行事や教室
 4. 公共スポーツ施設が催した運動やスポーツ行事や教室
 5. 民間のスポーツ施設が催した運動やスポーツ行事や教室
 6. 地域のスポーツクラブが催した運動やスポーツ行事や教室
 7. 何にも参加しなかった
 8. その他（ ）

問14. あなたが運動やスポーツを行うときに、利用する施設や場所はどれですか。利用するものすべてに○をつけてください。

1. 国・県・市町村の公共のスポーツ施設
 2. 小・中学校や高校が開放した運動場や体育館など
 3. 勤め先の職場や、企業、通学している学校の運動場や体育館など
 4. 民間のスポーツ施設 5. 自分の家や庭など
 6. 近所の空き地・公園・広場など 7. 山・川・海・湖沼など
 8. その他（ ）

問15. あなたは、現在、誰と運動やスポーツを行っていますか。あてはまるもの2つ以内に○をつけてください。

- | | | | | |
|---------------|-------------|---------------|-------------|-----------|
| 1. 自分一人 | 2. 家族 | 3. 職場の仲間 | 4. 近所や地域の仲間 | 5. 仲の良い仲間 |
| 6. クラブや同好会の仲間 | 7. 学校及びその仲間 | 8. 民間施設の会員制の人 | | |
| 9. その他() | | | | |

問16. クラブや同好会に入っている人にお伺いします。あなたが、そのクラブや同好会に入った動機は何ですか。最も強い動機1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 心身の健康の維持・増進のため | 2. 楽しい・好きだから |
| 3. 仲間との親睦のため | 4. 家族の相手として |
| 5. 試合に勝つ、上手になりたいため | 6. 友達や仲間から誘われたから |
| 7. その他() | |

問17. 日ごろ行っている運動を個人または親子や仲間、時間や場所などを工夫して行っている実践があれば記入してください。

例) 歩いて(ウォーキング)の買い物、昼休みを利用してウォーキング、徒歩を入れた通勤、テレビを観ながら足ふみ、洗濯機にお風呂の水をバケツで汲んでの洗濯、子供と遊びながら運動など。

[]

問18. あなたは、この1年間に、スポーツの指導やスポーツ大会の運営などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 日常的・定期的に行った | 2. イベント・大会で不定期に行った |
| 3. 行っていない | 4. わからない |

問19. あなたは、どんなきっかけや動機づけ(モチベーション)があれば、スポーツに関するボランティア活動を行ったり続けたりすると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|-------------------------------|
| 1. 好きなスポーツの普及・支援 | 2. 地域での居場所、役割、生きがい |
| 3. 出会い・交流の場 | 4. 指導・大会運営スキルの取得・活用 |
| 5. 社会貢献 | 6. 顕彰や表彰 |
| 7. その他() | 8. どんなきっかけや動機づけがあっても、しない・できない |
| 9. わからない | |

問20. スポーツ傷害、けがを防ぐために気をつけていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. オーバーワークとならないよう活動している |
| 2. 運動前後にウォームアップ・クールダウンを行う |
| 3. 定期的なメディカルチェックを行う |
| 4. その他() |
| 5. 特に気をつけていない |

問21. あなたが行った（今後行いたい）スポーツ観戦についてお答えください。

【競技会場でのスポーツ観戦について】

① この1年間に直接競技会場（スタジアム、体育館等）に行き、観戦を行ったスポーツがあればすべてに○をつけてください。

② また、今後直接観戦したいスポーツすべてに○をつけてください。

【テレビによるスポーツ観戦について】

③ この1年間にテレビで観戦を行ったスポーツがあればすべてに○をつけてください。

④ また、今後テレビで観戦したいスポーツすべてに○をつけてください。

スポーツ種目	競技会場でのスポーツ観戦		テレビによるスポーツ観戦	
	① (あてはまる番号すべてに○)	② (あてはまる番号すべてに○)	③ (あてはまる番号すべてに○)	④ (あてはまる番号すべてに○)
1. プロ野球 (NPB)	1	1	1	1
2. メジャーリーグ	2	2	2	2
3. 高校野球	3	3	3	3
4. アマチュア野球 (大学、社会人など)	4	4	4	4
5. Jリーグ	5	5	5	5
6. 海外プロサッカー	6	6	6	6
7. サッカー日本代表試合	7	7	7	7
8. サッカー日本女子代表試合	8	8	8	8
9. その他サッカー (高校、JFL など)	9	9	9	9
10. プロバスケットボール (bjリーグ)	10	10	10	10
11. 海外プロバスケットボールリーグ (NBA など)	11	11	11	11
12. その他バスケットボール (高校、大学、JBL など)	12	12	12	12
13. バレーボール (日本代表試合)	13	13	13	13
14. その他バレーボール (高校、大学、Vリーグなど)	14	14	14	14
15. 大相撲	15	15	15	15
16. マラソン・駅伝	16	16	16	16
17. ラグビー	17	17	17	17
18. プロテニス	18	18	18	18
19. プロゴルフ	19	19	19	19
20. フィギュアスケート	20	20	20	20
21. 格闘技 (ボクシング、総合格闘技など)	21	21	21	21
22. 自動車レース (F1 や NASCAR)	22	22	22	22
23. その他 (種目名)	23 () () ※種目を記入	23 () () ※種目を記入	23 () () ※種目を記入	23 () () ※種目を記入
24. 観戦した (したい) スポーツはない	24	24	24	24

< 今後の取り組み・要望等 >

問22. あなたは、今後自分の運動やスポーツ活動についてどのようにお考えですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. もっと機会を増やし、運動やスポーツを行いたい |
| 2. 今は現状程度で満足しているので今までどおりでよい |
| 3. 少し減らしたい |
| 4. 今はしていないが、機会があれば行いたい |
| 5. 行いたいとは思わない |

問23. あなたは、今後運動やスポーツの行事が催される場合、どのような行事であれば参加したいと思いますか。あなたが参加したいものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|-------------|-----------------|
| 1. 競技会（スポーツ大会） | 2. レクリエーション | 3. 体力測定 |
| 4. トレーニング | 5. 野外活動 | 6. 一流選手、指導者の講演会 |
| 7. 参加したいとは思わない | 8. その他（ | ） |

問24. あなたが、今後新しく行ってみたいと思う運動やスポーツはありますか。別紙「運動・スポーツ種目一覧」を参考に番号と種目名をご記入ください。例【(60) テニス】

- | | | | |
|------|---|------|---|
| 【() | 】 | 【() | 】 |
| 【() | 】 | 【() | 】 |
| 【() | 】 | 【() | 】 |

問25. あなたは、今後どのような運動やスポーツに関する情報が充実すれば良いとお考えですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. スポーツ行事やイベントの情報 | 2. 自分が参加できるスポーツ競技会の情報 |
| 3. 各種スポーツ教室やクラブ等の活動・加入の情報 | |
| 4. スポーツ施設の紹介や利用に関する情報 | 5. 各種スポーツ指導者に関する情報 |
| 6. 健康や体づくりに関する情報 | 7. スポーツや医科学に関する情報 |
| 8. その他（ | ） |

問26. あなたは、市町村立体育館、プール、テニスコートなどの公共スポーツ施設について、何か望むことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------|---|-----------|
| 1. 身近で利用できるよう、施設数の増加 | 2. 指導者の配置 | | |
| 3. 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実 | 4. 利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化 | | |
| 5. 利用時間帯の拡大（早朝、夜間など） | 6. 利用案内など広報の充実 | | |
| 7. アフタースポーツのための施設（レストラン、シャワールームなど）の充実 | | | |
| 8. 高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備 | 9. 健康やスポーツに関する情報の充実 | | |
| 10. 託児施設の充実 | 11. 冷暖房設備 | | |
| 12. 特にない | 13. その他（ | ） | 14. わからない |

問27. あなたは、フィットネスクラブ、スイミングクラブ、テニスクラブ、ゴルフ練習場などの民間スポーツ施設について、何か望むことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-------------------------------|---|-----------|
| 1. 身近で利用できるよう、施設数の増加 | 2. 指導者の資質の向上 | |
| 3. プログラム内容の充実 | 4. 利用料金が安くなること | |
| 5. アフタースポーツのための施設（レストランなど）の充実 | | |
| 6. 高齢者や障がい者に配慮した施設・設備の整備 | | |
| 7. 託児施設の充実 | 8. 冷暖房設備 | |
| 9. 特にない | 10. その他（ ） | 11. わからない |

問28. あなたは今後、運動やスポーツを普及・振興していく上で、最も力を入れるべきことは何だとお考えですか。最も重要な理由2つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 運動やスポーツの行事(各種大会・体育大会等)やイベントを増やし、内容を充実させる |
| 2. スポーツ教室やクラブを増やし、内容を充実させる |
| 3. 施設を増やし、利用しやすくする |
| 4. 指導者を養成し、活用しやすくする |
| 5. スポーツに関する情報の提供を充実させる |
| 6. その他（ ） |

問29. あなたは、学校、企業、地域などでスポーツ活動を行うスポーツクラブについて、どのような形態が望ましいとお考えですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 年間を通して、一つの同じスポーツを行うクラブ |
| 2. 自分の好みや能力に合わせて、いろいろな種目が選択できる総合的なクラブ |
| 3. 他の文化活動もあわせて体験できるクラブ |
| 4. その他（ ） |

問30. あなたは、運動やスポーツを行うにあたって、どのようなスポーツ指導者が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|---|---|-----------|
| 1. スポーツの楽しみ方やスポーツへの興味・関心がわくような指導ができる人 | | |
| 2. 健康・体力づくりのための運動やスポーツの指導ができる人 | | |
| 3. 障がい者や高齢者のスポーツの指導ができる人 | | |
| 4. 青少年のスポーツ活動を積極的に進めることができる人 | | |
| 5. 競技力向上のための高度な技術の指導ができる人 | | |
| 6. スポーツイベント（大会や教室など）の企画や運営ができる人 | | |
| 7. 年間を通して定期的に指導ができる人 | | |
| 8. いろいろなニュースポーツ（ゲートボール、グラウンドゴルフ、インディアカなど）の指導ができる人 | | |
| 9. 指導に関する資格を持っている人 | | |
| 10. 特にない | 11. その他（ ） | 12. わからない |

問31. あなたは、地域におけるスポーツ振興に、どのような効果を期待しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|---------------|---------------------|
| 1. 親子や家族の交流 | 2. 余暇時間の有効活用 | 3. 地域のコミュニティの形成・活性化 |
| 4. 世代間交流の促進 | 5. 子どもの体力づくり | 6. 青少年の健全育成 |
| 7. 高齢者の生きがいつくり | 8. 地域の健康水準の改善 | 9. スポーツ施設の有効利用 |
| 10. 特にない | 11. その他 () | 12. わからない |

<その他>

問32. ① あなたは、各地域に設置されている「総合型地域スポーツクラブ」の取組を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. よく知っている 2. 聞いたことがある 3. 知らない

①で「1. よく知っている」、「2. 聞いたことがある」と回答した人に以下②、③をお伺いします。

② 総合型地域スポーツクラブのどのような取組を期待しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 定期的なスポーツ教室、スクール | 2. 地域住民を対象にした交流イベント |
| 3. 指導者養成講習会、スタッフ研修 | 4. 地域・学校へのアスリート・指導者の派遣 |
| 5. その他 () | |

③ 総合型地域スポーツクラブにどのような役割を期待しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 運動・スポーツ機会の提供 | 2. 地域における交流の創出 |
| 3. 指導者養成 | 4. 技術向上・アスリート育成 |
| 5. 体育施設等の管理・運営 | 6. 高齢者や障がい者の社会参画の場 |
| 7. その他 () | |

問33. ① あなたは、ご自身の子どもの頃と比較して、今の子どものスポーツや外遊びの環境はどのようになったと感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|------------------|----------|
| 1. よくなった | 2. どちらかといえばよくなった | 3. 変わらない |
| 4. どちらかといえば悪くなった | 5. 悪くなった | 6. わからない |

② ①で「4. どちらかといえば悪くなった」「5. 悪くなった」と答えた方にお伺いします。それはどのようなところですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1. スポーツや外遊びができる時間が少なくなった |
| 2. 子どもが自由に遊べる空き地や生活道路が少なくなった |
| 3. 子どもが自由に利用できるスポーツ施設が少なくなった |
| 4. スポーツや外遊びをする仲間（友達）が少なくなった |
| 5. 地域におけるスポーツ指導者が少なくなった |
| 6. 親子でスポーツに親しむ機会が少なくなった |
| 7. その他 () |
| 8. わからない |

問34. あなたはオリンピック・パラリンピック競技大会やサッカー、テニスなどのスポーツの国際大会での日本選手の活躍にどのくらい関心を持っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|------------|-------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. やや関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. ほとんど(全く)関心がない | 5. わからない | |

問35. あなたは、日本選手がオリンピック・パラリンピック競技大会などで活躍するためには、どのような公的援助が必要だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 科学的なトレーニングなどの研究の充実と活用を図る |
| 2. 国などが施設の充実したトレーニング施設(ナショナルトレーニングセンター)を充実させる |
| 3. 優れた選手の表彰や年金などを充実させる |
| 4. 選手のトレーニングや海外遠征などに経済的な援助を行う |
| 5. コーチ、トレーナーなど指導者の養成を図る |
| 6. 公的援助は必要ない |
| 7. その他() |
| 8. わからない |

問36. あなたは、オリンピック・パラリンピック競技大会や世界選手権大会などの国際大会を我が国で開催することについてどう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------------|-------------------|
| 1. 好ましい | 2. どちらかといえば好ましい | 3. どちらかといえば好ましくない |
| 4. 好ましくない | 5. わからない | |

問37. あなたは2020年東京オリンピック、パラリンピックに鳥取県から代表選手、コーチが出場することを望みますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-----------|------------|---------|
| 1. 大いに望む | 2. やや望む | 3. あまり望まない | 4. 望まない |
| 5. わからない | 6. その他() | | |

問38. 2020年東京オリンピック・パラリンピックに鳥取県出身者が出場する場合、どのような支援が必要だと思えますか。自由に記載してください。

問39. 2020年東京オリンピック・パラリンピックについて、各国代表選手団の合宿地を県内に誘致することについてどう思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------------|-------------------|
| 1. 好ましい | 2. どちらかと言えば好ましい | 3. どちらかと言えば好ましくない |
| 4. 好ましくない | 5. わからない | |

以上で質問は終わりです。御協力ありがとうございました。

	番号	種目名	番号	種目名	
ア	1	アーチェリー	50	ソフトテニス(軟式テニス)	
	2	合気道	51	ソフトバレーボール	
	3	アイススケート	52	ソフトボール	
	4	アイスホッケー	タ	53	体操競技(器械運動)
	5	アクアエクササイズ(水中歩行、水中運動など)		54	ターゲット・バードゴルフ
	6	インディアカ		55	ダーツ
	7	ウェイトトレーニング		56	太極拳
	8	ウェイトリフティング		57	卓球
	9	ウォーキング、 散歩(ぶらぶら歩き、犬の散歩など)		58	綱引き
	10	エアロビクス		59	釣り
カ	11	カーリング		60	テニス(硬式テニス)
	12	海水浴		61	登山、クライミング、ワンダーフォーゲル
	13	カヌー、カヤック		62	ドッジボール
	14	空手	63	トライアスロン	
	15	軽い運動(道具や器具を使った運動)	ナ	64	トランポリン
	16	〃(腹筋・背筋などの軽いトレーニング)		65	なぎなた
	17	カローリング		66	縄跳び(ダブルダッチ)
	18	キャッチボール	67	日常生活の中で工夫した運動 (通勤方法に徒歩や自転車を入れる、家事など)	
	19	キャンプ	ハ	68	ハイキング
	20	弓道		69	バウンスポール
	21	キンボール		70	バウンドテニス
	22	グラウンドゴルフ		71	バスケットボール
	23	ゲートボール		72	パターゴルフ
	24	健康体操(ラジオ体操・ストレッチ体操・ 町民体操・リズム体操など)		73	バドミントン
25	剣道	74		バレーボール	
26	ゴルフ(コース・練習)	75		ハングライダー、パラグライダー	
サ	27	サーフィン		76	ハンドボール
	28	サイクリング		77	ビーチバレーボール
	29	サッカー、フットサル	78	ビリヤード	
	30	散策(低山の山登りなど)	79	フェンシング	
	31	3B体操	80	舞踊、ダンス(ジャズダンス、フォークダンスなど)	
	32	自転車競技	81	フライングディスク(ディスクゴルフ、ドッジビーなど)	
	33	射撃(ライフル・クレー)	82	ペタンク	
	34	社交ダンス	83	ボウリング	
	35	シャフルボード	84	ボート	
	36	柔道	85	ボクシング	
	37	乗馬	86	ホッケー	
	38	ジョギング	87	ボディビルディング	
	39	新体操	マ	88	マラソン
	40	水泳(競泳)、飛び込み		89	モーターサイクルスポーツ
	41	水球	ヤ	90	野球
	42	水上スキー、水上バイク		91	ユニカール
	43	スカイダイビング		92	ヨガ、ピラティス
	44	スキー	93	ヨット、セーリング	
	45	スキューバダイビング	ラ	94	ラージボール卓球
46	スノーボード	95		ラグビー	
47	スポーツチャンバラ	96		陸上競技	
48	スポンジテニス	97		レスリング	
49	相撲	98		ローラースケート、スケートボード	
		99		その他()	